

尼崎市の地域福祉に関するアンケート調査 調査結果報告書

令和8年3月

尼 崎 市

目 次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の設計	1
3.	回収状況	1
4.	報告書を見る際の注意事項	1
II	市民アンケート調査 調査結果	2
1.	回答者の属性	2
2.	ご近所とのつきあいや地域活動などについて	6
3.	ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動について	17
4.	さまざまな困りごとについて	35
5.	権利擁護に関する制度について	47
6.	非行や犯罪をした人の立ち直りについて	55
7.	災害時の支援について	61
8.	その他について	85
III	民生児童委員アンケート調査 調査結果	88
1.	回答者の属性	88
2.	ご近所とのつきあいや地域活動などについて	93
3.	担当区域の状況について	95
4.	他の関係機関との連携について	104
5.	地域のボランティア活動を充実させるための方法について	122
6.	権利擁護に関する制度について	123
7.	非行や犯罪をした人の立ち直りについて	129
8.	災害時の支援について	134
9.	その他について	147
IV	保護司アンケート調査 調査結果	151
1.	回答者の属性	151
2.	保護観察対象者への支援について	153
3.	他の関係機関等との連携について	156
4.	権利擁護に関する制度について	161
5.	災害時の支援について	164
6.	その他について	167
V	事業所アンケート調査 調査結果	170
1.	事業所の概況について	170

2. 地域での活動について	175
3. 他の関係機関等との連携について	179
4. 権利擁護に関する制度について	191
5. 非行や犯罪をした人の立ち直りについて	195
6. 災害時の支援について	198
7. その他について	204
VI 資料編（調査票）	207
1. 市民アンケート調査	207
2. 民生児童委員アンケート調査	211
3. 保護司アンケート調査	214
4. 事業所アンケート調査	216

I 調査概要

1. 調査の目的

地域住民が支え合い、誰もが安心して暮らせる福祉の実現に向けた「尼崎市地域福祉計画」の策定にあたり、住民や地域福祉に関わる民生児童委員や保護司、各種事業所の地域福祉に関する現状や意見を把握し、施策や計画の基礎資料とするために実施しました。

2. 調査の設計

	①市民	②民生児童委員	③保護司	④事業所
調査対象	尼崎市内にお住まいの18歳以上の2,000人	尼崎市内の民生児童委員全員	尼崎市内の保護司全員	尼崎市内の福祉関連事業所
調査方法	地区別人口構成比に基づく無作為抽出による郵送配布－郵送・Web回収	郵送配付－郵送・Web回収	地区分会を通じた配付－郵送・Web回収	無作為抽出による郵送配付－Web回収
調査期間	令和8年1月15日（木）～ 令和8年2月4日（水）			

3. 回収状況

	対象者数	返送数	有効発送数	有効回収数	有効回収率
①市民	2,000	15	1,985	705	35.5%
②民生児童委員	714	0	714	585	81.9%
③保護司	177	0	177	110	62.1%
④事業所	250	0	250	123	49.2%

4. 報告書を見る際の注意事項

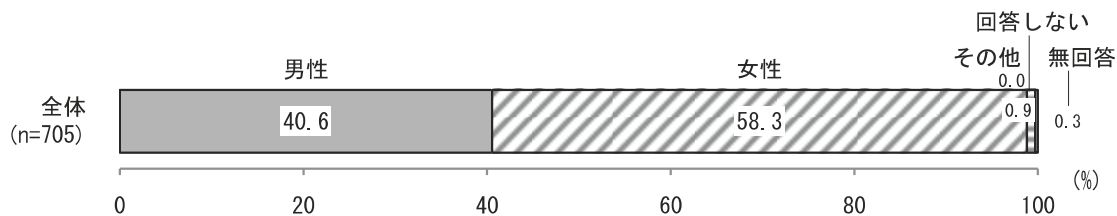
- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示しています。
- 百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が100％にならないことがあります。
- 1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100％を超える場合があります。
- グラフ等の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合があります。
- サンプル数が少ないものについては、コメントを割愛しています。

Ⅱ 市民アンケート調査 調査結果

1. 回答者の属性

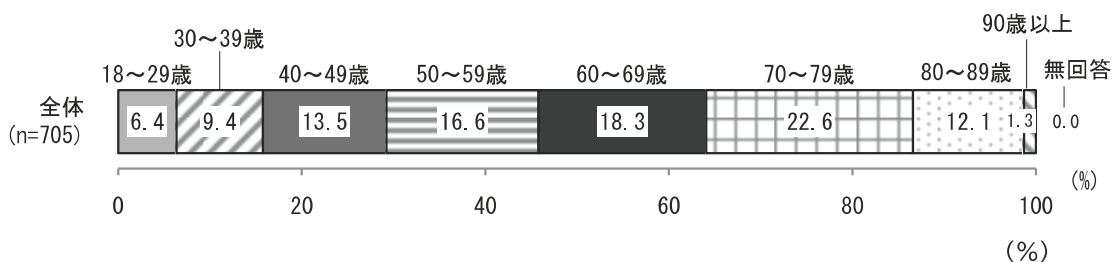
(1) 性別

- ・性別は、「男性」が40.6%、「女性」が58.3%となっています。



(2) 年齢

- ・年齢は、「70～79歳」が22.6%で最も多く、次いで「60～69歳」が18.3%、「50～59歳」が16.6%となっています。
- ・性別でみると、男女とも「70～79歳」が最も多く、60歳以上の各年代はいずれも女性より男性の割合が高くなっています。
- ・地区別でみると、いずれも「70～79歳」が最も多く、「60～69歳」は中央地区、武庫地区、園田地区で2割台となっています。



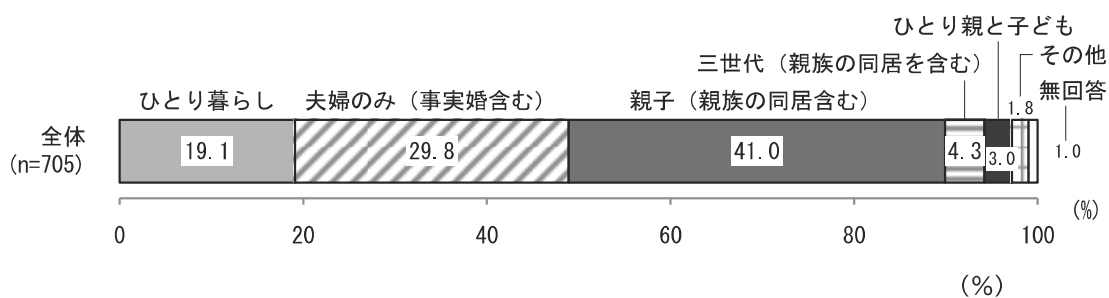
	回答者数 (人)	18 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 ～ 89 歳	90 歳 以上	無 回 答
性別										
男性	286	6.6	6.3	11.5	15.4	18.5	25.5	14.3	1.7	-
女性	411	6.3	11.4	14.6	17.0	18.2	20.7	10.7	1.0	-
地区別										
中央地区	73	4.1	5.5	11.0	19.2	20.5	27.4	12.3	-	-
小田地区	114	5.3	10.5	14.9	16.7	13.2	21.9	15.8	1.8	-
大庄地区	72	1.4	12.5	16.7	13.9	16.7	26.4	9.7	2.8	-
立花地区	167	9.6	12.0	12.6	17.4	15.6	18.0	14.4	0.6	-
武庫地区	127	3.1	11.8	15.0	15.7	21.3	23.6	7.1	2.4	-
園田地区	139	10.1	2.9	12.9	16.5	21.6	23.0	12.9	-	-

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 家族構成

- ・ 家族構成は、「親子（親族の同居含む）」が41.0%で最も多く、次いで「夫婦のみ（事実婚含む）」が29.8%、「ひとり暮らし」が19.1%となっています。
- ・ 性別でみると、男女とも「親子（親族の同居含む）」が最も多く、男性（37.1%）より女性（43.3%）のほうが6.2ポイント高くなっています。
- ・ 年代別でみると、59歳までの年代では「親子（親族の同居含む）」が最も多くなっていますが、60歳以上の年代では「夫婦のみ（事実婚含む）」が最も多くなっています。「ひとり暮らし」は80歳以上（35.1%）で最も高くなっています。
- ・ 地区別でみると、「ひとり暮らし」の割合は中央地区（27.4%）で最も高く、次いで立花地区（21.6%）となっています。



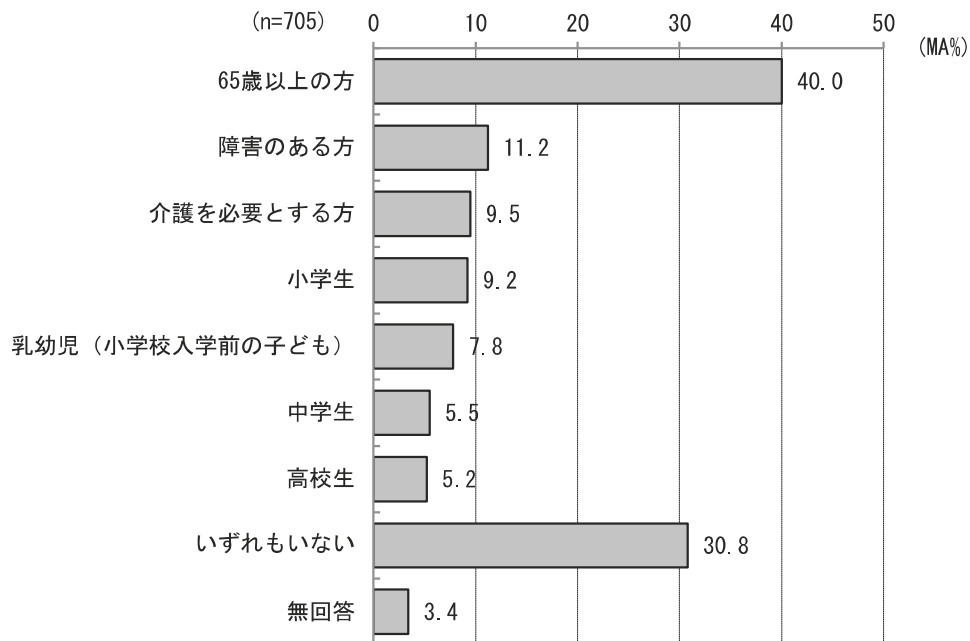
	回答者数（人）	ひとり暮らし	夫婦のみ（事実婚含む）	親子（親族の同居含む）	三代（親族の同居を含む）	ひとり親と子ども	その他	無回答
性別								
男性	286	21.0	31.8	37.1	5.6	1.4	2.1	1.0
女性	411	18.0	28.7	43.3	3.4	4.1	1.7	0.7
年代別								
18～29歳	45	13.3	15.6	57.8	2.2	—	11.1	—
30～39歳	66	7.6	22.7	66.7	—	—	3.0	—
40～49歳	95	12.6	11.6	64.2	4.2	6.3	1.1	—
50～59歳	117	17.1	19.7	51.3	4.3	6.0	0.9	0.9
60～69歳	129	17.1	39.5	34.9	4.7	—	2.3	1.6
70～79歳	159	23.3	43.4	22.0	6.9	2.5	—	1.9
80歳以上	94	35.1	36.2	19.1	3.2	4.3	1.1	1.1
地区別								
中央地区	73	27.4	28.8	27.4	5.5	5.5	4.1	1.4
小田地区	114	14.9	32.5	44.7	3.5	1.8	1.8	0.9
大庄地区	72	19.4	26.4	47.2	1.4	1.4	2.8	1.4
立花地区	167	21.6	26.9	42.5	4.8	3.6	0.6	—
武庫地区	127	17.3	29.1	45.7	3.9	2.4	0.8	0.8
園田地区	139	16.5	33.8	38.1	5.8	3.6	1.4	0.7

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

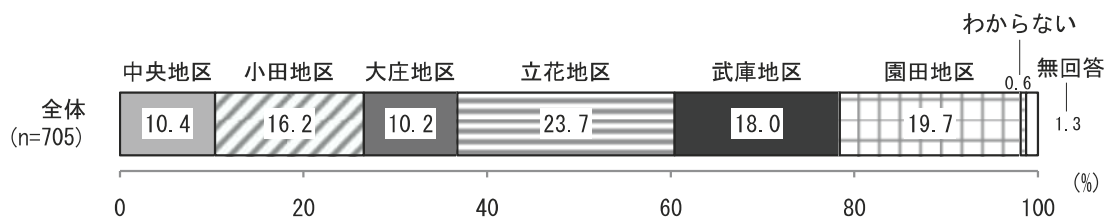
(4) 家族の属性

- ・家族の属性は、「65歳以上の方」が40.0%で最も多く、次いで「いずれもいない」が30.8%、「障害のある方」が11.2%、「介護を必要とする方」が9.5%となっています。



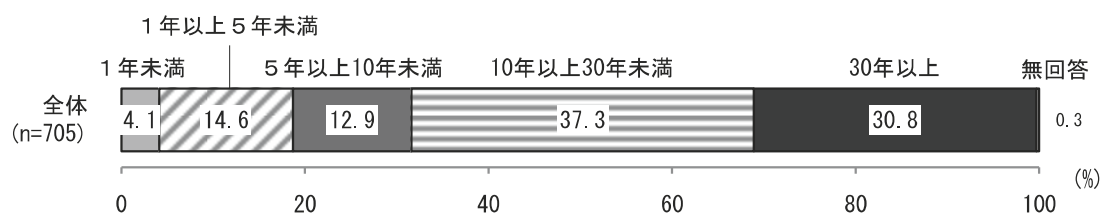
(5) 居住地区

- ・居住地区は、「立花地区」が23.7%で最も多く、次いで「園田地区」が19.7%、「武庫地区」が18.0%となっています。



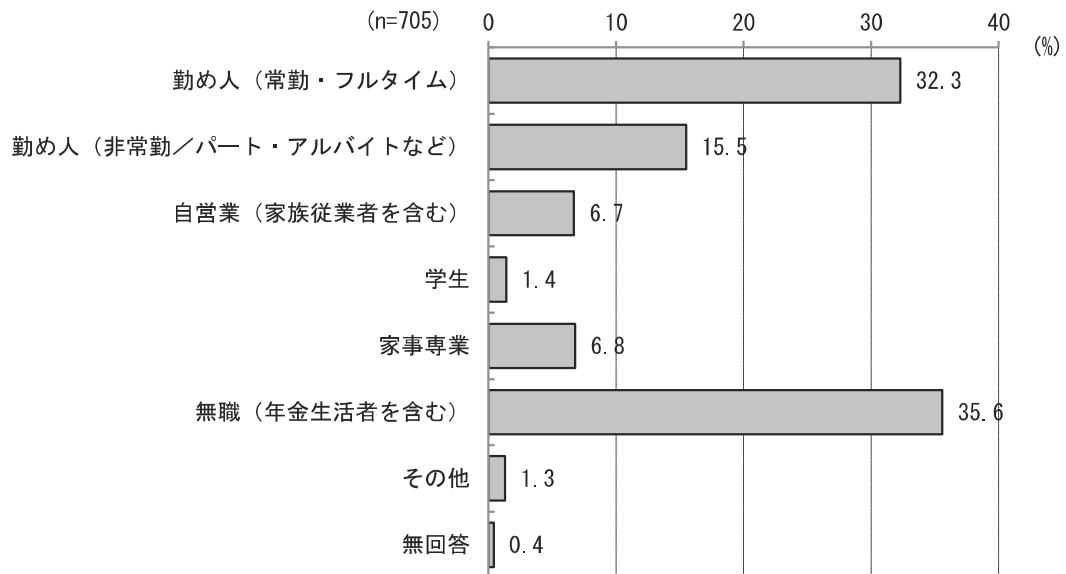
(6) 現在の住居での居住年数

- ・現在の住居での居住年数は、「10年以上30年未満」が37.3%で最も多く、次いで「30年以上」が30.8%、「1年以上5年未満」が14.6%、「5年以上10年未満」が12.9%となっています。



(7) 職業

- ・職業は、「無職（年金生活者を含む）」が35.6%で最も多く、次いで「勤め人（常勤・フルタイム）」が32.3%、「勤め人（非常勤／パート・アルバイトなど）」が15.5%となっています。

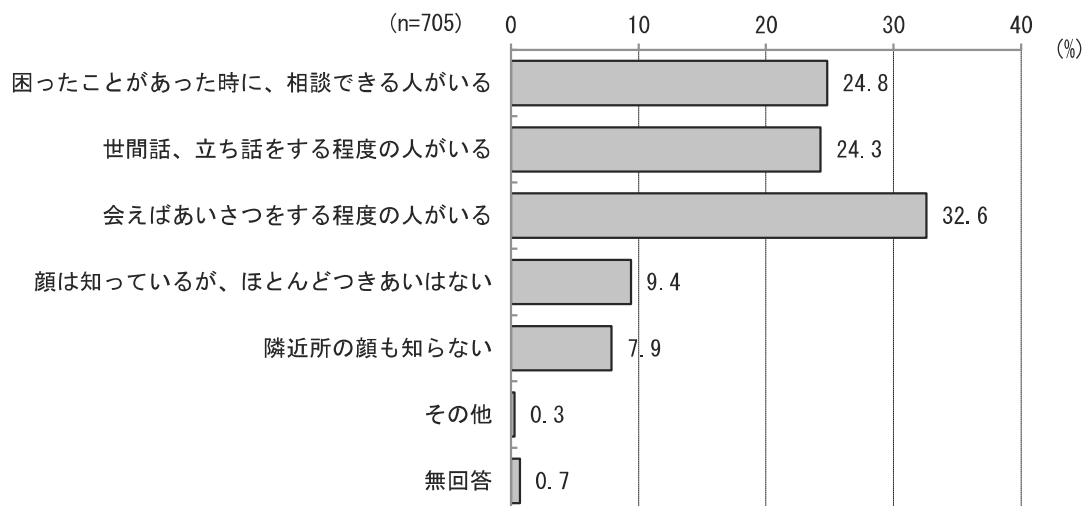


2. ご近所とのつきあいや地域活動などについて

(1) 身近な地域の人との交流

(問1) あなたは、身近な地域の人の中で最も親しい方と、日頃どのような交流がありますか。(〇は1つ)

- ・身近な地域の人との交流については、「会えばあいさつをする程度の人がいる」が32.6%で最も多く、次いで「困ったことがあった時に、相談できる人がある」が24.8%、「世間話、立ち話をする程度の人がある」が24.3%となっています。「困ったことがあった時に、相談できる人がある」と「世間話、立ち話をする程度の人がある」をあわせた身近な地域の人と交流が『ある』割合は49.1%となっています。
- ・性別でみると、男性は「会えばあいさつをする程度の人がある」(40.2%)が最も多くなっていますが、女性では「困ったことがあった時に、相談できる人がある」(30.9%)が最も多くなっています。
- ・年代別でみると、「困ったことがあった時に、相談できる人がある」の割合は80歳以上で最も高く、「顔は知っているが、ほとんどつきあいはない」と「隣近所の顔も知らない」の割合は18～29歳が最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「隣近所の顔も知らない」の割合はひとり暮らしが20.0%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「顔は知っているが、ほとんどつきあいはない」の割合は立花地区が16.2%で最も高く、「隣近所の顔も知らない」の割合は武庫地区が10.2%で最も高くなっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、「隣近所の顔も知らない」の割合は1年未満が44.8%で最も高く、次いで1年以上5年未満が21.4%となっています。
- ・職業別でみると、「隣近所の顔も知らない」の割合は勤め人(常勤)が15.8%で最も高くなっています。



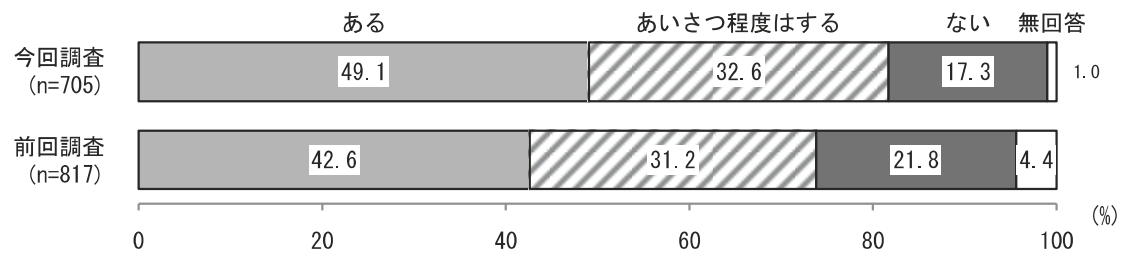
(%)

	回答者数(人)	困ったことがあった時に、相談できる人がいる	世間話、立ち話をする程度の人がいる	会えばあいさつをする程度の人がいる	顔は知っているが、ほとんどつきあいはない	隣近所の顔も知らない	その他	無回答
性別								
男性	286	16.8	21.7	40.2	11.2	8.0	0.7	1.4
女性	411	30.9	26.3	27.0	8.0	7.5	-	0.2
年代別								
18～29歳	45	11.1	8.9	35.6	15.6	28.9	-	-
30～39歳	66	24.2	13.6	33.3	13.6	13.6	-	1.5
40～49歳	95	25.3	24.2	27.4	10.5	12.6	-	-
50～59歳	117	25.6	17.9	32.5	15.4	7.7	-	0.9
60～69歳	129	22.5	31.8	31.8	10.1	3.1	0.8	-
70～79歳	159	25.2	32.7	32.7	3.8	5.0	-	0.6
80歳以上	94	33.0	22.3	37.2	3.2	1.1	1.1	2.1
家族構成別								
ひとり暮らし	135	27.4	12.6	31.1	8.9	20.0	-	-
夫婦のみ	210	21.4	31.0	27.6	11.0	7.6	0.5	1.0
親子	289	26.3	25.3	35.3	9.0	3.5	0.3	0.3
三世帯	30	33.3	26.7	36.7	3.3	-	-	-
ひとり親と子	21	23.8	9.5	52.4	14.3	-	-	-
地区別								
中央地区	73	35.6	27.4	27.4	2.7	5.5	-	1.4
小田地区	114	26.3	28.9	29.8	9.6	5.3	-	-
大庄地区	72	26.4	29.2	30.6	5.6	6.9	1.4	-
立花地区	167	20.4	16.8	37.1	16.2	9.0	0.6	-
武庫地区	127	26.0	24.4	33.1	6.3	10.2	-	-
園田地区	139	22.3	24.5	35.3	9.4	7.2	-	1.4
現在の住居での居住年数別								
1年未満	29	17.2	-	20.7	17.2	44.8	-	-
1年以上5年未満	103	17.5	8.7	35.0	17.5	21.4	-	-
5年以上10年未満	91	26.4	20.9	30.8	11.0	9.9	-	1.1
10年以上30年未満	263	24.0	27.8	34.2	9.5	3.8	-	0.8
30年以上	217	30.0	31.3	32.3	3.7	0.9	0.9	0.9
職業別								
勤め人(常勤)	228	19.7	18.0	32.5	14.0	15.8	-	-
勤め人(非常勤)	109	34.9	28.4	23.9	7.3	4.6	-	0.9
自営業	47	36.2	27.7	27.7	4.3	2.1	2.1	-
学生	10	10.0	10.0	50.0	30.0	-	-	-
家事専業	48	22.9	37.5	31.3	4.2	4.2	-	-
無職(年金生活者)	251	24.3	25.1	37.5	7.2	4.4	0.4	1.2

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・前回調査と比較すると、身近な地域の人との交流が『ある』人の割合は前回調査（42.6％）より6.5ポイント高くなっています。交流が『ない』（「顔は知っているが、ほとんどつきあいはない」と「隣近所の顔も知らない」をあわせた割合）人の割合は、前回調査（21.8％）より4.5ポイント低くなっています。

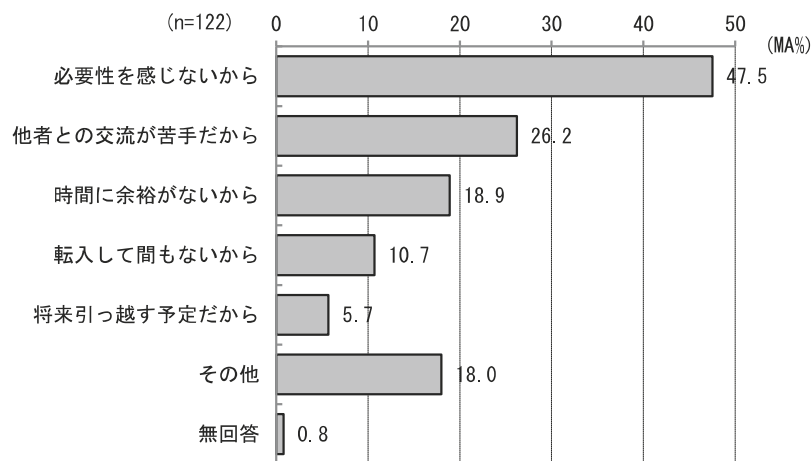


(2) 身近な地域の人との交流がない理由

問1で「4」または「5」と回答した方に

(問1-1) 身近な地域の人と交流がない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・身近な地域の人との交流がないと回答した人に、その理由をたずねると、「必要性を感じないから」が47.5%で最も多く、次いで「他者との交流が苦手だから」が26.2%、「時間に余裕がないから」が18.9%となっています。
- ・性別でみると、「他者との交流が苦手だから」の割合は女性（20.3%）より男性（30.9%）のほうが10.6ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、母数が少ないため一概にはいえませんが、「時間に余裕がないから」の割合は40～49歳が31.8%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「転入して間もないから」の割合は夫婦のみの世帯が20.5%で最も高くなっています。



	回答者数(人)	必要性を感じないから	他者との交流が苦手だから	時間に余裕がないから	転入して間もないから	将来引っ越す予定だから	その他	無回答
性別								
男性	55	52.7	30.9	21.8	7.3	-	10.9	-
女性	64	43.8	20.3	17.2	14.1	10.9	25.0	1.6
年代別								
18～29歳	20	55.0	5.0	10.0	30.0	10.0	20.0	-
30～39歳	18	38.9	16.7	27.8	27.8	22.2	11.1	-
40～49歳	22	40.9	22.7	31.8	-	-	22.7	-
50～59歳	27	55.6	37.0	18.5	3.7	3.7	11.1	-
60～69歳	17	47.1	29.4	17.6	5.9	-	11.8	5.9
70～79歳	14	50.0	57.1	-	-	-	21.4	-
80歳以上	4	25.0	-	25.0	-	-	75.0	-
家族構成別								
ひとり暮らし	39	43.6	33.3	15.4	7.7	-	15.4	-
夫婦のみ	39	59.0	20.5	12.8	20.5	7.7	12.8	2.6
親子	36	38.9	22.2	27.8	5.6	8.3	25.0	-
三世帯	1	-	-	-	-	-	100.0	-
ひとり親と子	3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 近所づきあいや地域活動についての変化

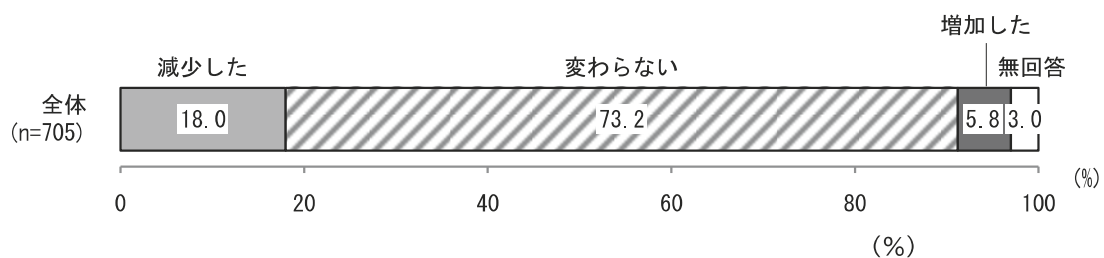
再び、すべての方に

(問2) ご近所とのつきあいや地域活動などについて直近5年間での変化はありましたか。

(①・②のそれぞれについて、1～3のいずれかに○を1つずつ)

① 隣近所の住民とのコミュニケーション

- ・隣近所の住民とのコミュニケーションで直近5年間での変化があったかについては、「変わらない」が73.2%で最も多く、次いで「減少した」が18.0%、「増加した」が5.8%となっています。
- ・性別でみても、大きな差はみられません。
- ・年代別でみると、「増加した」の割合は30～39歳が16.7%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「減少した」の割合はひとり親と子の世帯が28.6%で最も高く、次いで三世代世帯が26.7%となっています。
- ・地区別でみると、「減少した」の割合は園田地区が20.9%で最も高くなっています。
- ・職業別でみると、「減少した」の割合は勤め人（非常勤）（21.1%）と学生（20.0%）、家事専業（20.8%）、無職（年金生活者）（20.7%）で2割台となっています。



	回答者数 (人)	減少した	変わらない	増加した	無回答
性別					
男性	286	18.2	73.1	5.2	3.5
女性	411	18.0	73.0	6.3	2.7
年代別					
18～29 歳	45	13.3	82.2	2.2	2.2
30～39 歳	66	4.5	75.8	16.7	3.0
40～49 歳	95	20.0	70.5	9.5	-
50～59 歳	117	20.5	76.9	2.6	-
60～69 歳	129	21.7	72.9	3.9	1.6
70～79 歳	159	20.1	71.1	4.4	4.4
80 歳以上	94	16.0	69.1	5.3	9.6
家族構成別					
ひとり暮らし	135	14.1	78.5	3.0	4.4
夫婦のみ	210	17.6	75.7	4.8	1.9
親子	289	19.0	70.6	8.3	2.1
三世代	30	26.7	66.7	6.7	-
ひとり親と子	21	28.6	66.7	-	4.8

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(%)

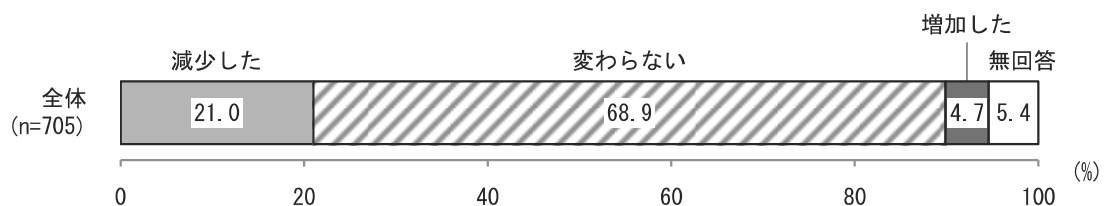
	回答者数 (人)	減少した	変わらない	増加した	無回答
地区別					
中央地区	73	16.4	75.3	6.8	1.4
小田地区	114	19.3	69.3	7.9	3.5
大庄地区	72	18.1	80.6	1.4	-
立花地区	167	16.8	71.3	7.2	4.8
武庫地区	127	17.3	76.4	5.5	0.8
園田地区	139	20.9	72.7	5.0	1.4
職業別					
勤め人（常勤）	228	14.5	78.9	6.1	0.4
勤め人（非常勤）	109	21.1	71.6	7.3	-
自営業	47	14.9	78.7	6.4	-
学生	10	20.0	80.0	-	-
家事専業	48	20.8	70.8	6.3	2.1
無職（年金生活者）	251	20.7	67.7	5.2	6.4

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 福祉協会（自治会・町会）等の地域の団体への関わり

- ・福祉協会（自治会・町会）等の地域の団体への関わりで直近5年間での変化があったかについては、「変わらない」が68.9%で最も多く、次いで「減少した」が21.0%、「増加した」が4.7%となっています。
- ・性別でみると、「変わらない」の割合が女性（67.4%）より男性（70.6%）のほうが3.2ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、「減少した」の割合は60～69歳が26.4%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「減少した」の割合はひとり親と子の世帯が23.8%で最も高く、次いで夫婦のみ世帯が22.9%となっています。
- ・地区別でみると、「減少した」の割合は園田地区が26.6%で最も高く、次いで中央地区が26.0%となっています。
- ・職業別でみると、「減少した」の割合は自営業が27.7%で最も高く、次いで家事専業が25.0%となっています。



(%)

	回答者数 (人)	減少した	変わらない	増加した	無回答
性別					
男性	286	21.3	70.6	4.2	3.8
女性	411	21.2	67.4	4.9	6.6
年代別					
18～29歳	45	15.6	82.2	－	2.2
30～39歳	66	6.1	83.3	9.1	1.5
40～49歳	95	21.1	68.4	7.4	3.2
50～59歳	117	18.8	78.6	1.7	0.9
60～69歳	129	26.4	65.1	3.9	4.7
70～79歳	159	24.5	65.4	4.4	5.7
80歳以上	94	23.4	52.1	6.4	18.1
家族構成別					
ひとり暮らし	135	16.3	70.4	6.7	6.7
夫婦のみ	210	22.9	68.6	1.9	6.7
親子	289	21.8	69.2	5.9	3.1
三世代	30	20.0	76.7	3.3	－
ひとり親と子	21	23.8	61.9	－	14.3
地区別					
中央地区	73	26.0	64.4	4.1	5.5
小田地区	114	19.3	69.3	7.9	3.5
大庄地区	72	25.0	68.1	5.6	1.4
立花地区	167	18.0	71.9	4.8	5.4
武庫地区	127	15.7	74.8	4.7	4.7
園田地区	139	26.6	64.7	2.2	6.5
職業別					
勤め人（常勤）	228	14.9	80.7	3.5	0.9
勤め人（非常勤）	109	23.9	66.1	7.3	2.8
自営業	47	27.7	66.0	4.3	2.1
学生	10	20.0	80.0	－	－
家事専業	48	25.0	68.8	2.1	4.2
無職（年金生活者）	251	23.5	60.6	5.2	10.8

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

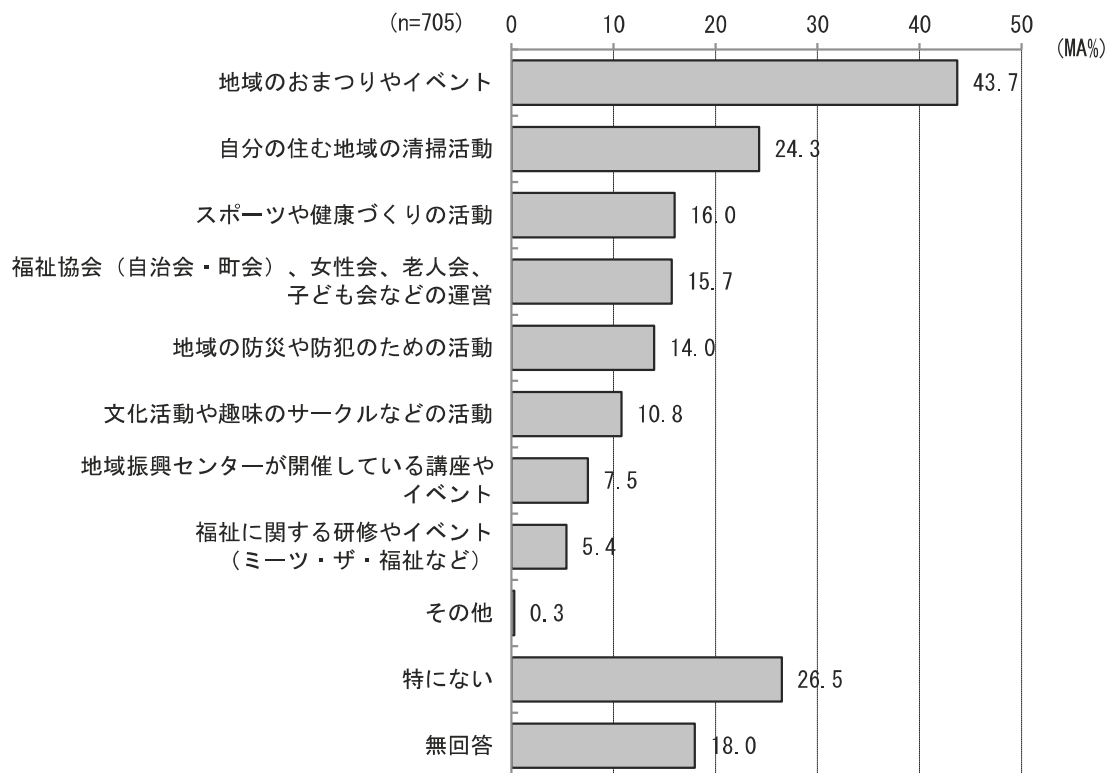
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 地域活動や学びの場について

(問3) 地域活動や学びの場に関して、①参加したことがあるもの、②今後参加したいと思うものを、1～10の選択肢の中からあてはまるものについて、太枠内に○をつけてください。(○はいくつでも)

① 参加したことがあるもの

- ・参加したことがある地域活動や学びの場については、「地域のおまつりやイベント」が43.7%で最も多く、次いで「自分の住む地域の清掃活動」が24.3%、「スポーツや健康づくりの活動」が16.0%となっています。一方、「特にない」は26.5%となっています。
- ・年代別でみると、80歳以上では「自分の住む地域の清掃活動」が45.7%で最も多く、79歳までの年代では「地域のおまつりやイベント」が最も多くなっています。
- ・家族構成別でみると、母数が少ないため一概にはいえませんが、「特にない」の割合はひとり親と子が42.9%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「自分の住む地域の清掃活動」、「福祉協会（自治会・町会）、女性会、老人会、子ども会などの運営」の割合は大庄地区が最も高くなっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、1年未満と1年以上5年未満は「特にない」の割合が4割以上と高くなっています。
- ・職業別でみると、「自分の住む地域の清掃活動」、「スポーツや健康づくりの活動」、「地域の防災や防犯のための活動」「地域振興センターが開催している講座やイベント」の割合はいずれも無職（年金生活者）が最も高くなっています。



(MA%)

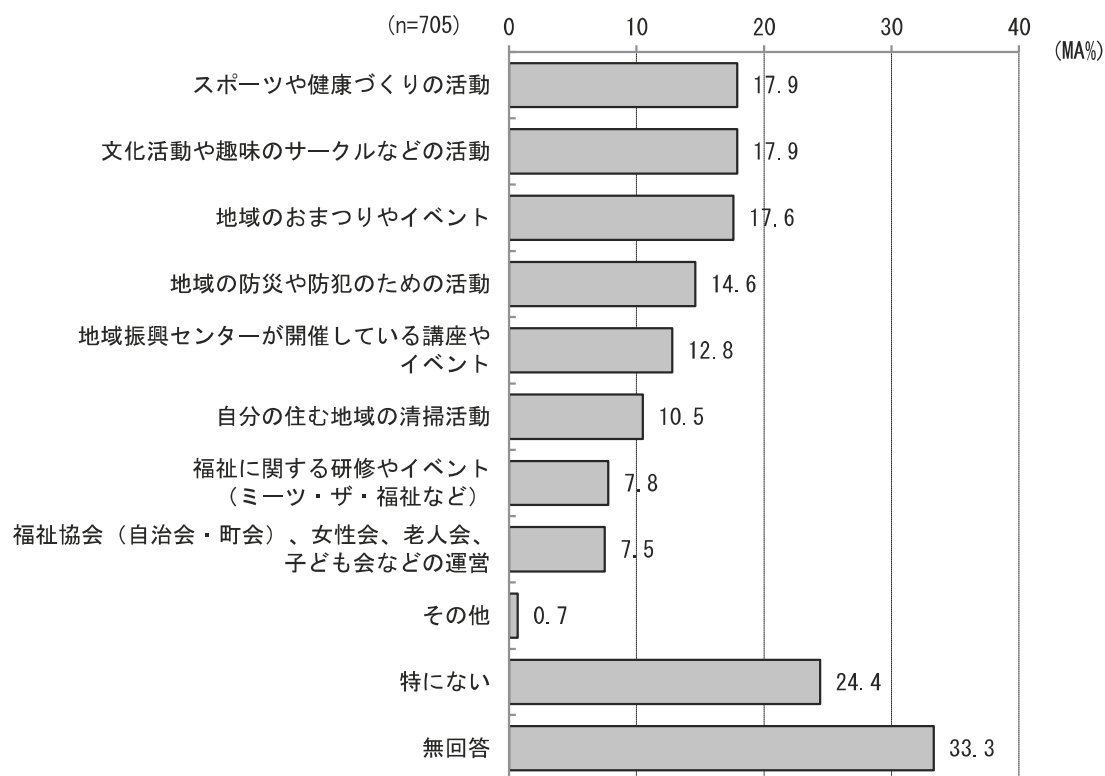
	回答者数(人)	地域のおまつりやイベント	自分の住む地域の清掃活動	スポーツや健康づくりの活動	福祉協会(自治会・町会)、女性会、老人会、子ども会などの運営	地域の防災や防犯のための活動	文化活動や趣味のサークルなどの活動	地域振興センターが開催している講座やイベント	福祉に関する研修やイベント(ミーツ・ザ・福祉など)	その他	特にない	無回答
年代別												
18～29 歳	45	51.1	8.9	2.2	4.4	2.2	-	-	2.2	-	40.0	6.7
30～39 歳	66	59.1	10.6	13.6	3.0	3.0	4.5	3.0	7.6	-	31.8	9.1
40～49 歳	95	54.7	12.6	11.6	8.4	13.7	9.5	9.5	6.3	1.1	28.4	12.6
50～59 歳	117	36.8	20.5	13.7	14.5	9.4	4.3	3.4	4.3	-	34.2	17.1
60～69 歳	129	37.2	25.6	10.9	18.6	14.0	8.5	5.4	5.4	-	29.5	17.8
70～79 歳	159	42.1	30.2	23.3	23.3	21.4	17.0	10.7	6.3	-	16.4	25.2
80 歳以上	94	38.3	45.7	26.6	22.3	21.3	22.3	14.9	4.3	1.1	18.1	24.5
家族構成別												
ひとり暮らし	135	27.4	22.2	15.6	15.6	12.6	11.1	8.1	8.1	-	34.1	26.7
夫婦のみ	210	39.0	27.1	19.5	15.2	16.7	13.3	7.1	3.8	-	26.7	19.5
親子	289	56.4	23.2	14.5	15.9	13.5	9.3	6.9	5.2	0.3	20.8	12.8
三世代	30	43.3	33.3	13.3	26.7	16.7	13.3	13.3	3.3	-	26.7	20.0
ひとり親と子	21	23.8	14.3	-	4.8	-	-	-	-	-	42.9	19.0
地区別												
中央地区	73	41.1	21.9	19.2	17.8	13.7	15.1	6.8	5.5	-	21.9	23.3
小田地区	114	48.2	28.9	19.3	19.3	23.7	20.2	9.6	6.1	1.8	22.8	16.7
大庄地区	72	41.7	34.7	12.5	23.6	23.6	9.7	5.6	4.2	-	27.8	15.3
立花地区	167	42.5	20.4	9.6	19.2	6.6	8.4	7.2	5.4	-	29.3	16.2
武庫地区	127	41.7	25.2	18.1	7.9	10.2	7.9	8.7	7.1	-	28.3	17.3
園田地区	139	46.8	20.9	20.1	10.8	12.9	7.9	6.5	4.3	-	26.6	18.7
現在の住居での居住年数別												
1 年未満	29	17.2	3.4	-	-	-	-	-	-	-	58.6	20.7
1 年以上 5 年未満	103	34.0	7.8	7.8	5.8	7.8	4.9	6.8	4.9	-	40.8	21.4
5 年以上 10 年未満	91	42.9	12.1	8.8	6.6	11.0	5.5	2.2	4.4	1.1	30.8	18.7
10 年以上 30 年未満	263	46.8	24.7	14.4	12.9	14.1	8.0	5.3	4.6	-	25.5	14.8
30 年以上	217	48.4	39.6	27.2	30.0	20.3	20.7	13.8	7.8	0.5	14.7	19.8
職業別												
勤め人(常勤)	228	40.8	14.5	9.6	8.8	10.1	5.3	3.5	6.1	-	38.2	14.0
勤め人(非常勤)	109	49.5	26.6	17.4	17.4	15.6	11.0	8.3	3.7	-	20.2	17.4
自営業	47	61.7	25.5	14.9	21.3	10.6	19.1	6.4	8.5	2.1	12.8	17.0
学生	10	80.0	10.0	10.0	-	10.0	-	-	-	-	20.0	-
家事専業	48	54.2	27.1	16.7	27.1	12.5	8.3	6.3	6.3	-	22.9	10.4
無職(年金生活者)	251	36.3	32.3	21.1	18.7	17.9	14.7	11.6	4.0	0.4	23.1	23.9

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 今後、参加したいと思うもの

- ・ 今後参加したい地域活動や学びの場については、「特にない」が24.4%で最も多いですが、今後参加したい人では「スポーツや健康づくりの活動」、「文化活動や趣味のサークルなどの活動」がそれぞれ17.9%で最も多く、次いで「地域のおまつりやイベント」が17.6%となっています。
- ・ 年代別でみると、50歳以上の各年代では「特にない」が最も多くなっています。
- ・ 家族構成別でみると、親子の世帯では「地域のおまつりやイベント」が最も多くなっています。
- ・ 地区別でみると、大庄地区では「地域のおまつりやイベント」と「地域の防災や防犯のための活動」が同率の19.4%で最も多くなっています。
- ・ 現在の住居での居住年数別でみると、10年未満では「地域のおまつりやイベント」が最も多く、10年以上では「スポーツや健康づくりの活動」が最も多くなっています。
- ・ 職業別でみると、勤め人（常勤）、自営業、学生では「地域のおまつりやイベント」が最も多くなっています。



(MA%)

	回答者数（人）	スポーツや健康づくりの活動	文化活動や趣味のサークルなどの活動	地域のおまつりやイベント	地域の防災や防犯のための活動	地域振興センターが開催している講座やイベント	自分の住む地域の清掃活動	福祉に関する研修やイベント（ミーツ・ザ・福祉など）	福祉協会（自治会・町会）、女性会、老人会、子ども会などの運営	その他	特にない	無回答
年代別												
18～29 歳	45	22.2	17.8	42.2	13.3	4.4	4.4	2.2	4.4	-	35.6	8.9
30～39 歳	66	16.7	21.2	40.9	19.7	16.7	18.2	15.2	13.6	-	22.7	12.1
40～49 歳	95	22.1	17.9	30.5	16.8	13.7	12.6	8.4	6.3	2.1	29.5	14.7
50～59 歳	117	19.7	25.6	15.4	17.1	15.4	14.5	10.3	7.7	0.9	29.9	26.5
60～69 歳	129	23.3	20.2	11.6	18.6	14.0	10.9	6.2	8.5	0.8	26.4	31.8
70～79 歳	159	13.8	15.1	6.3	10.7	13.8	8.2	6.9	7.5	0.6	17.0	50.9
80 歳以上	94	9.6	7.4	6.4	7.4	6.4	4.3	5.3	4.3	-	18.1	59.6
家族構成別												
ひとり暮らし	135	18.5	18.5	11.9	5.2	12.6	8.1	6.7	9.6	0.7	28.1	37.8
夫婦のみ	210	17.1	19.0	12.4	16.2	14.3	9.0	8.6	8.6	1.0	23.3	37.1
親子	289	19.0	17.6	26.0	19.0	13.5	13.8	9.0	5.9	0.7	20.8	28.7
三世代	30	13.3	10.0	3.3	10.0	6.7	-	3.3	6.7	-	33.3	43.3
ひとり親と子	21	19.0	23.8	4.8	4.8	9.5	9.5	-	4.8	-	38.1	23.8
地区別												
中央地区	73	19.2	21.9	19.2	12.3	15.1	11.0	8.2	9.6	1.4	23.3	35.6
小田地区	114	21.9	23.7	22.8	18.4	16.7	11.4	9.6	11.4	1.8	17.5	29.8
大庄地区	72	12.5	12.5	19.4	19.4	8.3	18.1	9.7	5.6	-	18.1	41.7
立花地区	167	16.2	15.6	16.2	10.8	12.0	8.4	7.8	5.4	0.6	29.3	32.3
武庫地区	127	23.6	22.0	17.3	15.7	16.5	11.0	7.9	8.7	-	24.4	28.3
園田地区	139	14.4	13.7	14.4	13.7	9.4	7.9	5.8	5.8	0.7	27.3	35.3
現在の住居での居住年数別												
1 年未満	29	20.7	17.2	24.1	6.9	3.4	3.4	3.4	6.9	-	44.8	10.3
1 年以上 5 年未満	103	8.7	14.6	23.3	12.6	12.6	10.7	5.8	8.7	1.0	30.1	26.2
5 年以上 10 年未満	91	16.5	18.7	23.1	15.4	13.2	14.3	7.7	9.9	1.1	28.6	31.9
10 年以上 30 年未満	263	21.7	21.3	19.0	14.8	14.1	9.9	8.4	5.3	0.4	24.0	28.1
30 年以上	217	17.5	14.7	9.7	15.7	12.4	10.1	8.8	8.8	0.9	17.5	47.0
職業別												
勤め人（常勤）	228	22.4	21.9	27.2	18.4	16.2	12.3	9.6	9.2	0.4	30.7	14.0
勤め人（非常勤）	109	22.9	23.9	20.2	17.4	12.8	14.7	8.3	4.6	1.8	12.8	33.9
自営業	47	17.0	21.3	23.4	21.3	10.6	12.8	14.9	10.6	-	25.5	25.5
学生	10	20.0	10.0	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	50.0	10.0
家事専業	48	12.5	16.7	12.5	16.7	10.4	10.4	4.2	4.2	-	29.2	41.7
無職（年金生活者）	251	12.4	12.0	6.8	8.4	11.2	6.4	5.6	7.6	0.8	21.9	50.6

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

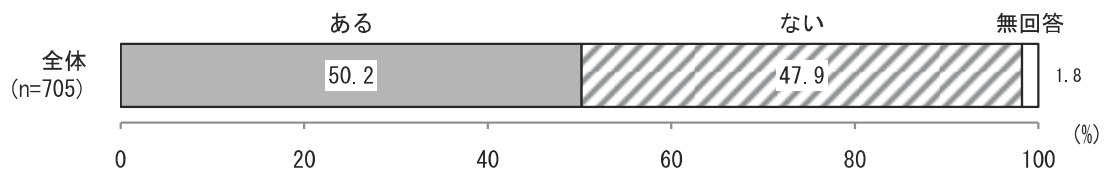
※1 番目に割合の高い回答を「太字＋濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

3. ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動について

(1) 日常のちょっとした声掛けや手助けなどの経験

(問4) これまでに、日常のちょっとした声掛けや手助けなどをしたことがありますか。
(○は1つ)

- ・日常のちょっとした声掛けや手助けなどの経験については、「ある」が50.2%、「ない」が47.9%となっています。
- ・年代別でみると、18～29歳と70～79歳では「ない」の割合が高い割合となっています。



		(%)		
	回答者数 (人)	ある	ない	無回答
年代別				
18～29歳	45	37.8	62.2	-
30～39歳	66	53.0	47.0	-
40～49歳	95	52.6	46.3	1.1
50～59歳	117	50.4	48.7	0.9
60～69歳	129	49.6	48.8	1.6
70～79歳	159	47.8	50.3	1.9
80歳以上	94	56.4	37.2	6.4

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

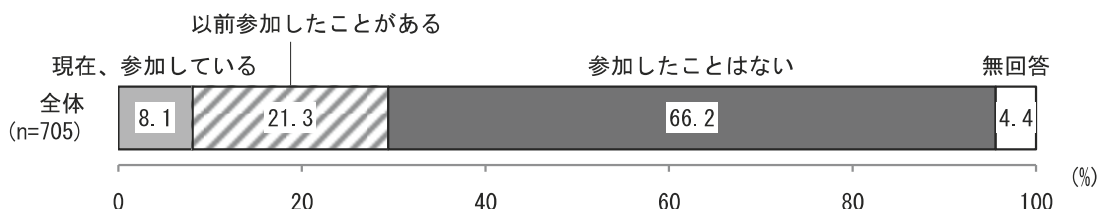
(2) ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動への参加の有無

(問5) ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に参加していますか。

(○は1つ)

※職場、学校等で取り組んでいる地域でのボランティア活動、福祉協会（自治会・町会）の役員を含む

- ・ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動への参加の有無については、「参加したことはない」が66.2%で最も多く、次いで「以前参加したことがある」が21.3%、「現在、参加している」が8.1%となっています。「現在、参加している」と「以前参加したことがある」をあわせた『参加したことがある』割合は29.4%となっています。
- ・性別でみると、『参加したことがある』割合は男性（24.1%）より女性（33.1%）のほうが9.0ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、『参加したことがある』割合は80歳以上が40.5%で最も高く、「参加したことはない」割合は18～29歳が84.4%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、『参加したことがある』割合は親子の世帯（32.9%）と三世代（36.7%）で3割台と高くなっています。
- ・地区別でみると、『参加したことがある』割合は小田地区が37.7%で最も高く、次いで大庄地区が34.7%となっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど『参加したことがある』割合は高くなり、30年以上が37.3%で最も高くなっています。
- ・地域との交流状況別でみると、『参加したことがある』割合は交流がある人が43.1%で最も高くなっています。



(%)

	回答者数 (人)	現在、 参加している	以前参加 したことが ある	参加した ことはない	無回答
性別					
男性	286	5.9	18.2	70.3	5.6
女性	411	9.7	23.4	63.5	3.4
年代別					
18～29歳	45	4.4	11.1	84.4	-
30～39歳	66	6.1	13.6	77.3	3.0
40～49歳	95	10.5	17.9	69.5	2.1
50～59歳	117	5.1	23.1	71.8	-
60～69歳	129	4.7	21.7	71.3	2.3
70～79歳	159	12.6	22.0	58.5	6.9
80歳以上	94	9.6	30.9	45.7	13.8
家族構成別					
ひとり暮らし	135	7.4	18.5	65.9	8.1
夫婦のみ	210	7.6	19.0	69.5	3.8
親子	289	9.0	23.9	64.0	3.1
三世代	30	6.7	30.0	60.0	3.3
ひとり親と子	21	-	14.3	81.0	4.8
地区別					
中央地区	73	6.8	20.5	71.2	1.4
小田地区	114	12.3	25.4	59.6	2.6
大庄地区	72	9.7	25.0	58.3	6.9
立花地区	167	9.0	13.2	72.5	5.4
武庫地区	127	5.5	25.2	66.1	3.1
園田地区	139	5.8	22.3	68.3	3.6
現在の住居での居住年数別					
1年未満	29	-	6.9	89.7	3.4
1年以上5年未満	103	3.9	10.7	81.6	3.9
5年以上10年未満	91	6.6	20.9	68.1	4.4
10年以上30年未満	263	6.1	25.1	66.9	1.9
30年以上	217	13.8	23.5	54.8	7.8
地域との交流状況別					
ある	346	13.0	30.1	52.3	4.6
あいさつ程度	230	4.3	15.2	77.4	3.0
ない	122	1.6	9.0	85.2	4.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

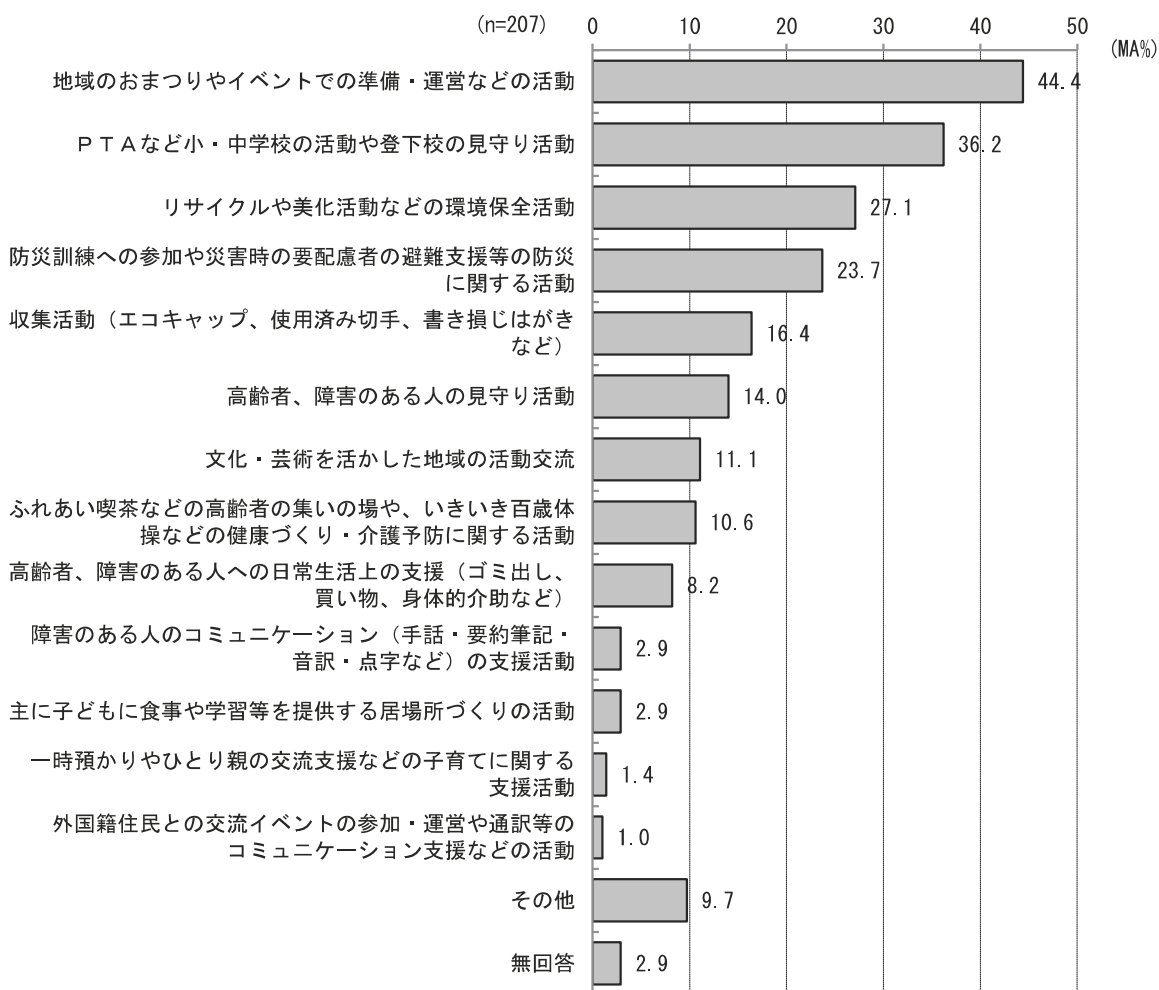
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 現在参加している活動

問5で「1」または「2」と回答した方に

(問5-1) あなたが、現在参加している（以前に参加したことがある）活動について、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- ・ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に参加したことがあると回答した人に、現在参加している活動をたずねると、「地域のおまつりやイベントでの準備・運営などの活動」が44.4%で最も多く、次いで「PTAなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動」が36.2%、「リサイクルや美化活動などの環境保全活動」が27.1%となっています。
- ・性別でみると、「PTAなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動」の割合は男性(30.4%)より女性(39.0%)のほうが8.6ポイント、「収集活動（エコキャップ、使用済み切手、書き損じはがきなど）」の割合は男性(5.8%)より女性(21.3%)のほうが15.5ポイント高くなっていますが、「防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動」の割合は女性(19.9%)より男性(31.9%)のほうが12.0ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、30歳から69歳までの年代では「PTAなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動」の割合が4割を超えて高くなっています。



(MA%)

	回答者数(人)	地域のおまつりやイベントでの準備・運営などの活動	P.T.Aなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動	リサイクルや美化活動などの環境保全活動	防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動	収集活動(エコキャップ、使用済み切手、書き損じはがきなど)	高齢者、障害のある人の見守り活動	文化・芸術を活かした地域の活動交流	ふれあい喫茶などの高齢者の集いの場や、いきいき百歳体操などの健康づくり・介護予防に関する活動
性別									
男性	69	47.8	30.4	26.1	31.9	5.8	15.9	15.9	8.7
女性	136	42.6	39.0	27.2	19.9	21.3	12.5	8.8	11.8
年代別									
18～29歳	7	57.1	-	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3
30～39歳	13	23.1	46.2	15.4	-	-	7.7	-	-
40～49歳	27	37.0	66.7	25.9	7.4	11.1	3.7	-	-
50～59歳	33	36.4	54.5	18.2	3.0	18.2	9.1	6.1	-
60～69歳	34	47.1	41.2	26.5	32.4	23.5	14.7	-	5.9
70～79歳	55	52.7	18.2	36.4	40.0	20.0	20.0	20.0	18.2
80歳以上	38	47.4	23.7	26.3	31.6	13.2	18.4	21.1	23.7

	回答者数(人)	高齢者、障害のある人への日常生活上の支援(ゴミ出し、買い物、身体的介助など)	障害のある人のコミュニケーション(手話・要約筆記・音訳・点字など)の支援活動	主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動	一時預かりやひとり親の交流支援などの子育てに関する支援活動	外国籍住民との交流イベントの参加・運営や通訳等のコミュニケーション支援などの活動	その他	無回答
性別								
男性	69	13.0	2.9	1.4	1.4	1.4	11.6	5.8
女性	136	5.1	2.9	3.7	1.5	0.7	8.8	1.5
年代別								
18～29歳	7	-	14.3	28.6	-	-	-	-
30～39歳	13	7.7	-	-	-	7.7	7.7	7.7
40～49歳	27	-	3.7	7.4	3.7	-	7.4	3.7
50～59歳	33	3.0	-	-	3.0	-	15.2	-
60～69歳	34	8.8	2.9	-	-	-	8.8	-
70～79歳	55	12.7	3.6	1.8	-	1.8	12.7	3.6
80歳以上	38	13.2	2.6	2.6	2.6	-	5.3	5.3

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

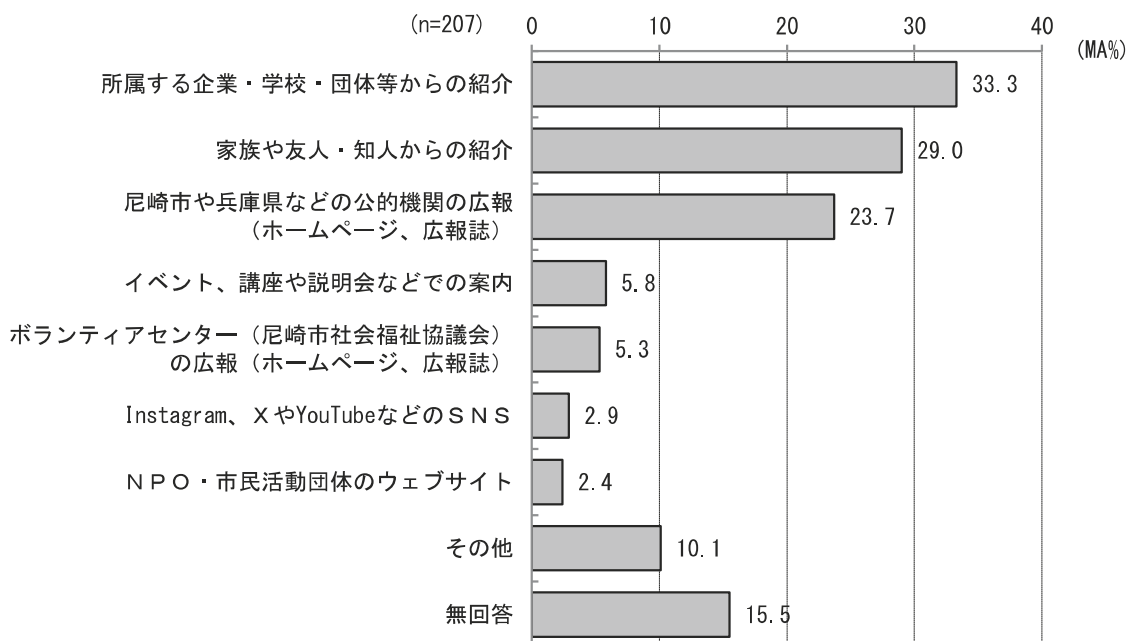
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) ボランティア活動に取り組むにあたり使用している情報媒体

問5で「1」または「2」と回答した方に

(問5-2) あなたがボランティア活動に取り組むにあたって、何を使って情報を得ましたか。(〇はいくつでも)

- ・ボランティア活動に取り組むにあたり使用している情報媒体については、「所属する企業・学校・団体等からの紹介」が33.3%で最も多く、次いで「家族や友人・知人からの紹介」が29.0%、「尼崎市や兵庫県などの公的機関の広報（ホームページ、広報誌）」が23.7%となっています。
- ・性別でみると、男性では「家族や友人・知人からの紹介」(30.4%)、女性では「所属する企業・学校・団体等からの紹介」(39.0%)がそれぞれ最も多くなっています。
- ・年代別でみると、「所属する企業・学校・団体等からの紹介」の割合は18～29歳が71.4%で最も高く、次いで40～49歳が63.0%となっています。



(MA%)

	回答者数(人)	所属する企業・学校・団体等からの紹介	家族や友人・知人からの紹介	尼崎市や兵庫県などの公的機関の広報(ホームページ、広報誌)	イベント、講座や説明会などでの案内	ボランティアセンター(尼崎市社会福祉協議会)の広報(ホームページ、広報誌)	Instagram、XやYouTubeなどのSNS	NPO・市民活動団体のウェブサイト	その他	無回答
性別										
男性	69	23.2	30.4	27.5	8.7	5.8	1.4	-	7.2	18.8
女性	136	39.0	27.9	21.3	4.4	5.1	3.7	2.9	11.8	14.0
年代別										
18～29歳	7	71.4	28.6	-	-	-	-	-	-	-
30～39歳	13	38.5	30.8	23.1	-	7.7	23.1	15.4	-	23.1
40～49歳	27	63.0	22.2	14.8	7.4	7.4	-	-	3.7	-
50～59歳	33	48.5	24.2	15.2	3.0	3.0	3.0	6.1	15.2	9.1
60～69歳	34	32.4	35.3	32.4	2.9	5.9	2.9	-	8.8	8.8
70～79歳	55	20.0	36.4	27.3	9.1	5.5	-	1.8	14.5	18.2
80歳以上	38	10.5	21.1	28.9	7.9	5.3	2.6	-	10.5	34.2

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

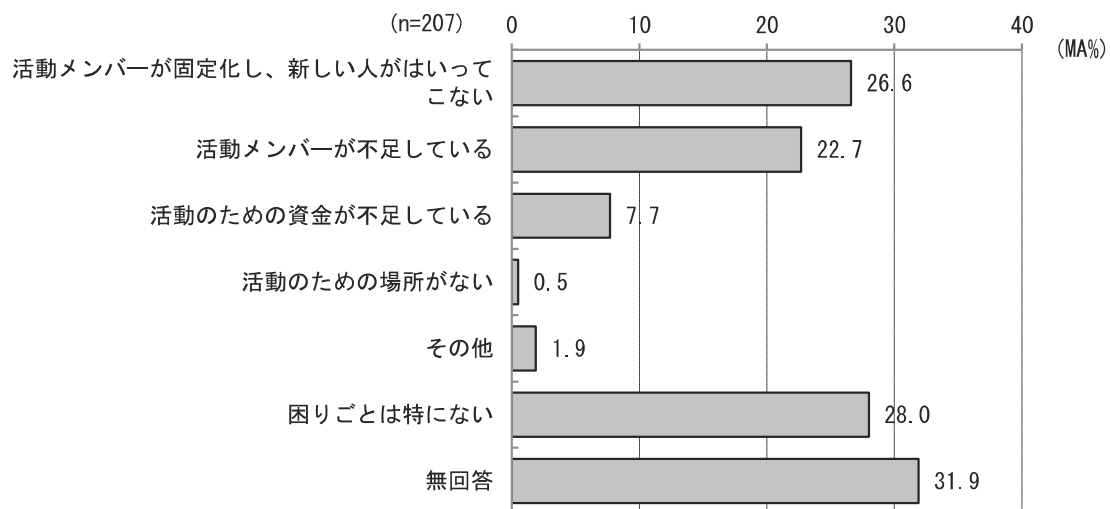
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 活動をする中で困っていること

問5で「1」または「2」と回答した方に

(問5-3) あなたが活動をする中で、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- ・活動の中で困っていることについては、「活動メンバーが固定化し、新しい人がはいつてこない」が26.6%で最も多く、次いで「活動メンバーが不足している」が22.7%、「活動のための資金が不足している」が7.7%となっています。
- ・性別でみると、いずれの項目も女性より男性のほうが高くなっています。
- ・年代別でみると、「活動メンバーが固定化し、新しい人がはいつてこない」の割合は40～49歳が37.0%で最も高く、次いで60～69歳が32.4%、80歳以上が31.6%となっています。



(MA%)

	回答者数 (人)	活動メンバーが固定化し、新しい人がはいつてこない	活動メンバーが不足している	活動のための資金が不足している	活動のための場所がない	その他	困りごととは特にない	無回答
性別								
男性	69	33.3	30.4	8.7	1.4	1.4	29.0	20.3
女性	136	22.1	19.1	6.6	-	2.2	27.9	38.2
年代別								
18～29歳	7	14.3	-	14.3	-	-	57.1	14.3
30～39歳	13	15.4	23.1	7.7	-	-	38.5	30.8
40～49歳	27	37.0	18.5	11.1	-	7.4	40.7	14.8
50～59歳	33	21.2	24.2	9.1	-	3.0	42.4	21.2
60～69歳	34	32.4	29.4	11.8	-	-	20.6	32.4
70～79歳	55	21.8	20.0	3.6	1.8	-	18.2	47.3
80歳以上	38	31.6	26.3	5.3	-	2.6	18.4	34.2

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

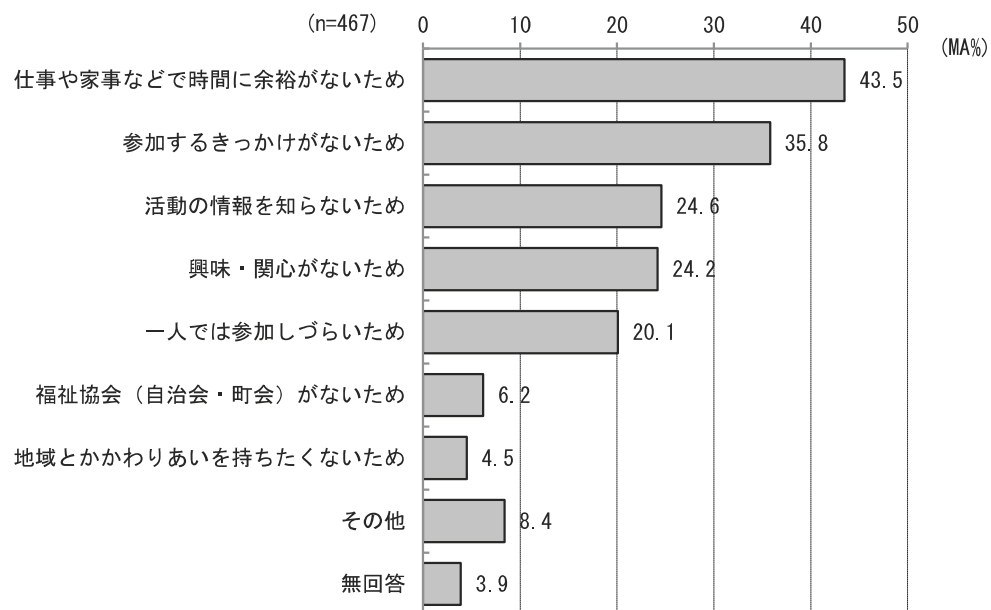
※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) 活動に参加していない理由

問5で「3」と回答した方に

(問5-4) 活動に参加していない理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

- ・活動に参加していない理由については、「仕事や家事などで時間に余裕がないため」が43.5%で最も多く、次いで「参加するきっかけがないため」が35.8%、「活動の情報を知らないため」が24.6%となっています。
- ・性別でみると、「興味・関心がないため」の割合は女性(18.4%)より男性(32.3%)のほうが13.9ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、「仕事や家事などで時間に余裕がないため」の割合は59歳までの年代で5割以上高くなっています。



(MA%)

	回答者数(人)	仕事や家事などで時間に余裕がないため	参加するきっかけがないため	活動の情報を知らないため	興味・関心がないため	一人では参加しづらいため	福祉協会(自治会・町会)がないため	地域とかかわりあいを持ちたくないため	その他	無回答
性別										
男性	201	35.8	31.3	21.9	32.3	15.9	6.0	5.0	8.0	3.0
女性	261	49.4	39.5	27.2	18.4	23.8	6.5	3.8	8.0	4.6
年代別										
18～29歳	38	50.0	50.0	21.1	31.6	15.8	2.6	-	2.6	-
30～39歳	51	52.9	41.2	39.2	13.7	23.5	2.0	3.9	3.9	2.0
40～49歳	66	66.7	30.3	24.2	21.2	22.7	4.5	6.1	3.0	-
50～59歳	84	54.8	40.5	33.3	27.4	23.8	9.5	7.1	3.6	2.4
60～69歳	92	47.8	33.7	17.4	22.8	14.1	9.8	2.2	9.8	3.3
70～79歳	93	19.4	34.4	22.6	30.1	21.5	5.4	5.4	9.7	7.5
80歳以上	43	11.6	23.3	14.0	18.6	18.6	4.7	4.7	30.2	11.6

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

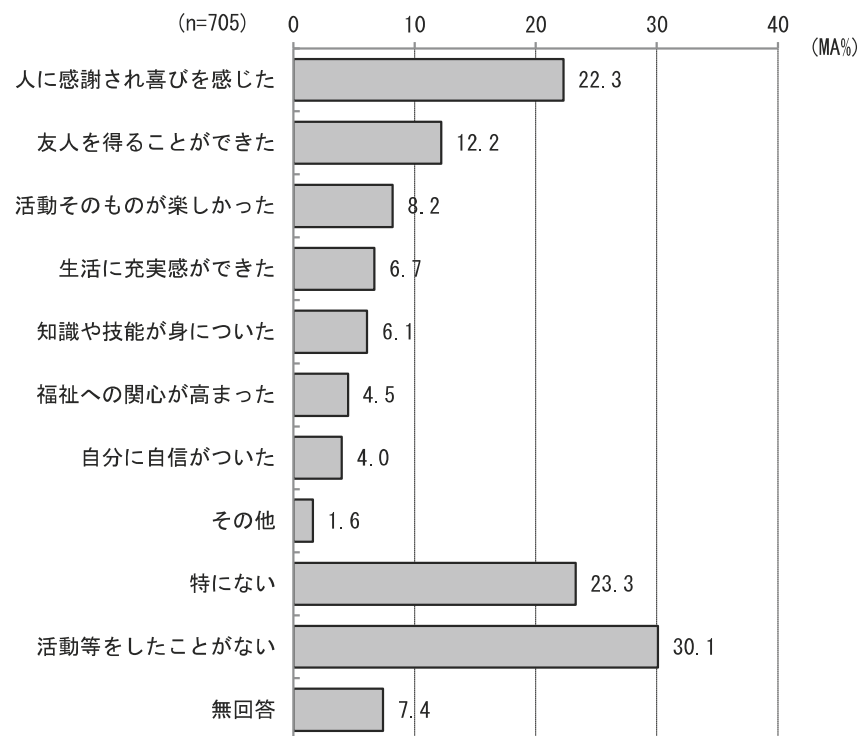
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(7) 地域の支え合いにつながる活動をした中で良かったこと

再び、すべての方に

(問6) 日常のちょっとした声掛けや手助けなど含めた地域の支え合いにつながる活動をした中で、良かったことはありますか。(〇はいくつでも)

- ・地域の支え合いにつながる活動をした中で良かったことについては、「人に感謝され喜びを感じた」が22.3%で最も多く、次いで「友人を得ることができた」が12.2%、「活動そのものが楽しかった」が8.2%となっています。一方、「活動等をしたことがない」は30.1%となっています。
- ・年代別でみると、「友人を得ることができた」の割合は80歳以上が22.3%で最も高く、「活動そのものが楽しかった」の割合は18～29歳が13.3%で最も高くなっています。



		(MA%)										
	回答者数 (人)	人に感謝され喜びを感じた	友人を得ることができた	活動そのものが楽しかった	生活に充実感ができた	知識や技能が身についた	福祉への関心が高まった	自分に自信がついた	その他	特にない	活動等をしたことがない	無回答
年代別												
18～29歳	45	20.0	2.2	13.3	6.7	2.2	4.4	6.7	-	17.8	48.9	2.2
30～39歳	66	28.8	9.1	7.6	13.6	7.6	3.0	13.6	-	18.2	37.9	1.5
40～49歳	95	23.2	8.4	6.3	7.4	5.3	7.4	4.2	2.1	29.5	29.5	2.1
50～59歳	117	20.5	6.8	4.3	4.3	6.0	1.7	1.7	2.6	29.1	32.5	2.6
60～69歳	129	18.6	12.4	7.8	3.9	5.4	4.7	2.3	2.3	29.5	25.6	3.9
70～79歳	159	22.0	16.4	10.1	4.4	6.3	5.7	3.1	0.6	20.1	29.6	13.8
80歳以上	94	25.5	22.3	10.6	11.7	8.5	4.3	2.1	2.1	12.8	20.2	19.1

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

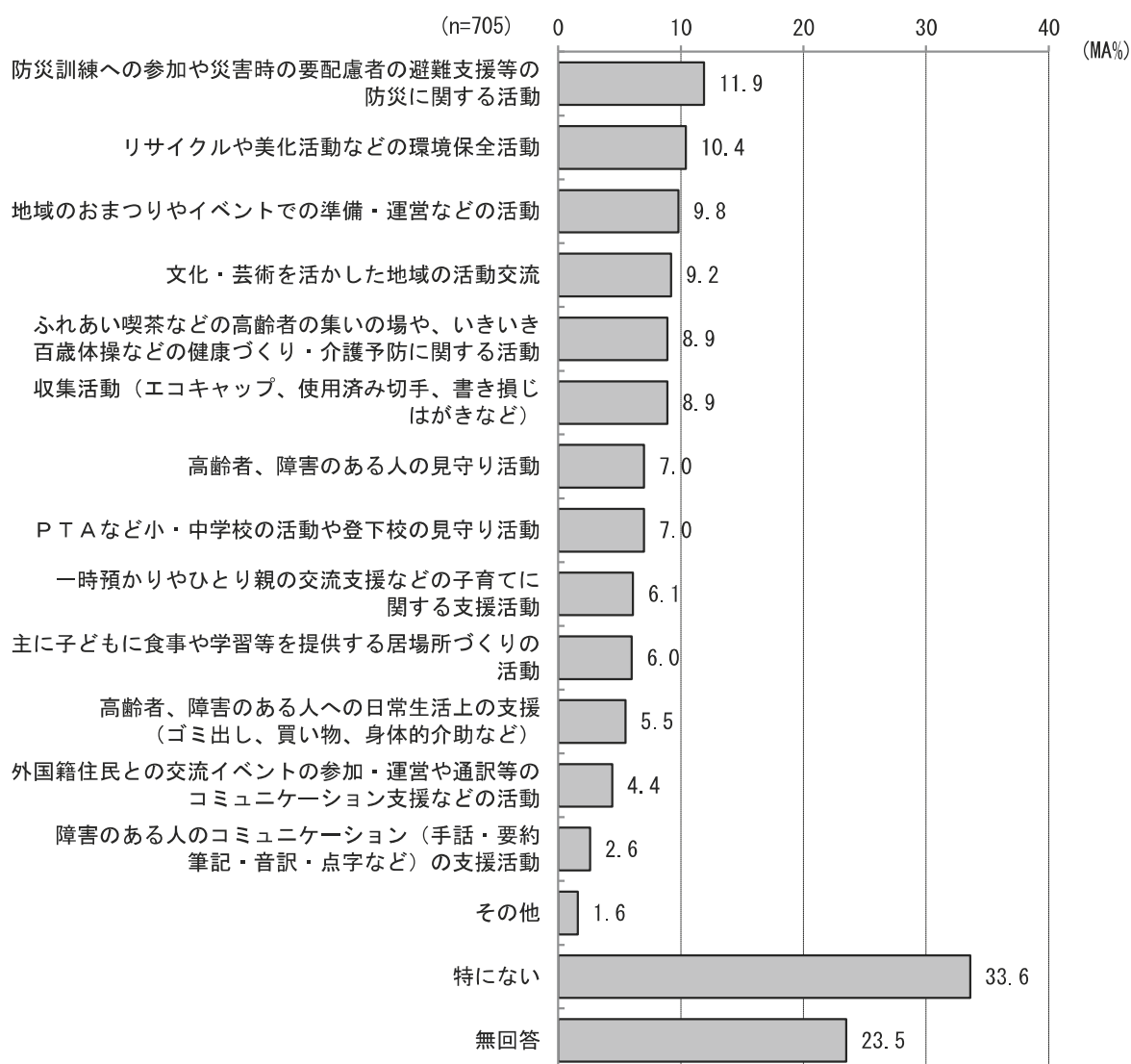
(8) ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動について

(問7) ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に関して、

- ① あなたが、今後、新たに参加してみたい活動
- ② 身近な人あるいは地域の人が困っていて必要と感じていると思う活動 として、1～15の選択肢の中からあてはまるものについて、太枠内に○をつけてください。(○はいくつでも)

① 今後、新たに参加してみたい活動

・今後、新たに参加したい活動は、「特にない」が33.6%で最も多く、次いで「防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動」が11.9%、「リサイクルや美化活動などの環境保全活動」が10.4%、「地域のおまつりやイベントでの準備・運営などの活動」が9.8%となっています。



- ・性別でみると、男性は「防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動」が12.2%で最も多く、女性では「文化・芸術を活かした地域の活動交流」が11.9%で最も多くなっています。
- ・年代別でみると、18～29歳は「主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動」が17.8%で最も多く、30～39歳では「PTAなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動」が21.2%で最も多くなっています。

(MA%)

	回答者数（人）	防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動	リサイクルや美化活動などの環境保全活動	地域のおまつりやイベントでの準備・運営などの活動	文化・芸術を活かした地域の活動交流	ふれあい喫茶などの高齢者の集いの場や、いきいき百歳体操などの健康づくり・介護予防に関する活動	収集活動（エコキャップ、使用済み切手、書き損じはがきなど）	高齢者、障害のある人の見守り活動	PTAなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動
性別									
男性	286	12.2	9.4	10.1	5.6	5.6	5.6	7.7	5.6
女性	411	11.4	10.7	9.2	11.9	11.2	11.2	6.6	7.3
年代別									
18～29 歳	45	11.1	4.4	15.6	8.9	8.9	6.7	6.7	4.4
30～39 歳	66	19.7	15.2	16.7	12.1	1.5	7.6	6.1	21.2
40～49 歳	95	9.5	9.5	13.7	8.4	4.2	5.3	2.1	11.6
50～59 歳	117	15.4	13.7	7.7	10.3	5.1	13.7	11.1	5.1
60～69 歳	129	10.9	13.2	10.1	13.2	9.3	12.4	11.6	4.7
70～79 歳	159	11.9	6.3	6.9	6.9	12.6	6.9	4.4	3.8
80 歳以上	94	6.4	9.6	5.3	5.3	17.0	7.4	5.3	4.3

	回答者数（人）	一時預かりやひとり親の交流支援などの子育てに関する支援活動	主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動	高齢者、障害のある人への日常生活上の支援（ゴミ出し、買い物、身体的介助など）	外国籍住民との交流イベントの参加・運営や通訳等のコミュニケーション支援などの活動	障害のある人のコミュニケーション（手話・要約筆記・音訳・点字など）の支援活動	その他	特になし	無回答
性別									
男性	286	3.1	2.8	5.9	3.1	2.1	1.4	40.6	22.4
女性	411	7.5	7.8	5.4	5.1	2.9	1.7	28.7	24.6
年代別									
18～29 歳	45	8.9	17.8	6.7	11.1	6.7	-	51.1	8.9
30～39 歳	66	13.6	15.2	4.5	12.1	6.1	3.0	28.8	13.6
40～49 歳	95	7.4	7.4	2.1	8.4	1.1	3.2	34.7	17.9
50～59 歳	117	8.5	5.1	7.7	1.7	4.3	2.6	40.2	14.5
60～69 歳	129	5.4	4.7	9.3	3.9	1.6	1.6	31.0	23.3
70～79 歳	159	2.5	2.5	3.8	1.9	1.3	-	31.4	33.3
80 歳以上	94	2.1	1.1	4.3	-	1.1	1.1	26.6	38.3

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・家族構成別でみると、ひとり暮らし世帯では「ふれあい喫茶などの高齢者の集いの場や、いきいき百歳体操などの健康づくり・介護予防に関する活動」が14.1%で最も多く、夫婦のみの世帯では「リサイクルや美化活動などの環境保全活動」が13.8%で最も多くなっています。
- ・地区別でみると、「防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動」の割合は園田地区が15.8%で最も高く、次いで大庄地区が12.5%となっています。

		(MA%)							
	回答者数（人）	防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動	リサイクルや美化活動などの環境保全活動	地域のおまつりやイベントでの準備・運営などの活動	文化・芸術を活かした地域の活動交流	ふれあい喫茶などの高齢者の集いの場や、いきいき百歳体操などの健康づくり・介護予防に関する活動	収集活動（エコキャップ、使用済み切手、書き損じはがきなど）	高齢者、障害のある人の見守り活動	P.T.Aなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動
家族構成別									
ひとり暮らし	135	7.4	8.1	8.9	8.9	14.1	8.1	9.6	2.2
夫婦のみ	210	10.5	13.8	5.7	8.6	11.4	8.1	6.2	3.8
親子	289	15.6	10.0	12.8	11.1	6.2	9.3	6.6	11.4
三世代	30	3.3	6.7	10.0	6.7	3.3	10.0	3.3	6.7
ひとり親と子	21	9.5	4.8	9.5	-	-	14.3	4.8	4.8
地区別									
中央地区	73	11.0	12.3	12.3	5.5	15.1	9.6	6.8	-
小田地区	114	11.4	11.4	14.9	11.4	9.6	7.0	5.3	8.8
大庄地区	72	12.5	11.1	8.3	4.2	4.2	8.3	8.3	11.1
立花地区	167	10.2	8.4	9.0	13.2	10.2	8.4	9.0	6.0
武庫地区	127	11.0	11.8	7.1	8.7	8.7	11.8	2.4	6.3
園田地区	139	15.8	10.1	9.4	7.9	6.5	9.4	9.4	9.4

	回答者数（人）	一時預かりやひとり親の交流支援などの子育てに関する支援活動	主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動	高齢者、障害のある人への日常生活上の支援（ゴミ出し、買い物、身体的介助など）	外国人住民との交流イベントの参加・運営や通訳等のコミュニケーション支援などの活動	障害のある人のコミュニケーション（手話・要約筆記・音訳・点字など）の支援活動	その他	特になし	無回答
家族構成別									
ひとり暮らし	135	3.0	1.5	7.4	3.0	-	3.7	34.8	25.9
夫婦のみ	210	3.3	4.8	4.3	2.9	2.4	0.5	31.0	28.6
親子	289	9.0	9.3	5.2	7.3	4.2	1.7	32.5	18.3
三世代	30	-	-	-	-	-	-	40.0	33.3
ひとり親と子	21	14.3	-	9.5	-	-	-	47.6	14.3
地区別									
中央地区	73	8.2	5.5	5.5	4.1	-	2.7	31.5	21.9
小田地区	114	5.3	8.8	0.9	7.9	2.6	2.6	29.8	21.9
大庄地区	72	4.2	4.2	9.7	2.8	1.4	-	36.1	23.6
立花地区	167	9.0	6.0	7.2	6.6	3.6	1.2	35.3	19.8
武庫地区	127	6.3	7.1	1.6	2.4	2.4	1.6	34.6	26.0
園田地区	139	3.6	4.3	8.6	2.2	3.6	0.7	33.8	25.9

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・現在の住居での居住年数別でみると、「主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動」の割合は1年未満が13.8%で最も高く、年数が長くなるほど割合が低くなっています。
- ・地域との交流状況別でみると、交流がある人とあいさつ程度の人では「防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動」が最も多いですが、交流がない人では「文化・芸術を活かした地域の活動交流」が最も多くなっています。
- ・ボランティアへの参加状況別でみると、いずれの項目も参加していない人より参加している人のほうが高い割合となっています。

	回答者数（人）	防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の活動に関する活動	防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の活動に関する活動	リサイクルや美化活動などの環境保全活動	地域のおまつりやイベントでの準備・運営などの活動	文化・芸術を活かした地域の活動交流	ふれあい喫茶などの高齢者の集いの場や、いきいき百歳体操などの健康づくり・介護予防に関する活動	収集活動（エコキャップ、使用済み切手、書き損じはがきなど）	高齢者、障害のある人の見守り活動	PTAなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動	(MA%)
現在の住居での居住年数別											
1年未満	29	6.9	6.9	6.9	6.9	3.4	-	-	-	3.4	
1年以上5年未満	103	12.6	10.7	9.7	8.7	4.9	3.9	4.9	10.7		
5年以上10年未満	91	11.0	6.6	5.5	11.0	13.2	7.7	4.4	12.1		
10年以上30年未満	263	11.8	10.3	11.4	10.6	5.7	11.4	6.8	5.7		
30年以上	217	12.9	12.4	9.7	7.4	13.8	10.1	10.1	5.1		
地域との交流状況別											
ある	346	13.9	13.6	11.8	11.0	12.1	10.7	8.4	8.4		
あいさつ程度	230	11.3	9.1	9.1	7.0	7.0	9.1	5.7	7.4		
ない	122	7.4	4.1	4.9	9.0	4.1	4.1	5.7	2.5		
ボランティアへの参加状況別											
している	207	17.9	16.4	16.4	14.0	14.0	12.1	10.6	12.6		
していない	467	9.9	8.4	7.1	7.7	7.1	7.9	5.6	4.9		

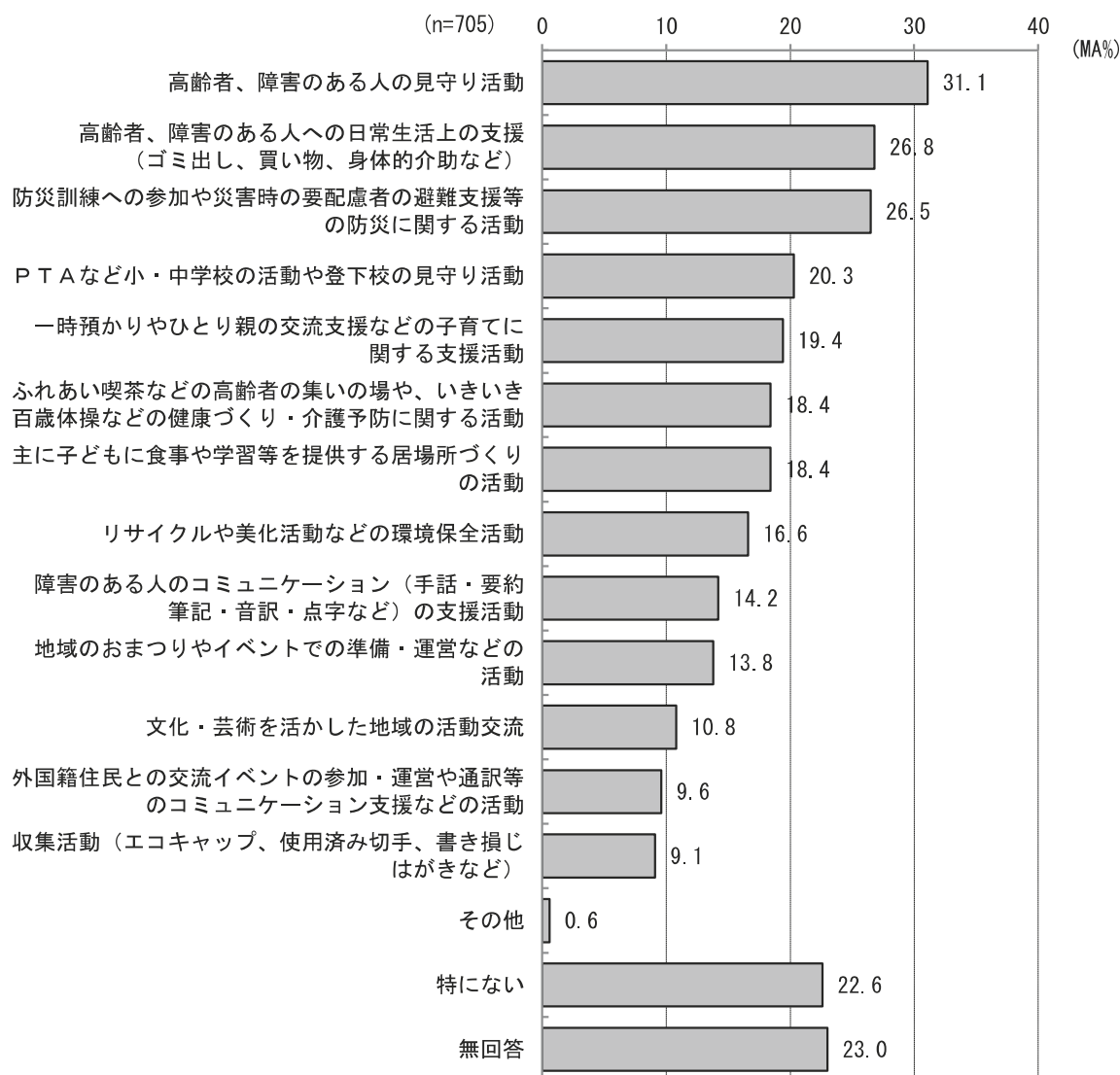
	回答者数（人）	一時預かりやひとり親の交流支援などの子育てに関する活動	主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動	高齢者、障害のある人への日常生活上の支援（ゴミ出し、買い物、身体的介助など）	外国籍住民との交流イベントの参加・運営や通訳等のコミュニケーション支援などの活動	障害のある人のコミュニケーション（手話・要約筆記・音声・点字など）の支援活動	その他	特にな	無回答
現在の住居での居住年数別									
1年未満	29	10.3	13.8	3.4	6.9	-	3.4	55.2	10.3
1年以上5年未満	103	9.7	10.7	1.9	6.8	1.9	1.0	41.7	21.4
5年以上10年未満	91	2.2	8.8	4.4	4.4	2.2	5.5	37.4	16.5
10年以上30年未満	263	6.8	4.6	4.9	4.6	3.0	1.1	33.5	20.5
30年以上	217	4.1	3.2	8.8	2.8	2.8	0.5	25.8	32.7
地域との交流状況別									
ある	346	7.2	6.1	6.9	5.2	3.5	2.0	24.9	24.3
あいさつ程度	230	5.2	4.8	4.3	3.5	2.2	0.9	36.5	24.8
ない	122	4.9	8.2	4.1	4.1	0.8	1.6	52.5	18.0
ボランティアへの参加状況別									
している	207	8.7	8.7	7.2	6.8	4.3	1.4	19.8	22.2
していない	467	5.4	5.1	5.1	3.6	1.9	1.7	40.9	21.2

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 地域に必要な活動

・地域に必要な活動については、「高齢者、障害のある人の見守り活動」が31.1%で最も多く、次いで「高齢者、障害のある人への日常生活上の支援（ゴミ出し、買い物、身体的介助など）」が26.8%、「防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動」が26.5%となっています。一方、「特にない」は22.6%となっています。



- ・性別でみると、「高齢者、障害のある人の見守り活動」の割合は男性（24.5％）より女性（35.8％）のほうが11.3ポイント高く、「高齢者、障害のある人への日常生活上の支援（ゴミ出し、買い物、身体的介助など）」の割合も男性（20.3％）より女性（31.1％）のほうが10.8ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、30～39歳は「一時預かりやひとり親の交流支援などの子育てに関する支援活動」が40.9％で最も多く、次いで「主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動」が37.9％となっています。「高齢者、障害のある人の見守り活動」の割合は40～69歳の各年代で3割を超えています。

(MA%)

	回答者数（人）	高齢者、障害のある人の見守り活動	高齢者、障害のある人への日常生活上の支援（ゴミ出し、買い物、身体的介助など）	防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動	P.T.Aなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動	一時預かりやひとり親の交流支援などの子育てに関する支援活動	ふれあい喫茶などの高齢者の集いの場や、いきいき百歳体操などの健康づくり・介護予防に関する活動	主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動	リサイクルや美化活動などの環境保全活動
性別									
男性	286	24.5	20.3	21.0	16.4	11.9	13.3	11.9	14.0
女性	411	35.8	31.1	30.4	22.9	24.3	22.1	22.6	18.5
年代別									
18～29歳	45	20.0	26.7	22.2	26.7	24.4	24.4	20.0	20.0
30～39歳	66	28.8	27.3	30.3	28.8	40.9	12.1	37.9	12.1
40～49歳	95	34.7	34.7	29.5	33.7	24.2	17.9	27.4	21.1
50～59歳	117	41.9	37.6	35.0	27.4	24.8	28.2	26.5	22.2
60～69歳	129	38.8	32.6	31.0	21.7	20.9	21.7	20.2	24.8
70～79歳	159	25.2	17.6	23.3	8.8	9.4	13.8	8.2	9.4
80歳以上	94	20.2	12.8	11.7	6.4	5.3	11.7	-	7.4
性別									
男性	286	10.5	12.6	9.4	5.9	6.6	0.3	29.7	24.1
女性	411	16.5	14.6	11.4	11.9	10.5	0.7	17.5	22.1
年代別									
18～29歳	45	17.8	20.0	13.3	13.3	8.9	2.2	35.6	2.2
30～39歳	66	24.2	13.6	18.2	15.2	9.1	3.0	15.2	6.1
40～49歳	95	21.1	22.1	13.7	10.5	14.7	-	22.1	8.4
50～59歳	117	23.9	16.2	18.8	17.1	11.1	0.9	29.1	10.3
60～69歳	129	11.6	11.6	8.5	10.9	11.6	-	19.4	18.6
70～79歳	159	7.5	11.3	3.1	4.4	5.7	-	22.0	40.9
80歳以上	94	1.1	6.4	7.4	1.1	3.2	-	19.1	51.1

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・家族構成別でみると、ひとり暮らし、夫婦のみ、親子の世帯では「高齢者、障害のある人の見守り活動」が最も多く、三世帯、ひとり親と子の世帯では「高齢者、障害のある人への日常生活上の支援（ゴミ出し、買い物、身体的介助など）」が最も多くなっています。
- ・地区別でみると、「PTAなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動」の割合は小田地区が27.2%で最も高く、次いで中央地区が21.9%となっています。

									(MA%)
	回答者数（人）	高齢者、障害のある人の見守り活動	高齢者、障害のある人への日常生活上の支援（ゴミ出し、買い物、身体的介助など）	配慮者の避難支援等の防災に関する活動	PTAなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動	一時預かりやひとり親の交流支援などの子育てに関する支援活動	高齢者の集いの場や、いきいき百歳体操などの健康づくり・介護予防に関する活動	主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動	リサイクルや美化活動などの環境保全活動
家族構成別									
ひとり暮らし	135	29.6	23.0	23.0	14.1	10.4	17.8	8.1	14.8
夫婦のみ	210	31.0	24.8	28.1	12.9	17.6	17.1	14.8	15.2
親子	289	33.2	29.4	29.1	29.4	24.2	19.7	26.3	19.4
三世帯	30	23.3	30.0	13.3	16.7	26.7	20.0	23.3	10.0
ひとり親と子	21	23.8	28.6	14.3	23.8	14.3	23.8	9.5	14.3
地区別									
中央地区	73	31.5	24.7	26.0	21.9	17.8	27.4	12.3	21.9
小田地区	114	36.0	31.6	29.8	27.2	24.6	21.9	22.8	19.3
大庄地区	72	33.3	27.8	23.6	15.3	16.7	16.7	11.1	13.9
立花地区	167	31.1	28.1	28.1	19.8	19.8	18.0	20.4	16.2
武庫地区	127	26.8	23.6	22.0	16.5	20.5	13.4	22.8	13.4
園田地区	139	31.7	26.6	30.2	21.6	17.3	17.3	17.3	18.0

	回答者数（人）	障害のある人のコミュニケーション（手話・要約筆記・音訳・点字など）の支援活動	地域のおまつりやイベントでの準備・運営などの活動	文化・芸術を活かした地域の活動交流	外国籍住民との交流イベントの参加・運営や通訳等のコミュニケーション支援などの活動	収集活動（エコキャップ、使用済み切手、書き損じはがきなど）	その他	特になし	無回答
家族構成別									
ひとり暮らし	135	11.1	9.6	9.6	5.9	7.4	1.5	25.9	31.1
夫婦のみ	210	11.9	11.4	8.6	7.6	6.2	0.5	18.1	29.5
親子	289	18.3	17.3	13.8	13.1	12.1	0.3	23.2	14.5
三世帯	30	6.7	13.3	-	10.0	-	-	23.3	30.0
ひとり親と子	21	14.3	14.3	14.3	9.5	9.5	-	28.6	19.0
地区別									
中央地区	73	16.4	13.7	12.3	15.1	12.3	1.4	19.2	26.0
小田地区	114	16.7	20.2	14.9	9.6	8.8	-	16.7	22.8
大庄地区	72	15.3	8.3	9.7	5.6	11.1	-	25.0	19.4
立花地区	167	17.4	12.6	13.8	10.2	6.0	0.6	25.1	19.8
武庫地区	127	11.8	16.5	10.2	10.2	12.6	-	23.6	26.0
園田地区	139	10.1	11.5	5.0	8.6	7.9	0.7	23.0	22.3

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・現在の住居での居住年数別でみると、1年未満は「PTAなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動」が24.1%で最も多く、1年以上では「高齢者、障害のある人の見守り活動」が最も多くなっています。
- ・地域との交流状況別でみると、いずれの項目も交流がある人の割合が最も高くなっています。
- ・ボランティアへの参加状況別でみると、いずれの項目もボランティアに参加している人のほうが高い割合となっています。

(MA%)

	回答者数(人)	高齢者、障害のある人の見守り活動	高齢者、障害のある人への日常生活上の支援(ゴミ出し、買い物、身体的介助など)	防災訓練への参加や災害時の要配慮者の避難支援等の防災に関する活動	PTAなど小・中学校の活動や登下校の見守り活動	一時預かりやひとり親の交流支援などの子育てに関する支援活動	高齢者の集いの場や、いきいき百歳体操などの健康づくり・介護予防に関する活動	主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動	リサイクルや美化活動などの環境保全活動
現在の住居での居住年数別									
1年未満	29	13.8	13.8	20.7	24.1	20.7	17.2	13.8	13.8
1年以上5年未満	103	30.1	30.1	26.2	20.4	29.1	14.6	24.3	12.6
5年以上10年未満	91	24.2	19.8	20.9	15.4	13.2	16.5	19.8	8.8
10年以上30年未満	263	37.3	30.0	33.5	26.6	22.8	20.2	23.6	21.7
30年以上	217	29.0	25.8	21.7	13.8	13.4	18.9	9.7	16.1
地域との交流状況別									
ある	346	34.4	29.8	31.8	24.0	22.0	21.7	20.2	19.7
あいさつ程度	230	28.7	23.9	21.7	18.7	18.3	15.7	17.8	16.1
ない	122	27.0	24.6	22.1	13.9	15.6	15.6	15.6	9.0
ボランティアへの参加状況別									
している	207	40.6	34.3	33.8	27.5	24.2	23.7	21.7	21.7
していない	467	28.5	25.1	24.8	18.0	18.2	16.7	18.0	15.4

	回答者数(人)	障害のある人のコミュニケーション(手話・要約筆記・音訳・点字など)の支援活動	地域のおまつりやイベントでの準備・運営などの活動	文化・芸術を活かした地域の活動交流	外国籍住民との交流イベントの参加・運営や通訳等のコミュニケーション支援などの活動	収集活動(エコキャップ、使用済み切手、書き損じはがきなど)	その他	特にない	無回答
現在の住居での居住年数別									
1年未満	29	10.3	10.3	6.9	6.9	10.3	3.4	34.5	10.3
1年以上5年未満	103	22.3	12.6	10.7	10.7	7.8	-	26.2	16.5
5年以上10年未満	91	8.8	13.2	6.6	5.5	7.7	2.2	29.7	20.9
10年以上30年未満	263	17.5	17.1	14.1	11.8	10.6	0.4	22.1	14.8
30年以上	217	8.8	10.6	9.2	8.8	8.3	-	17.1	38.2
地域との交流状況別									
ある	346	15.3	16.8	13.9	12.7	11.3	0.3	15.6	23.7
あいさつ程度	230	13.5	11.7	8.3	7.0	8.3	0.9	25.7	27.4
ない	122	13.1	9.8	7.4	6.6	4.9	0.8	36.1	11.5
ボランティアへの参加状況別									
している	207	16.9	22.2	15.5	14.0	14.0	-	15.0	22.2
していない	467	13.7	10.7	9.4	8.4	7.3	0.9	27.0	19.9

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

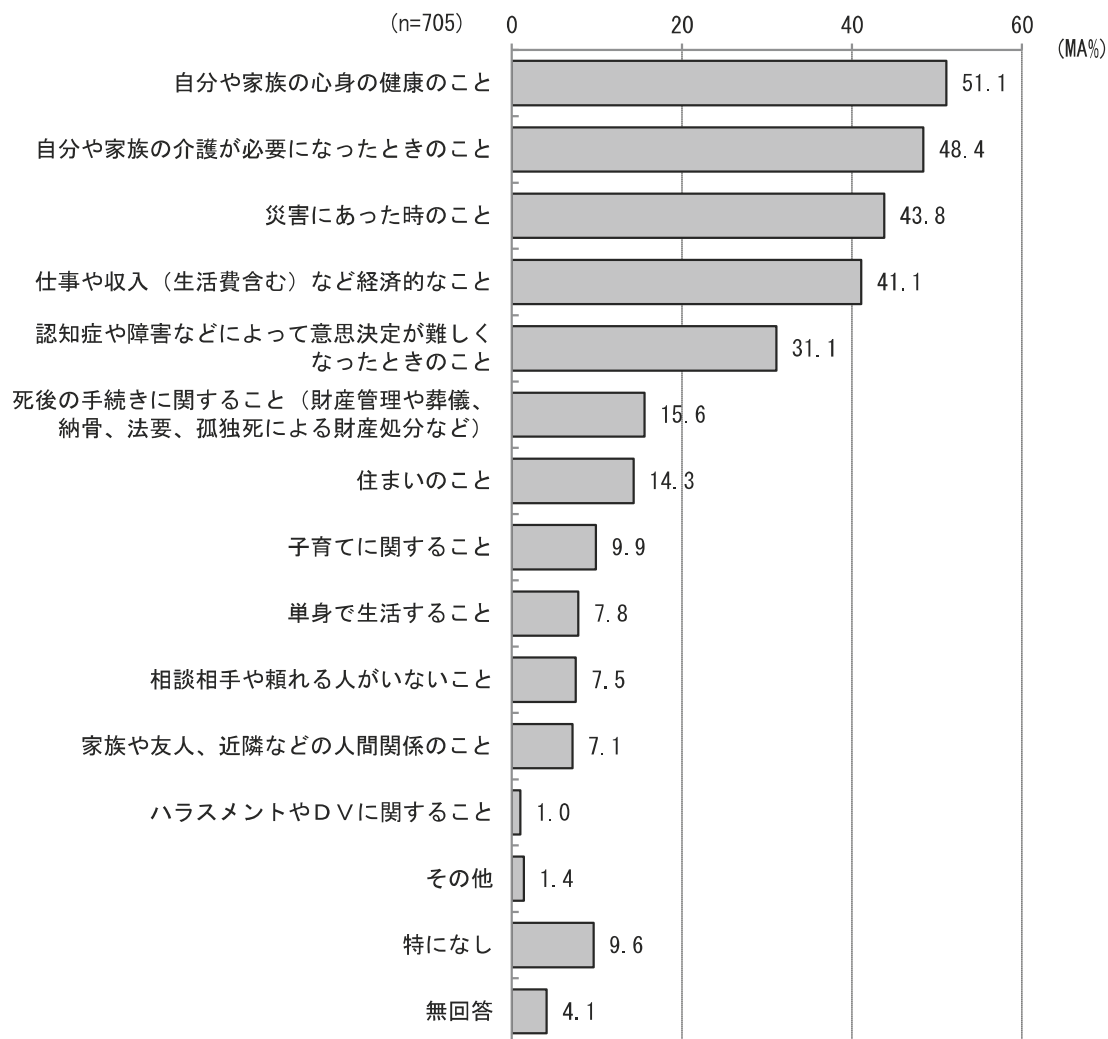
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

4. さまざまな困りごとについて

(1) 日常生活において感じている不安

(問8) あなたが日常生活において感じている不安には、どのようなものがありますか。
(○はいくつでも)

- ・日常生活において感じている不安については、「自分や家族の心身の健康のこと」が51.1%で最も多く、次いで「自分や家族の介護が必要になった時のこと」が48.4%、「災害にあった時のこと」が43.8%となっています。



- ・性別でみると、男性は「自分や家族の心身の健康のこと」が53.8%で最も多いですが、女性は「自分や家族の介護が必要になったときのこと」が51.8%で最も多くなっています。
- ・年齢別でみると、18～29歳、30～39歳では「仕事や収入（生活費含む）など経済的なこと」が最も多く、50～59歳、70～79歳では「自分や家族の介護が必要になったときのこと」が最も多くなっています。

(MA%)

	回答者数（人）	自分や家族の心身の健康のこと	自分や家族の介護が必要になったときのこと	災害にあった時のこと	仕事や収入（生活費含む）など経済的なこと	認知症や障害などによって意思決定が難しくなったときのこと	死後の手続きに関すること（財産管理や葬儀、納骨、法要、孤独死による財産処分など）	住まいのこと	子育てに関すること
性別									
男性	286	53.8	43.7	42.3	40.2	30.1	15.7	15.0	7.7
女性	411	49.1	51.8	44.8	41.8	31.4	15.1	13.4	11.2
年代別									
18～29歳	45	40.0	22.2	40.0	53.3	8.9	6.7	13.3	8.9
30～39歳	66	37.9	34.8	42.4	51.5	13.6	13.6	22.7	42.4
40～49歳	95	62.1	47.4	47.4	57.9	22.1	21.1	16.8	33.7
50～59歳	117	47.9	58.1	46.2	49.6	29.9	20.5	23.1	2.6
60～69歳	129	58.1	54.3	45.0	40.3	40.3	15.5	14.7	2.3
70～79歳	159	50.3	52.8	47.2	31.4	39.6	14.5	9.4	-
80歳以上	94	50.0	43.6	33.0	18.1	37.2	11.7	3.2	-
	回答者数（人）	単身で生活すること	相談相手や頼れる人がいないこと	家族や友人、近隣などの人間関係のこと	ハラスメントやDVに関すること	その他	特になし	無回答	
性別									
男性	286	8.7	9.4	7.0	2.1	1.4	12.9	2.8	
女性	411	7.3	6.3	7.1	0.2	1.5	7.3	4.9	
年代別									
18～29歳	45	8.9	6.7	2.2	2.2	-	26.7	-	
30～39歳	66	4.5	13.6	15.2	4.5	-	6.1	-	
40～49歳	95	6.3	6.3	6.3	1.1	1.1	6.3	-	
50～59歳	117	7.7	12.8	7.7	0.9	0.9	13.7	0.9	
60～69歳	129	7.0	5.4	7.0	0.8	3.9	8.5	2.3	
70～79歳	159	5.7	5.7	6.3	-	1.3	10.1	6.3	
80歳以上	94	16.0	4.3	5.3	-	1.1	3.2	16.0	

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・家族構成別でみると、ひとり暮らしでは「仕事や収入（生活費含む）など経済的なこと」が41.5%で最も多くなっています。「災害にあった時のこと」の割合は三世代が53.3%で最も高くなっています。
- ・地域との交流状況別でみると、「自分や家族の心身の健康のこと」、「自分や家族の介護が必要になった時のこと」、「災害にあった時のこと」、「認知症や障害などによって意思決定が難しくなった時のこと」は交流がある人ほど割合が高くなっています。

	回答者数（人）	自分や家族の心身の健康のこと	自分や家族の介護が必要になった時のこと	災害にあった時のこと	仕事や収入（生活費含む）など経済的なこと	認知症や障害などによって意思決定が難しくなった時のこと	死後の手続きに関すること（財産管理や葬儀、納骨、法要、孤独死による財産処分など）	住まいのこと	(MA%) 子育てに関すること
家族構成別									
ひとり暮らし	135	39.3	37.0	32.6	41.5	35.6	23.7	14.8	0.7
夫婦のみ	210	49.5	54.3	45.7	34.3	33.3	13.3	9.5	2.4
親子	289	55.0	48.4	46.4	45.7	27.0	14.5	17.3	20.4
三世代	30	60.0	53.3	53.3	33.3	30.0	10.0	10.0	10.0
ひとり親と子	21	61.9	61.9	47.6	47.6	33.3	9.5	23.8	9.5
地域との交流状況別									
ある	346	55.8	55.8	47.1	41.3	35.0	15.3	12.7	9.5
あいさつ程度	230	47.0	43.9	41.7	38.3	31.7	14.3	14.8	11.7
ない	122	45.9	37.7	39.3	48.4	19.7	19.7	18.9	8.2

	回答者数（人）	単身で生活すること	相談相手や頼れる人がいないこと	家族や友人、近隣などの人間関係のこと	ハラスメントやDVに関すること	その他	特になし	無回答
家族構成別								
ひとり暮らし	135	23.0	11.1	8.1	0.7	3.0	9.6	8.1
夫婦のみ	210	5.2	5.7	6.2	0.5	0.5	9.5	4.3
親子	289	3.8	6.9	7.6	1.7	1.4	9.0	2.1
三世代	30	-	6.7	10.0	-	-	13.3	-
ひとり親と子	21	4.8	4.8	-	-	-	14.3	9.5
地域との交流状況別								
ある	346	8.4	2.9	6.6	0.6	0.9	5.5	3.8
あいさつ程度	230	7.0	11.7	6.5	1.7	1.7	13.5	4.8
ない	122	8.2	12.3	9.8	0.8	2.5	14.8	2.5

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・ボランティアへの参加状況別でみると、「自分や家族の心身の健康のこと」の割合はボランティアをしていない人（47.5％）よりしている人（61.4％）のほうが13.9ポイント、「自分や家族の介護が必要になったときのこと」の割合もボランティアをしていない人（46.5％）よりしている人（55.6％）のほうが9.1ポイント、それぞれ高くなっています。

(MA%)

	回答者数（人）	自分や家族の心身の健康のこと	自分や家族の介護が必要になったときのこと	災害にあった時のこと	仕事や収入（生活費含む）など経済的なこと	認知症や障害などによって意思決定が難しくなったときのこと	死後の手続きに関すること（財産管理や葬儀、納骨、法要、孤死による財産処分など）	住まいのこと	子育てに関すること
ボランティアへの参加状況別									
している	207	61.4	55.6	48.3	42.5	36.2	14.0	14.5	12.6
していない	467	47.5	46.5	42.8	42.2	28.9	16.5	15.0	9.4

	回答者数（人）	単身で生活すること	相談相手や頼れる人がいないこと	家族や友人、近隣など人間関係のこと	ハラスメントやDVに関すること	その他	特になし	無回答
ボランティアへの参加状況別								
している	207	9.7	3.9	9.2	-	0.5	5.8	3.4
していない	467	7.3	9.4	6.0	1.5	1.7	11.8	2.4

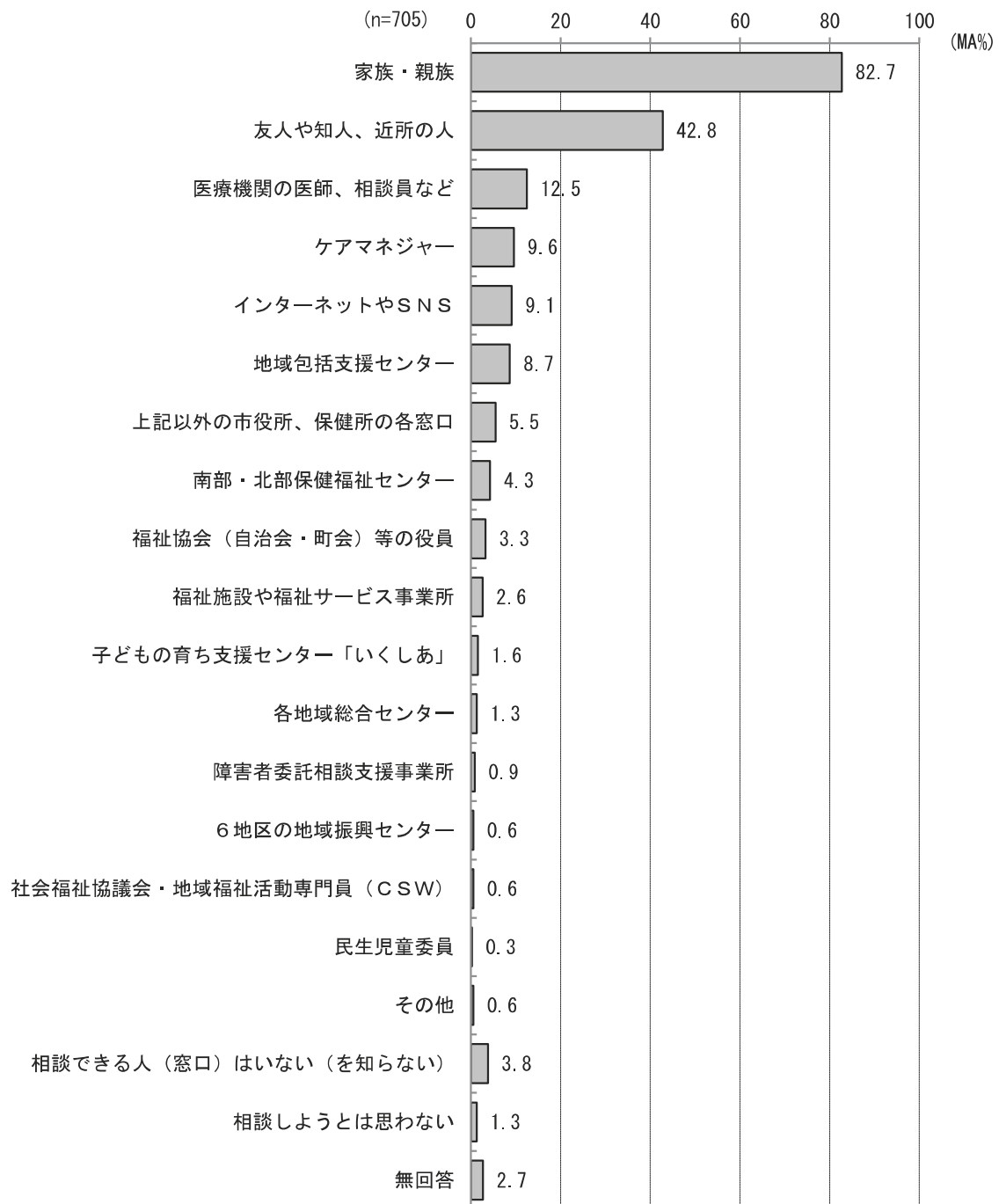
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 困りごとがあった時に相談できる人（窓口）

（問9）あなたが、困りごとがあった時に相談できる人（窓口）はだれ（どこ）ですか。
（○はいくつでも）

- ・困りごとがあった時に相談できる人（窓口）については、「家族・親族」が82.7%で最も多く、次いで「友人や知人、近所の人」が42.8%、「医療機関の医師、相談員など」が12.5%となっています。



- ・性別でみると、「友人や知人、近所の人」の割合は男性（32.9％）より女性（50.1％）のほうが17.2ポイント高くなっています。
- ・年齢別でみると、「医療機関の医師、相談員など」と「ケアマネジャー」の割合はいずれも80歳以上が23.4％で最も高くなっています。

	回答者数（人）	家族・親族	友人や知人、近所の人	医療機関の医師、相談員など	ケアマネジャー	インターネットやSNS	地域包括支援センター	上記以外の市役所、保健所の各窓口	南部・北部保健福祉センター	福祉協会（自治会・町会）等の役員	福祉施設や福祉サービス事業所
(MA%)											
性別											
男性	286	82.5	32.9	13.6	9.8	7.3	8.4	6.3	2.8	2.8	1.4
女性	411	83.2	50.1	11.4	9.5	10.2	9.0	4.9	5.1	3.2	3.2
年代別											
18～29歳	45	84.4	57.8	6.7	-	8.9	2.2	2.2	-	2.2	2.2
30～39歳	66	89.4	62.1	9.1	1.5	19.7	1.5	3.0	12.1	4.5	3.0
40～49歳	95	86.3	60.0	10.5	2.1	12.6	2.1	3.2	5.3	2.1	3.2
50～59歳	117	82.1	49.6	7.7	5.1	12.0	4.3	5.1	6.0	0.9	-
60～69歳	129	83.7	34.1	14.0	13.2	8.5	13.2	11.6	5.4	3.1	3.1
70～79歳	159	81.1	30.8	12.6	12.6	4.4	12.6	3.8	1.3	3.8	3.1
80歳以上	94	75.5	28.7	23.4	23.4	3.2	16.0	6.4	1.1	6.4	3.2

	回答者数（人）	子どもの育ち支援センター「いくしあ」	各地域総合センター	障害者委託相談支援事業所	6地区の地域振興センター	社会福祉協議会・地域福祉活動専門員（CSW）	民生児童委員	その他	相談できる人（窓口）はいない（を知らない）	相談しようとは思わない	無回答
性別											
男性	286	0.3	1.0	0.7	0.7	-	0.3	1.0	3.5	2.1	2.1
女性	411	2.2	1.2	0.7	0.5	1.0	0.2	0.2	4.1	0.7	2.9
年代別											
18～29歳	45	-	2.2	2.2	-	-	-	-	2.2	4.4	-
30～39歳	66	6.1	1.5	3.0	1.5	1.5	-	1.5	4.5	-	-
40～49歳	95	7.4	1.1	-	-	-	-	1.1	4.2	2.1	1.1
50～59歳	117	-	0.9	-	0.9	0.9	-	-	6.0	1.7	-
60～69歳	129	-	1.6	0.8	0.8	0.8	-	-	5.4	-	1.6
70～79歳	159	-	0.6	-	0.6	0.6	1.3	1.3	2.5	1.9	4.4
80歳以上	94	-	2.1	2.1	-	-	-	-	1.1	-	9.6

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・家族構成別でみると、「家族・親族」の割合は夫婦のみ、親子、三世代の世帯がそれぞれ8割以上を占めています。
- ・地区別でみると、「家族・親族」の割合は立花地区が79.6%で、最も低くなっています。

(MA%)											
	回答者数(人)	家族・親族	友人や知人、近所の人	医療機関の医師、相談員など	ケアマネジャー	インターネットやSNS	地域包括支援センター	上記以外の市役所、保健所の各窓口	南部・北部保健福祉センター	福祉協会(自治会・町会)等の役員	福祉施設や福祉サービス事業所
家族構成別											
ひとり暮らし	135	68.1	39.3	12.6	11.1	3.7	8.9	3.0	5.2	3.7	2.2
夫婦のみ	210	88.6	38.6	14.8	9.5	11.0	10.0	6.2	1.9	4.3	1.4
親子	289	86.9	48.4	12.1	7.6	10.7	7.3	5.5	5.9	2.1	2.4
三世代	30	90.0	40.0	13.3	20.0	6.7	6.7	10.0	3.3	-	6.7
ひとり親と子	21	71.4	42.9	-	9.5	4.8	9.5	9.5	4.8	14.3	9.5
地区別											
中央地区	73	82.2	35.6	11.0	12.3	8.2	11.0	5.5	6.8	2.7	2.7
小田地区	114	82.5	43.9	16.7	8.8	10.5	5.3	4.4	3.5	2.6	1.8
大庄地区	72	83.3	48.6	11.1	5.6	8.3	11.1	2.8	5.6	8.3	-
立花地区	167	79.6	40.1	10.8	11.4	8.4	6.0	6.6	4.2	4.2	3.6
武庫地区	127	88.2	48.8	13.4	11.0	10.2	10.2	5.5	2.4	1.6	4.7
園田地区	139	84.9	43.2	12.9	7.9	9.4	11.5	7.2	5.0	2.2	0.7

	回答者数(人)	子どもの育ち支援センター「いくしあ」	各地域総合センター	障害者委託相談支援事業所	6地区の地域振興センター	社会福祉協議会・地域福祉活動専門員(CSW)	民生児童委員	その他	相談できる人(窓口)はいない(を知らない)	相談しようとは思わない	無回答
家族構成別											
ひとり暮らし	135	-	0.7	0.7	1.5	0.7	-	0.7	6.7	2.2	4.4
夫婦のみ	210	-	1.0	-	-	0.5	1.0	1.0	2.4	-	2.9
親子	289	3.8	1.7	1.4	0.7	0.7	-	0.3	2.1	1.7	1.7
三世代	30	-	-	3.3	-	-	-	-	6.7	-	-
ひとり親と子	21	-	-	-	-	-	-	-	4.8	4.8	4.8
地区別											
中央地区	73	-	-	2.7	-	1.4	-	1.4	5.5	-	-
小田地区	114	3.5	2.6	-	0.9	0.9	-	1.8	4.4	0.9	0.9
大庄地区	72	2.8	1.4	4.2	-	-	1.4	-	2.8	2.8	1.4
立花地区	167	1.2	2.4	0.6	-	0.6	0.6	0.6	4.2	1.2	4.8
武庫地区	127	-	-	-	0.8	-	-	-	2.4	1.6	1.6
園田地区	139	2.2	0.7	-	1.4	0.7	-	-	2.2	1.4	3.6

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・現在の住居での居住年数別でみると、「家族・親族」の割合は10年以上30年未満が85.2%で最も高くなっています。「友人や知人、近所の人」の割合は5年以上10年未満が54.9%で最も高くなっています。
- ・地域との交流状況別でみると、「家族・親族」、「友人や知人、近所の人」、「医療機関の医師、相談員など」、「ケアマネジャー」、「地域包括支援センター」などの割合は交流のある人で最も高くなっています。

(MA%)

	回答者数(人)	家族・親族	友人や知人、近所の人	医療機関の医師、相談員など	ケアマネジャー	インターネットやSNS	地域包括支援センター	上記以外の市役所、保健所の各窓口	南部・北部保健福祉センター	福祉協会(自治会・町会)等の役員	福祉施設や福祉サービス事業所
現在の住居での居住年数別											
1年未満	29	82.8	51.7	10.3	-	13.8	3.4	-	-	3.4	-
1年以上5年未満	103	77.7	45.6	10.7	7.8	17.5	3.9	2.9	8.7	2.9	1.0
5年以上10年未満	91	79.1	54.9	7.7	7.7	13.2	6.6	3.3	6.6	2.2	3.3
10年以上30年未満	263	85.2	41.4	11.0	9.5	7.6	8.4	6.8	3.4	2.7	2.7
30年以上	217	83.4	37.3	17.5	12.9	4.6	12.9	6.9	2.8	4.6	3.2
地域との交流状況別											
ある	346	87.0	55.5	15.0	12.4	6.9	10.4	5.2	4.3	4.6	2.6
あいさつ程度	230	81.3	29.1	10.4	6.1	8.3	7.4	7.0	5.2	2.2	3.0
ない	122	75.4	32.8	8.2	8.2	17.2	4.9	3.3	2.5	0.8	0.8

	回答者数(人)	子どもの育ち支援センター「いくしあ」	各地域総合センター	障害者委託相談支援事業所	6地区の地域振興センター	社会福祉協議会・地域福祉活動専門員(CSW)	民生児童委員	その他	相談できる人(窓口)はいない(を知らない)	相談しようとは思わない	無回答
現在の住居での居住年数別											
1年未満	29	-	3.4	-	-	3.4	-	-	10.3	-	-
1年以上5年未満	103	7.8	-	1.0	1.0	-	-	2.9	6.8	1.0	2.9
5年以上10年未満	91	1.1	1.1	1.1	-	1.1	-	-	1.1	4.4	2.2
10年以上30年未満	263	0.8	0.4	0.8	0.4	0.4	-	0.4	4.2	0.8	1.9
30年以上	217	-	2.8	0.9	0.9	0.5	0.9	-	2.3	0.9	4.1
地域との交流状況別											
ある	346	1.4	1.4	0.3	0.9	0.6	0.6	0.6	2.3	0.6	2.0
あいさつ程度	230	2.2	1.3	2.2	0.4	0.9	-	0.4	3.5	1.7	3.0
ない	122	0.8	-	-	-	-	-	0.8	9.0	2.5	2.5

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

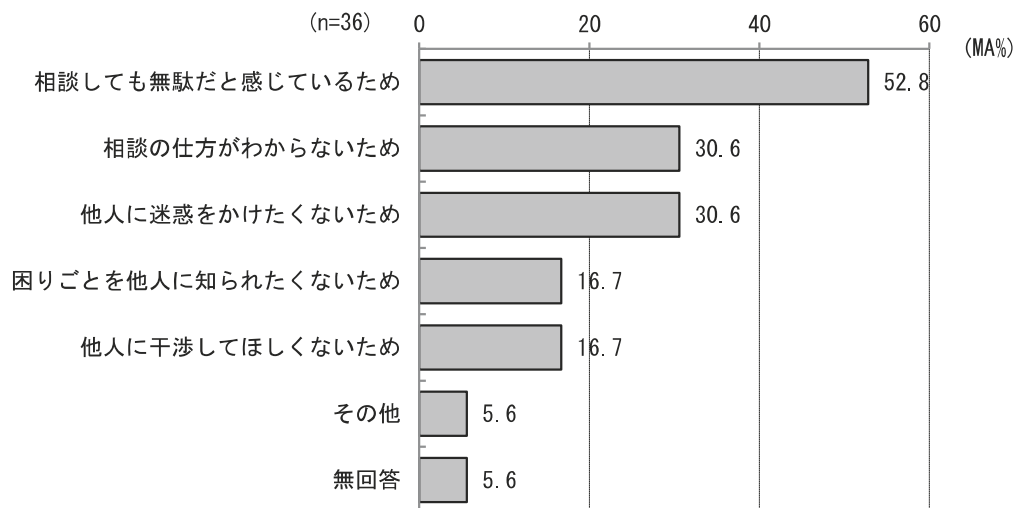
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 相談できる人がいない、相談しようと思わない理由

問9で「18」または「19」と回答した方に

(問9-1) その理由を教えてください。(○はいくつでも)

- ・相談できる人がいない、相談しようとは思わないと回答した人にその理由をたずねると、「相談しても無駄だと感じているため」が52.8%で最も多く、次いで「相談の仕方がわからないため」と「他人に迷惑をかけたくないため」がそれぞれ30.6%となっています。

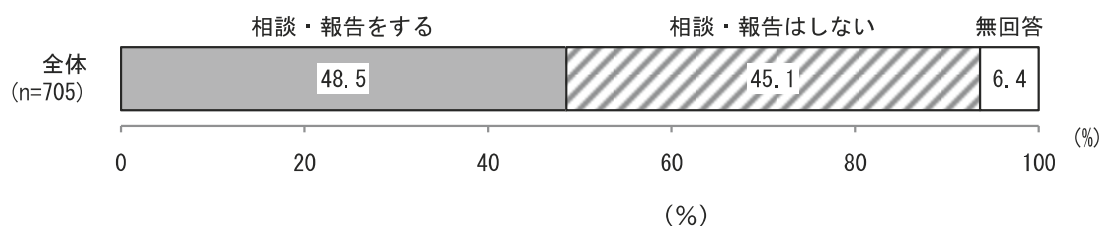


(4) 暮らしの困りごとを抱えている人がいた場合の市や支援機関の窓口への相談や通報

再び、すべての方に

(問10) あなたの隣近所に暮らしの困りごとを抱えている人がいた場合に、市や支援機関の窓口相談や報告を行いますか。(○は1つ)

- ・暮らしの困りごとを抱えている人がいた場合の市や支援機関の窓口への相談や通報については、「相談・報告をする」が48.5%、「相談・報告はしない」が45.1%となっています。
- ・年代別でみると、「相談・報告はしない」の割合は18～29歳が62.2%で最も高く、次いで40～49歳が50.5%となっています。
- ・地区別でみると、「相談・報告はしない」の割合は大庄地区が50.0%で最も高く、次いで園田地区が47.5%となっています。



	回答者数 (人)	相談・報告をする	相談・報告はしない	無回答
年代別				
18～29歳	45	37.8	62.2	-
30～39歳	66	53.0	45.5	1.5
40～49歳	95	48.4	50.5	1.1
50～59歳	117	52.1	47.0	0.9
60～69歳	129	57.4	41.9	0.8
70～79歳	159	44.7	45.3	10.1
80歳以上	94	40.4	33.0	26.6
地区別				
中央地区	73	56.2	35.6	8.2
小田地区	114	48.2	47.4	4.4
大庄地区	72	43.1	50.0	6.9
立花地区	167	51.5	41.9	6.6
武庫地区	127	48.0	46.5	5.5
園田地区	139	46.0	47.5	6.5

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

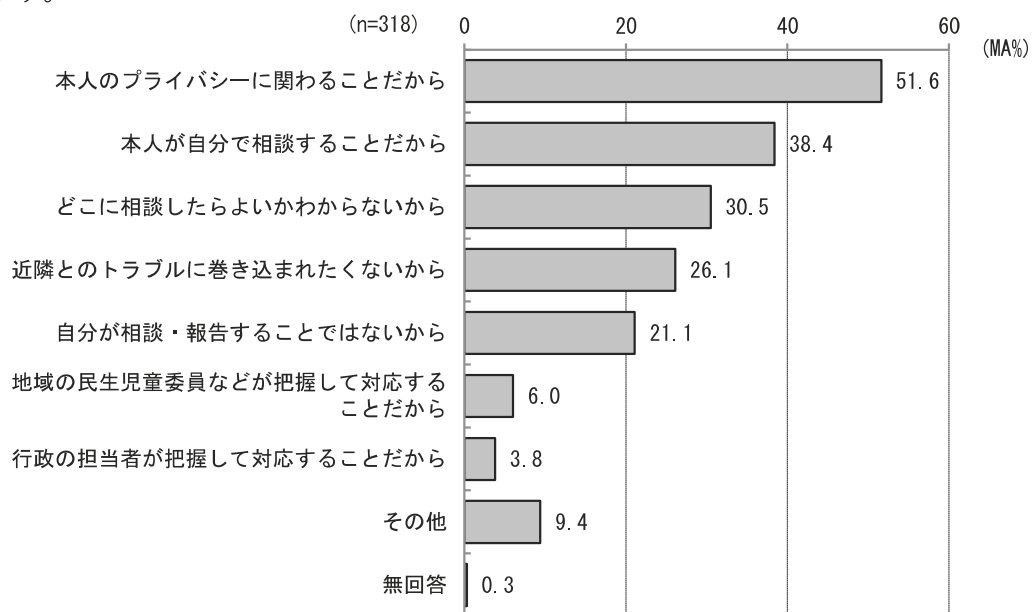
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 相談・報告はしない理由

問10で「2」と回答した方に

(問10-1) その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ・相談・報告はしないと回答した人に、その理由をたずねると、「本人のプライバシーに関することだから」が51.6%で最も多く、次いで「本人が自分で相談することだから」が38.4%、「どこに相談したらよいかわからないから」が30.5%となっています。
- ・性別でみると、「どこに相談したらよいかわからないから」の割合は女性(27.2%)より男性(35.1%)のほうが7.9ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、「本人のプライバシーに関することだから」の割合は40～49歳が70.8%で最も高く、「本人が自分で相談することだから」の割合は18～29歳が50.0%で最も高くなっています。



	回答者数(人)	本人のプライバシーに関することだから	本人が自分で相談することだから	どこに相談したらよいかわからないから	近隣とのトラブルに巻き込まれたくないから	自分が相談・報告することではないから	地域の民生児童委員などが把握して対応することだから	行政の担当者が把握して対応することだから	その他	無回答
性別										
男性	134	47.8	41.0	35.1	23.1	21.6	3.0	4.5	9.0	0.7
女性	180	53.3	36.7	27.2	27.8	21.1	8.3	3.3	10.0	-
年代別										
18～29歳	28	64.3	50.0	28.6	17.9	21.4	-	-	-	-
30～39歳	30	43.3	40.0	20.0	36.7	20.0	6.7	-	3.3	-
40～49歳	48	70.8	37.5	25.0	37.5	31.3	4.2	6.3	12.5	-
50～59歳	55	43.6	34.5	38.2	27.3	20.0	3.6	3.6	7.3	-
60～69歳	54	38.9	24.1	38.9	20.4	16.7	11.1	1.9	18.5	-
70～79歳	72	54.2	47.2	25.0	20.8	20.8	6.9	6.9	6.9	1.4
80歳以上	31	48.4	38.7	35.5	25.8	16.1	6.5	3.2	12.9	-

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

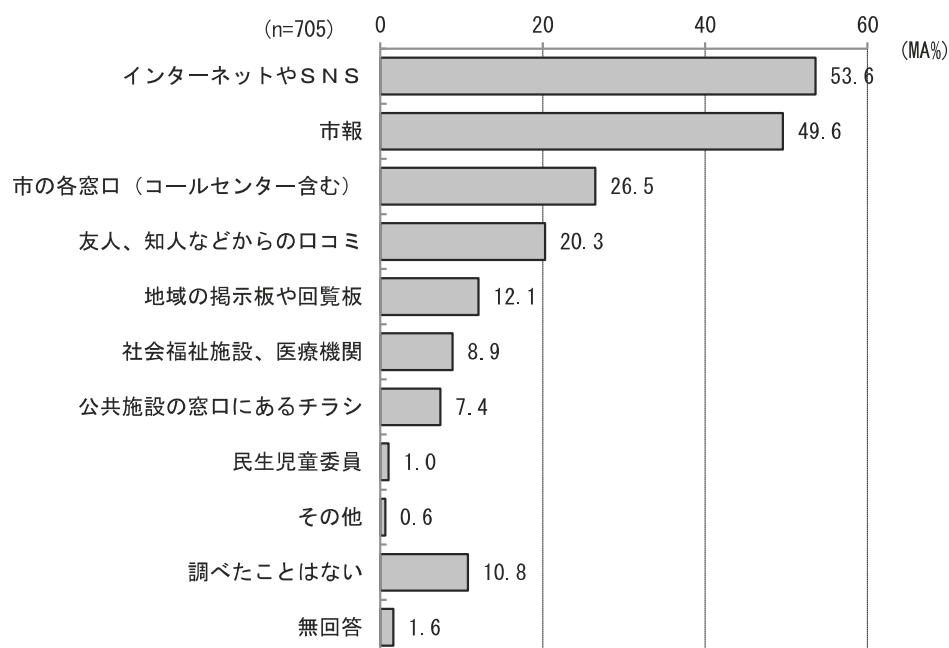
※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) 困りごとに関する制度を調べる時の情報の入手先

再び、すべての方に

(問11) 暮らしの困りごとに関する制度を調べる時の情報の入手先はどこですか。(〇はいくつでも)

- ・暮らしの困りごとに関する制度の情報の入手先については、「インターネットやSNS」が53.6%で最も多く、次いで「市報」が49.6%、「市の各窓口（コールセンター含む）」が26.5%となっています。
- ・性別でみると、「友人、知人などからの口コミ」の割合は男性（14.7%）より女性（24.3%）のほうが9.6ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、「インターネットやSNS」の割合は69歳までの年代で過半数を占めており、70歳以上の年代では「市報」が過半数となっています。



	回答者数（人）	インターネットやSNS	市報	市の各窓口（コールセンター含む）	友人、知人などからの口コミ	地域の掲示板や回覧板	社会福祉施設、医療機関	公共施設の窓口にあるチラシ	民生児童委員	その他	調べたことはない	無回答
性別												
男性	286	51.7	50.0	23.4	14.7	12.9	9.4	8.4	1.0	0.3	12.6	1.0
女性	411	54.7	49.6	28.7	24.3	11.7	8.5	6.6	1.0	0.7	9.2	1.9
年代別												
18～29歳	45	64.4	11.1	15.6	6.7	6.7	6.7	13.3	-	-	31.1	-
30～39歳	66	81.8	40.9	31.8	13.6	10.6	9.1	6.1	-	-	3.0	1.5
40～49歳	95	81.1	42.1	26.3	18.9	7.4	6.3	8.4	-	-	6.3	-
50～59歳	117	71.8	36.8	29.9	16.2	6.8	4.3	4.3	-	0.9	10.3	-
60～69歳	129	65.9	64.3	25.6	27.9	11.6	12.4	6.2	0.8	-	3.9	0.8
70～79歳	159	27.7	62.9	29.6	17.0	17.0	8.2	7.5	2.5	-	15.7	1.9
80歳以上	94	5.3	55.3	20.2	33.0	19.1	14.9	9.6	2.1	3.2	12.8	6.4

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

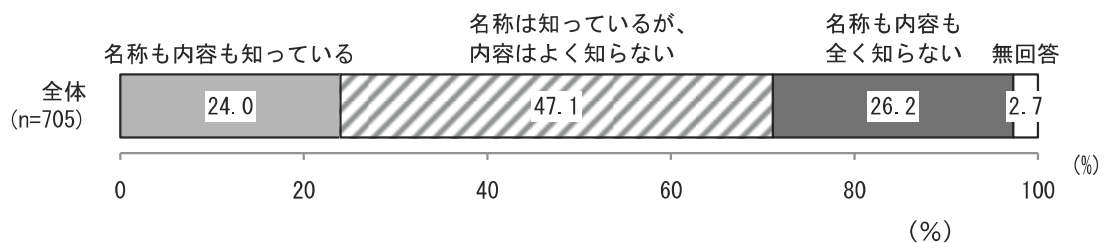
※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

5. 権利擁護に関する制度について

(1) 成年後見制度の認知度

(問12) あなたは、成年後見制度をご存じですか。(○は1つ)

- ・成年後見制度の認知度については、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が47.1%で最も多く、次いで「名称も内容も全く知らない」が26.2%、「名称も内容も知っている」が24.0%となっています。
- ・年代別でみると、「名称も内容も全く知らない」の割合は18～29歳が62.2%で最も高く、次いで80歳以上が33.0%、30～39歳が31.8%となっています。
- ・家族構成別でみると、「名称も内容も全く知らない」の割合はひとり暮らし世帯が28.1%で最も高くなっています。
- ・職業別でみると、「名称も内容も知っている」の割合は家事専業が33.3%で最も高くなっています。



	回答者数 (人)	名称も内容も 知っている	名称は知って いるが、内容 はよく知らない	名称も内容も 全く知らない	無回答
年代別					
18～29歳	45	15.6	20.0	62.2	2.2
30～39歳	66	27.3	40.9	31.8	-
40～49歳	95	27.4	45.3	26.3	1.1
50～59歳	117	28.2	48.7	22.2	0.9
60～69歳	129	29.5	55.8	13.2	1.6
70～79歳	159	20.1	52.2	23.3	4.4
80歳以上	94	16.0	43.6	33.0	7.4
家族構成別					
ひとり暮らし	135	25.9	42.2	28.1	3.7
夫婦のみ	210	22.4	50.0	24.8	2.9
親子	289	23.5	48.4	26.3	1.7
三世帯	30	26.7	63.3	10.0	-
ひとり親と子	21	28.6	38.1	19.0	14.3
職業別					
勤め人（常勤）	228	26.8	45.6	27.2	0.4
勤め人（非常勤）	109	22.0	56.9	20.2	0.9
自営業	47	27.7	44.7	25.5	2.1
学生	10	10.0	10.0	80.0	-
家事専業	48	33.3	37.5	25.0	4.2
無職（年金生活者）	251	20.3	48.6	26.3	4.8

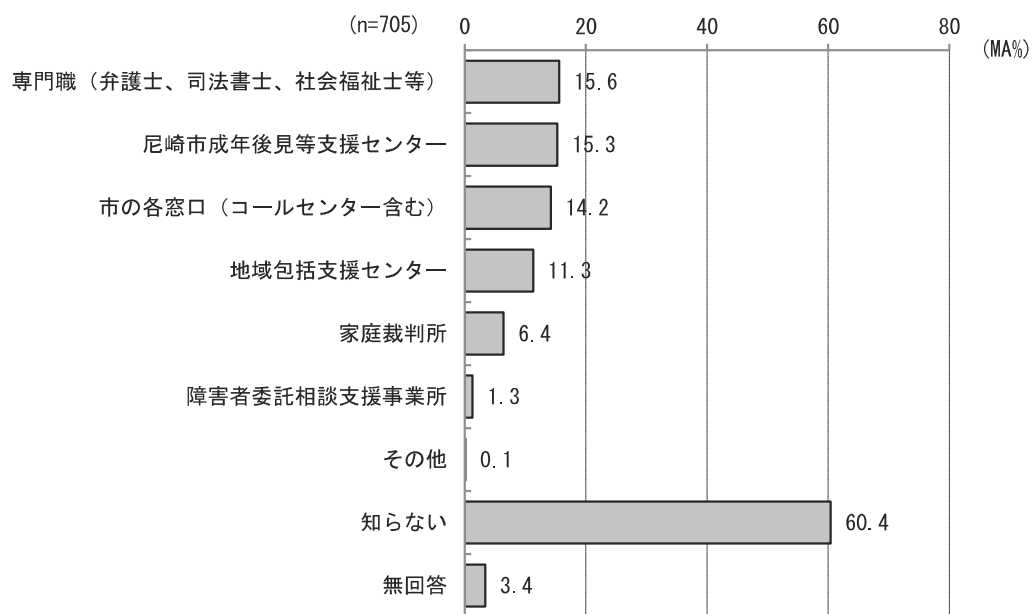
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 成年後見制度についての相談先で知っているもの

(問13) 成年後見制度について相談できるところをご存じですか。(〇はいくつでも)

- ・成年後見制度についての相談先で知っているものについては、「知らない」が60.4%で最も多いですが、知っている人では「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）」が15.6%で最も多く、次いで「尼崎市成年後見等支援センター」が15.3%、「市の各窓口（コールセンター含む）」が14.2%となっています。
- ・性別でみると、「障害者委託相談支援事業所」を除くいずれの項目も男性より女性のほうが高い割合となっています。
- ・年代別でみると、「尼崎市成年後見等支援センター」と「地域包括支援センター」の割合は80歳以上で最も高く、「知らない」の割合は18～29歳が80.0%で最も高くなっています。



	回答者数（人）	専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）	尼崎市成年後見等支援センター	市の各窓口（コールセンター含む）	地域包括支援センター	家庭裁判所	障害者委託相談支援事業所	その他	知らない	無回答
性別										
男性	286	14.7	12.9	11.2	8.4	5.6	1.4	0.3	64.3	3.1
女性	411	16.5	16.3	15.8	13.6	6.8	1.0	-	58.4	3.4
年代別										
18～29歳	45	11.1	11.1	4.4	4.4	2.2	-	-	80.0	2.2
30～39歳	66	13.6	10.6	19.7	7.6	9.1	3.0	-	68.2	-
40～49歳	95	14.7	11.6	17.9	9.5	7.4	1.1	-	68.4	-
50～59歳	117	12.0	10.3	15.4	6.0	5.1	0.9	-	69.2	-
60～69歳	129	23.3	18.6	17.1	14.0	7.0	1.6	0.8	53.5	1.6
70～79歳	159	17.6	17.6	9.4	13.2	6.9	1.3	-	55.3	6.9
80歳以上	94	10.6	22.3	13.8	19.1	5.3	1.1	-	44.7	10.6

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

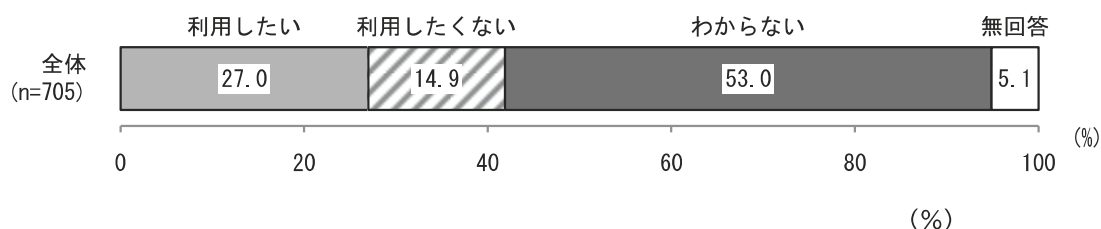
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 成年後見制度の利用意向

(問14) あなた自身やあなたの家族や親族が、判断が十分にできなくなり生活に支障が生じた場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。(①・②について、1～3のいずれかに○を1つずつ)

① 自分自身の場合

- ・自身の生活に支障が生じた場合の成年後見制度の利用意向については、「わからない」が53.0%で最も多く、次いで「利用したい」が27.0%、「利用したくない」が14.9%となっています。
- ・年代別でみると、「利用したい」の割合は30～39歳が34.8%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「利用したい」の割合はひとり暮らし世帯が28.1%で最も高くなっています。
- ・職業別でみると、「利用したい」の割合は勤め人（常勤）が28.1%で最も高く、次いで無職（年金生活者）が25.9%となっています。



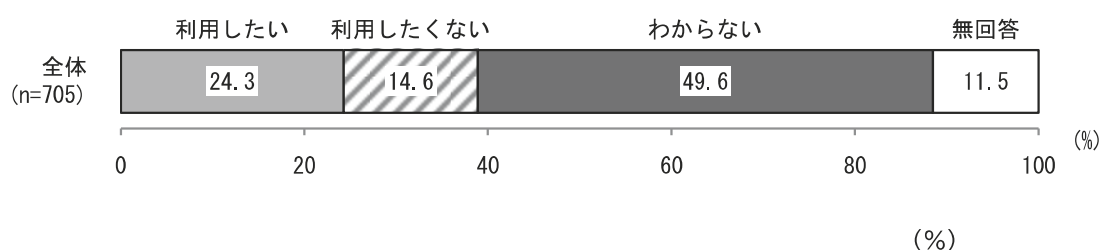
	回答者数 (人)	利用 したい	利用 したくない	わ か ら な い	無 回 答
年代別					
18～29歳	45	24.4	4.4	71.1	-
30～39歳	66	34.8	16.7	48.5	-
40～49歳	95	31.6	11.6	56.8	-
50～59歳	117	30.8	10.3	59.0	-
60～69歳	129	26.4	17.8	53.5	2.3
70～79歳	159	22.6	20.8	48.4	8.2
80歳以上	94	21.3	13.8	43.6	21.3
家族構成別					
ひとり暮らし	135	28.1	15.6	49.6	6.7
夫婦のみ	210	26.7	15.7	49.5	8.1
親子	289	26.3	14.5	57.1	2.1
三世代	30	20.0	23.3	53.3	3.3
ひとり親と子	21	33.3	9.5	42.9	14.3
職業別					
勤め人（常勤）	228	28.1	13.6	57.9	0.4
勤め人（非常勤）	109	24.8	12.8	61.5	0.9
自営業	47	27.7	14.9	55.3	2.1
学生	10	30.0	10.0	60.0	-
家事専業	48	22.9	16.7	54.2	6.3
無職（年金生活者）	251	25.9	17.5	45.0	11.6

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 自分の家族や親族の場合

- ・自分の家族や親族の生活に支障が生じた場合の成年後見制度の利用意向については、「わからない」が49.6%で最も多く、次いで「利用したい」が24.3%、「利用したくない」が14.6%となっています。
- ・年代別でみると、「利用したい」の割合は30～39歳が37.9%で最も高く、次いで18～29歳が28.9%となっています。
- ・家族構成別でみると、「利用したい」の割合は夫婦のみの世帯と親子の世帯では26%台となっています。
- ・職業別でみると、「利用したい」の割合は自営業が29.8%で最も高くなっています。



	回答者数 (人)	利用 したい	利用 したくない	わ か ら な い	無 回 答
年代別					
18～29歳	45	28.9	6.7	64.4	-
30～39歳	66	37.9	19.7	39.4	3.0
40～49歳	95	26.3	18.9	53.7	1.1
50～59歳	117	27.4	10.3	61.5	0.9
60～69歳	129	21.7	17.8	54.3	6.2
70～79歳	159	20.1	16.4	40.9	22.6
80歳以上	94	17.0	8.5	39.4	35.1
家族構成別					
ひとり暮らし	135	15.6	10.4	47.4	26.7
夫婦のみ	210	26.2	15.7	45.2	12.9
親子	289	26.0	16.3	54.0	3.8
三世帯	30	20.0	20.0	53.3	6.7
ひとり親と子	21	33.3	14.3	33.3	19.0
職業別					
勤め人（常勤）	228	25.9	17.1	55.3	1.8
勤め人（非常勤）	109	22.0	13.8	58.7	5.5
自営業	47	29.8	14.9	53.2	2.1
学生	10	30.0	10.0	60.0	-
家事専業	48	25.0	14.6	52.1	8.3
無職（年金生活者）	251	21.1	13.1	40.2	25.5

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 成年後見制度を利用したいと思わない理由

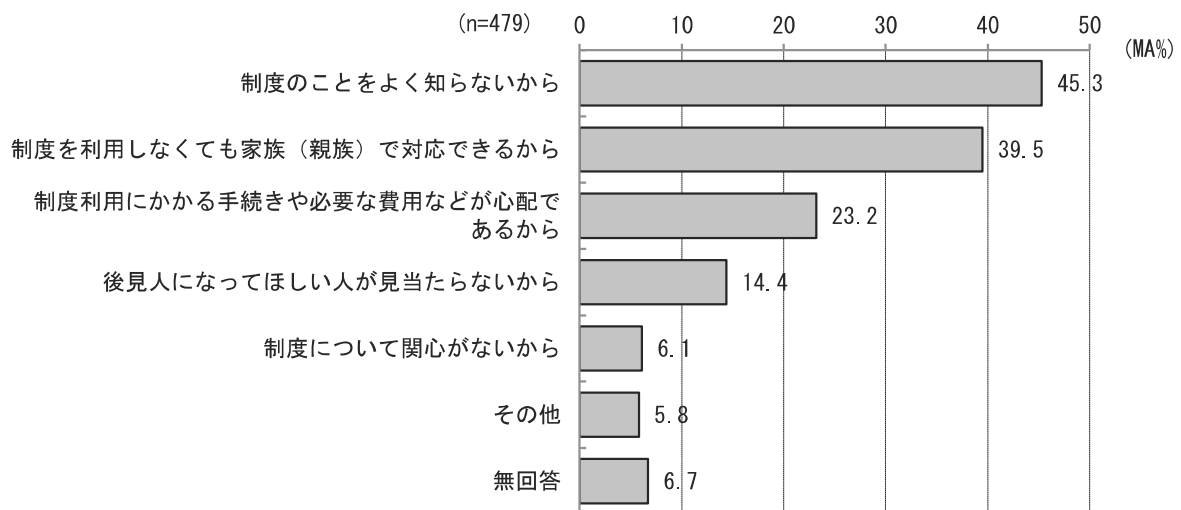
問14の①・②のいずれかに「2」または「3」と回答した方に

(問14-1) 成年後見制度を利用したいと思わない理由は何ですか。

①あなた自身の場合、 ②あなたの家族や親族の場合で、1～6の選択肢の中からあてはまるものについて、太枠内に○をつけてください。(○はいくつでも)

① 自分自身の場合

- ・ 自身の場合に成年後見制度を利用したくない、わからないと回答した人に、その理由をたずねると、「制度のことをよく知らないから」が45.3%で最も多く、次いで「制度を利用しなくても家族（親族）で対応できるから」が39.5%、「制度利用にかかる手続きや必要な費用などが心配であるから」が23.2%となっています。
- ・ 年代別でみると、18～59歳の各年代は「制度のことをよく知らないから」が最も多くなっていますが、70歳以上の年代は「制度を利用しなくても家族（親族）で対応できるから」が最も多くなっています。60～69歳では「制度のことをよく知らないから」と「制度を利用しなくても家族（親族）で対応できるから」が同率の43.5%となっています。
- ・ 家族構成別でみると、ひとり暮らし世帯では「制度を利用しなくても家族（親族）で対応できるから」が36.4%で最も多くなっています。
- ・ 職業別でみると、家事専業と無職（年金生活者）では「制度を利用しなくても家族（親族）で対応できるから」が最も多く、5割台となっています。「制度利用にかかる手続きや必要な費用などが心配であるから」の割合は勤め人（非常勤）が34.6%で最も高くなっています。



(MA%)

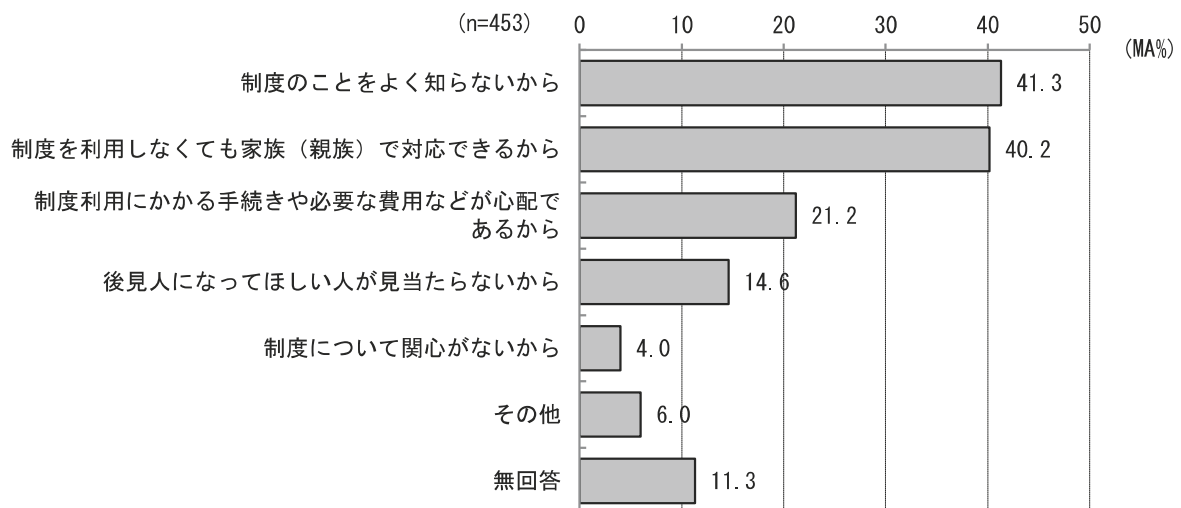
	回答者数(人)	制度のことをよく知らないから	制度を利用しなくても家族(親族)で対応できるから	制度利用にかかる手続きや必要な費用などが心配であるから	後見人になってほしい人が見当たらないから	制度について関心がないから	その他	無回答
年代別								
18～29 歳	34	70.6	8.8	14.7	17.6	14.7	5.9	-
30～39 歳	43	44.2	37.2	25.6	14.0	7.0	7.0	9.3
40～49 歳	65	61.5	27.7	24.6	23.1	7.7	3.1	3.1
50～59 歳	81	43.2	27.2	24.7	13.6	7.4	12.3	6.2
60～69 歳	92	43.5	43.5	28.3	17.4	3.3	7.6	5.4
70～79 歳	110	37.3	54.5	18.2	12.7	4.5	2.7	10.0
80 歳以上	54	33.3	55.6	24.1	1.9	3.7	1.9	9.3
家族構成別								
ひとり暮らし	88	35.2	36.4	25.0	21.6	9.1	8.0	8.0
夫婦のみ	137	46.0	44.5	22.6	12.4	3.6	2.9	10.9
親子	207	48.8	35.7	22.7	12.1	7.7	6.8	4.3
三世代	23	39.1	69.6	13.0	13.0	-	13.0	-
ひとり親と子	11	45.5	36.4	27.3	27.3	-	-	-
職業別								
勤め人(常勤)	163	50.9	35.6	23.3	16.0	9.2	6.1	4.9
勤め人(非常勤)	81	48.1	30.9	34.6	18.5	2.5	6.2	6.2
自営業	33	51.5	21.2	15.2	21.2	3.0	6.1	12.1
学生	7	71.4	14.3	-	-	28.6	-	-
家事専業	34	35.3	52.9	14.7	-	2.9	5.9	5.9
無職(年金生活者)	157	37.6	51.0	21.7	13.4	5.1	5.7	7.6

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 自分の家族や親族の場合

- ・家族や親族の場合に成年後見制度を利用したくない、わからないと回答した人に、その理由をたずねると、「制度のことをよく知らないから」が41.3%で最も多く、次いで「制度を利用しなくても家族（親族）で対応できるから」が40.2%、「制度利用にかかる手続きや必要な費用などが心配であるから」が21.2%となっています。
- ・年代別でみると、「制度のことをよく知らないから」の割合は18～29歳が68.8%で最も高く、「制度を利用しなくても家族（親族）で対応できるから」の割合は70～79歳が53.8%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、ひとり暮らし世帯と夫婦のみ世帯では「制度を利用しなくても家族（親族）で対応できるから」が最も多くなっています。
- ・職業別でみると、家事専業と無職（年金生活者）では「制度を利用しなくても家族（親族）で対応できるから」が最も多くなっていますが、それ以外の職業では「制度のことをよく知らないから」が最も多くなっています。



(MA%)

	回答者数(人)	制度のことをよく知らないから	制度を利用しなくても家族(親族)で対応できるから	制度を利用にかかる手続きや必要な費用などが心配であるから	後見人になってほしい人が見当たらないから	制度について関心がないから	その他	無回答
年代別								
18～29歳	32	68.8	9.4	18.8	15.6	3.1	3.1	9.4
30～39歳	39	35.9	43.6	33.3	17.9	12.8	5.1	2.6
40～49歳	69	53.6	37.7	21.7	23.2	5.8	1.4	7.2
50～59歳	84	38.1	29.8	25.0	16.7	4.8	13.1	8.3
60～69歳	93	40.9	46.2	23.7	15.1	1.1	7.5	10.8
70～79歳	91	30.8	53.8	14.3	8.8	2.2	3.3	17.6
80歳以上	45	35.6	42.2	13.3	4.4	2.2	4.4	20.0
家族構成別								
ひとり暮らし	78	29.5	38.5	21.8	19.2	6.4	9.0	19.2
夫婦のみ	128	42.2	46.1	21.1	13.3	1.6	2.3	14.1
親子	203	44.3	37.4	22.2	12.3	5.4	6.4	6.9
三世代	22	40.9	54.5	4.5	13.6	-	13.6	4.5
ひとり親と子	10	40.0	30.0	20.0	40.0	-	10.0	10.0
職業別								
勤め人(常勤)	165	45.5	40.0	22.4	19.4	6.1	6.7	5.5
勤め人(非常勤)	79	45.6	34.2	36.7	20.3	2.5	6.3	8.9
自営業	32	46.9	31.3	12.5	15.6	6.3	3.1	9.4
学生	7	57.1	14.3	-	-	-	-	28.6
家事専業	32	31.3	43.8	15.6	-	-	6.3	15.6
無職(年金生活者)	134	34.3	47.8	14.2	9.7	3.0	6.0	17.9

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

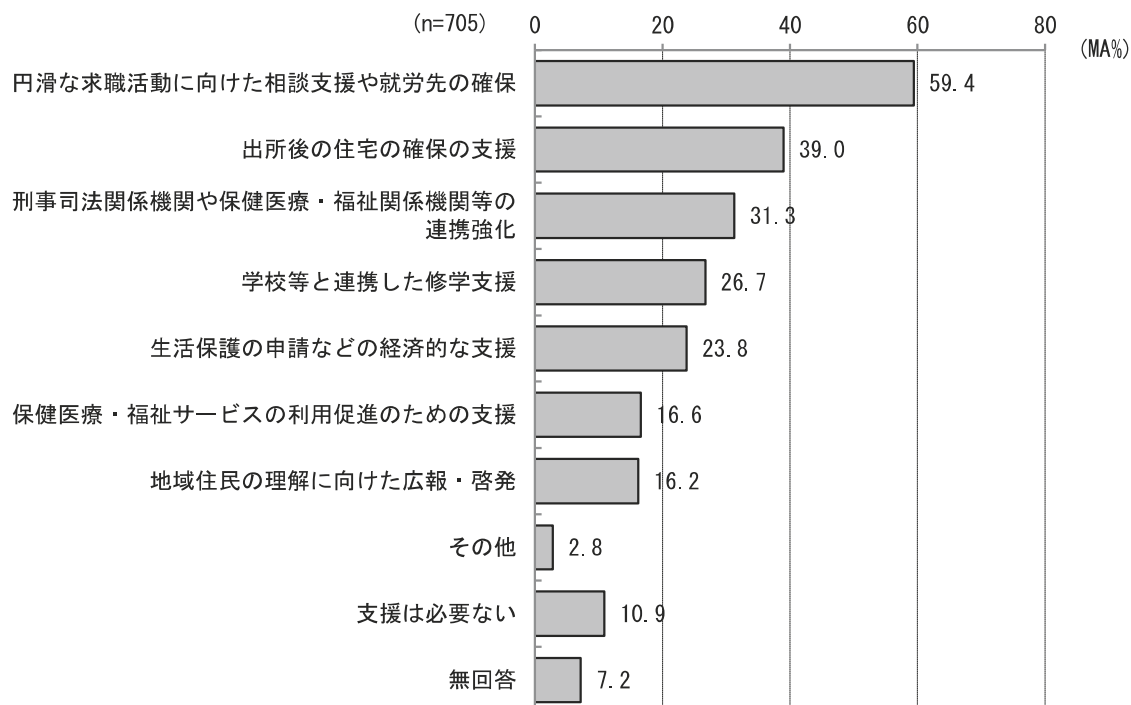
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

6. 非行や犯罪をした人の立ち直りについて

(1) 非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うこと

(問15) 非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うことはありますか。
(○はいくつでも)

- ・非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うことについては、「円滑な求職活動に向けた相談支援や就労先の確保」が59.4%で最も多く、次いで「出所後の住宅の確保の支援」が39.0%、「刑事司法関係機関や保健医療・福祉関係機関等の連携強化」が31.3%となっています。
- ・性別でみると、「学校等と連携した修学支援」の割合は男性（23.1%）より女性（29.4%）のほうが6.3ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、「円滑な求職活動に向けた相談支援や就労先の確保」の割合は50～59歳と60～69歳では6割台と高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「円滑な求職活動に向けた相談支援や就労先の確保」や「出所後の住宅の確保の支援」、「生活保護の申請などの経済的な支援」、「保健医療・福祉サービスの利用促進のための支援」の割合はひとり暮らし世帯で最も高くなっています。
- ・職業別でみると、「円滑な求職活動に向けた相談支援や就労先の確保」や「出所後の住宅の確保の支援」、「生活保護の申請などの経済的な支援」、「保健医療・福祉サービスの利用促進のための支援」、「地域住民の理解に向けた広報・啓発」の割合は自営業で最も高くなっています。



(MA%)

	回答者数（人）	円滑な求職活動に向けた相談 支援や就労先の確保	出所後の住宅の確保の支援	福祉関係機関等の連携強化	刑事司法関係機関や保健医療・ 福祉関係機関等の連携強化	学校等と連携した修学支援	生活保護の申請などの経済的 な支援	保健医療・福祉サービスの利用 促進のための支援	地域住民の理解に向けた広報・ 啓発	その他	支援は必要ない	無回答
性別												
男性	286	58.7	39.2	29.0	23.1	23.4	16.8	14.3	2.4	14.7	4.5	
女性	411	59.9	39.2	32.8	29.4	24.1	16.5	17.5	3.2	8.5	8.8	
年代別												
18～29歳	45	42.2	15.6	28.9	22.2	11.1	6.7	15.6	4.4	24.4	-	
30～39歳	66	57.6	39.4	37.9	33.3	24.2	19.7	21.2	1.5	18.2	4.5	
40～49歳	95	56.8	38.9	40.0	27.4	22.1	13.7	10.5	3.2	12.6	1.1	
50～59歳	117	65.0	35.9	32.5	25.6	17.9	6.0	12.8	2.6	13.7	3.4	
60～69歳	129	69.8	48.1	34.1	34.9	31.8	27.1	20.9	4.7	7.0	3.1	
70～79歳	159	57.2	40.9	27.7	26.4	26.4	17.6	15.7	2.5	7.5	12.6	
80歳以上	94	54.3	38.3	20.2	13.8	23.4	19.1	17.0	1.1	5.3	20.2	
家族構成別												
ひとり暮らし	135	62.2	41.5	23.0	20.0	28.9	23.7	16.3	2.2	11.9	9.6	
夫婦のみ	210	58.1	40.0	34.3	26.7	23.8	16.7	17.1	2.9	11.4	7.1	
親子	289	60.2	37.7	32.9	28.4	21.5	13.5	15.6	3.1	11.1	5.2	
三世代	30	60.0	30.0	43.3	33.3	16.7	6.7	10.0	3.3	10.0	3.3	
ひとり親と子	21	42.9	38.1	28.6	28.6	19.0	9.5	14.3	-	4.8	23.8	
職業別												
勤め人（常勤）	228	55.7	36.8	39.0	30.3	20.2	13.6	16.7	2.2	18.9	1.3	
勤め人（非常勤）	109	63.3	38.5	31.2	33.9	22.0	21.1	13.8	2.8	10.1	2.8	
自営業	47	72.3	44.7	36.2	27.7	36.2	21.3	25.5	6.4	4.3	4.3	
学生	10	30.0	10.0	40.0	30.0	20.0	-	20.0	-	10.0	-	
家事専業	48	41.7	35.4	35.4	18.8	18.8	8.3	12.5	6.3	10.4	12.5	
無職（年金生活者）	251	63.3	42.2	23.5	21.9	26.3	19.1	14.7	2.0	6.0	13.9	

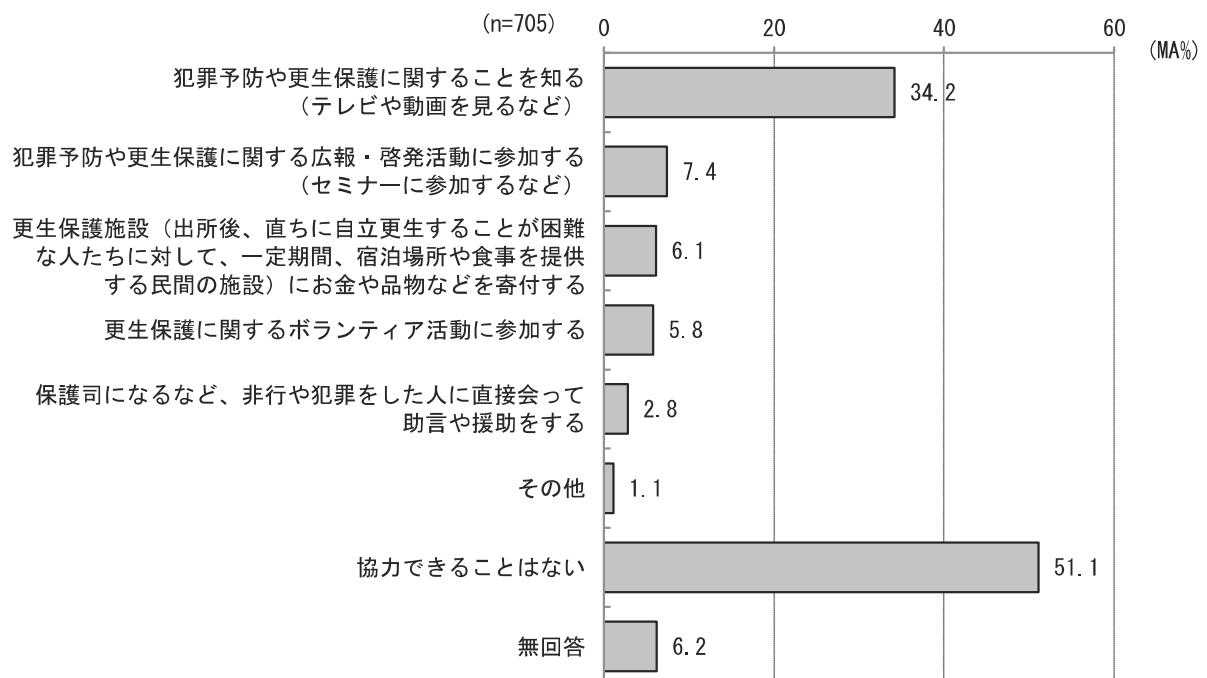
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思う内容

(問16) 非行や犯罪をした人の立ち直りに協力できると思うことはありますか。
(○はいくつでも)

- ・非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思う内容については、「協力できることはない」が51.1%で最も多いですが、協力できると思う人では「犯罪予防や更生保護に関することを知る（テレビや動画を見るなど）」が34.2%で最も多く、次いで「犯罪予防や更生保護に関する広報・啓発活動に参加する（セミナーに参加するなど）」が7.4%、「更生保護施設（出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設）にお金や品物などを寄付する」が6.1%となっています。
- ・性別でみても、大きな差はみられません。
- ・年代別でみると、「犯罪予防や更生保護に関することを知る（テレビや動画を見るなど）」の割合は18～29歳と30～39歳、60～69歳で4割台と高くなっています。



(MA%)

	回答者数(人)	犯罪予防や更生保護に関する(テレビや動画を見るなど)	犯罪予防や更生保護に関する広報・啓発活動に参加する(セミナーに参加するなど)	更生保護施設(出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設)にお金や品物などを寄付する	更生保護に関するボランティア活動に参加する	保護司になるなど、非行や犯罪をした人に直接会って助言や援助をする	その他	協力できることはない	無回答
性別									
男性	286	33.2	6.3	6.3	5.9	4.9	2.1	51.0	5.2
女性	411	35.0	8.0	6.1	5.1	1.5	0.5	51.1	7.1
年代別									
18～29歳	45	40.0	8.9	8.9	20.0	11.1	-	48.9	-
30～39歳	66	43.9	10.6	6.1	9.1	4.5	1.5	47.0	1.5
40～49歳	95	33.7	7.4	10.5	7.4	3.2	-	52.6	1.1
50～59歳	117	36.8	6.0	2.6	6.8	1.7	2.6	57.3	0.9
60～69歳	129	46.5	9.3	8.5	3.9	1.6	-	44.2	2.3
70～79歳	159	23.3	6.9	3.8	3.8	1.3	1.3	57.2	10.1
80歳以上	94	23.4	4.3	5.3	-	3.2	2.1	44.7	23.4

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

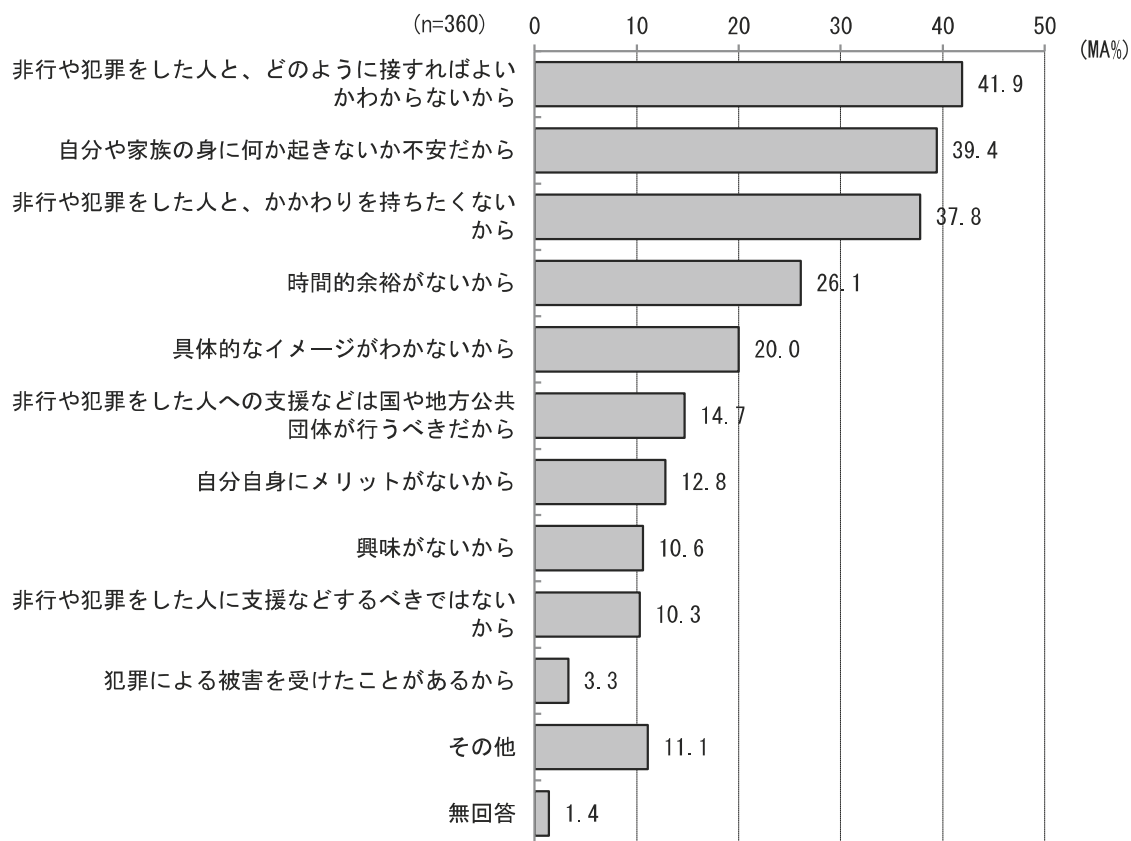
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思わない理由

問16で「7」と回答した方に

(問16-1) 「協力できることはない」とお答えの理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- ・協力できることはないと回答した人に、その理由をたずねると、「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が41.9%で最も多く、次いで「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が39.4%、「非行や犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから」が37.8%となっています。
- ・性別でみると、男性では「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が39.0%で最も多いですが、女性では「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が45.2%で最も多くなっています。
- ・年代別でみると、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」の割合は30～39歳が61.3%で最も高く、次いで40～49歳が56.0%となっています。
- ・家族構成別でみると、「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」の割合は夫婦のみの世帯が48.7%で最も高く、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」の割合は親子の世帯が44.7%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、小田地区と立花地区、園田地区では「非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから」が最も多くなっています。
- ・職業別でみると、勤め人（常勤）では「非行や犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから」が49.2%で最も多く、次いで「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が47.5%となっています。



(MA%)

	回答者数（人）	非行や犯罪をした人との付き合いが すればよいかわからないから	自分や家族の身に何か起きないか不安だから	非行や犯罪をした人と、かわりを持ちたくないから	時間的余裕がないから	具体的なイメージがわからないから	国や地方公共団体が行うべきだから	自分自身にメリットがないから	興味がないから	非行や犯罪をした人に支援などするべきではないから	犯罪による被害を受けたことがあるから	その他	無回答
性別													
男性	146	39.0	31.5	37.0	21.9	19.9	17.1	12.3	16.4	14.4	3.4	6.8	2.7
女性	210	44.8	45.2	38.1	29.0	20.0	13.3	13.3	6.2	7.6	3.3	14.3	0.5
年代別													
18～29歳	22	22.7	31.8	45.5	45.5	18.2	13.6	27.3	18.2	13.6	4.5	4.5	4.5
30～39歳	31	22.6	61.3	54.8	29.0	9.7	12.9	35.5	9.7	19.4	3.2	3.2	-
40～49歳	50	38.0	56.0	58.0	46.0	14.0	12.0	22.0	8.0	14.0	6.0	8.0	-
50～59歳	67	52.2	43.3	43.3	34.3	14.9	14.9	19.4	13.4	13.4	3.0	4.5	-
60～69歳	57	45.6	38.6	29.8	28.1	21.1	15.8	1.8	8.8	10.5	5.3	12.3	1.8
70～79歳	91	47.3	34.1	28.6	11.0	27.5	16.5	3.3	13.2	3.3	2.2	13.2	1.1
80歳以上	42	38.1	14.3	19.0	7.1	26.2	14.3	2.4	2.4	7.1	-	28.6	4.8
家族構成別													
ひとり暮らし	61	36.1	29.5	29.5	34.4	19.7	11.5	16.4	18.0	14.8	1.6	16.4	-
夫婦のみ	117	48.7	38.5	35.0	21.4	25.6	14.5	8.5	6.8	9.4	5.1	10.3	3.4
親子	150	38.7	44.7	43.3	27.3	12.7	14.0	16.7	10.0	10.0	2.0	8.7	0.7
三世代	13	23.1	15.4	23.1	7.7	30.8	15.4	-	7.7	-	-	30.8	-
ひとり親と子	11	72.7	54.5	54.5	36.4	27.3	45.5	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	-
地区別													
中央地区	36	44.4	47.2	50.0	19.4	27.8	11.1	5.6	13.9	5.6	5.6	8.3	-
小田地区	62	45.2	37.1	37.1	29.0	19.4	19.4	17.7	9.7	9.7	1.6	3.2	1.6
大庄地区	36	47.2	52.8	36.1	19.4	8.3	11.1	5.6	11.1	11.1	-	5.6	2.8
立花地区	84	39.3	36.9	39.3	22.6	16.7	11.9	16.7	11.9	13.1	6.0	16.7	2.4
武庫地区	66	31.8	36.4	36.4	31.8	21.2	19.7	16.7	9.1	12.1	1.5	13.6	-
園田地区	71	49.3	38.0	33.8	28.2	25.4	14.1	8.5	7.0	8.5	4.2	12.7	1.4
職業別													
勤め人（常勤）	118	40.7	47.5	49.2	40.7	13.6	13.6	22.9	11.0	18.6	3.4	4.2	0.8
勤め人（非常勤）	51	45.1	41.2	31.4	41.2	15.7	17.6	13.7	-	7.8	2.0	7.8	-
自営業	25	52.0	36.0	32.0	32.0	20.0	20.0	8.0	16.0	8.0	12.0	-	-
学生	3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	66.7	-	-	-	-
家事専業	32	50.0	53.1	53.1	9.4	31.3	6.3	15.6	6.3	6.3	6.3	12.5	-
無職（年金生活者）	127	38.6	29.1	27.6	9.4	25.2	15.7	3.1	11.8	4.7	1.6	20.5	2.4

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

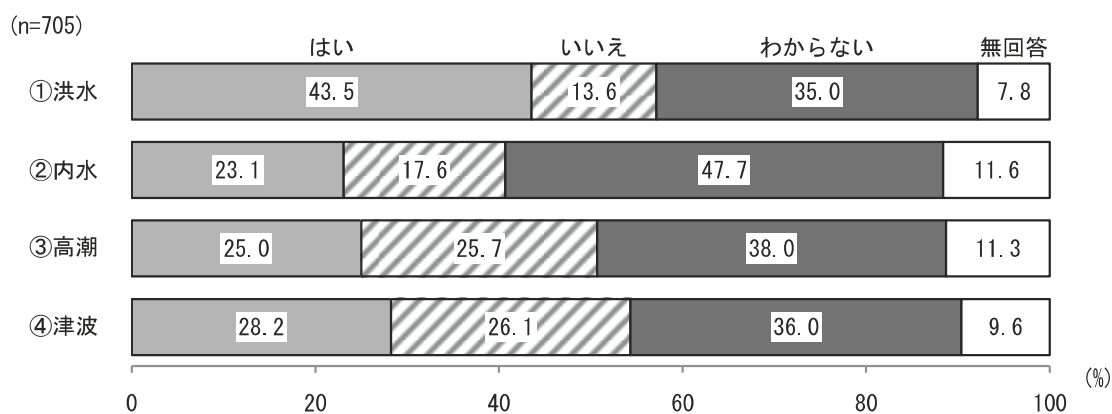
※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

7. 災害時の支援について

(1) 南海トラフ巨大地震の想定浸水域内の居住

(問17) 令和7年9月に、市より新しいハザードマップを配布していますが、南海トラフ巨大地震や台風等によって、以下の水害等が発生した際に、あなたのお住まいは「浸水想定区域」に含まれていますか。(①～④について、1～3のいずれかに○を1つずつ)

- ・ 自宅が浸水想定区域に含まれているかについては、「はい」(含まれている)は①洪水が43.5%で最も高く、次いで④津波が28.2%、③高潮が25.0%、②内水が23.1%となっています。「わからない」は②内水が47.7%で最も高くなっています。



① 洪水

- ・年代別でみると、「わからない」の割合は18～29歳が57.8%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「はい」（含まれている）の割合は小田地区が53.5%で最も高く、次いで中央地区が53.4%となっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、「はい」（含まれている）の割合は30年以上が46.5%で最も高くなっています。

		(%)			
	回答者数 (人)	はい	いいえ	わからない	無回答
年代別					
18～29歳	45	26.7	15.6	57.8	-
30～39歳	66	43.9	12.1	42.4	1.5
40～49歳	95	53.7	14.7	30.5	1.1
50～59歳	117	47.0	12.0	40.2	0.9
60～69歳	129	46.5	14.0	34.1	5.4
70～79歳	159	40.9	15.1	30.2	13.8
80歳以上	94	37.2	11.7	26.6	24.5
地区別					
中央地区	73	53.4	5.5	30.1	11.0
小田地区	114	53.5	11.4	28.9	6.1
大庄地区	72	48.6	4.2	38.9	8.3
立花地区	167	36.5	13.2	40.7	9.6
武庫地区	127	34.6	22.0	37.0	6.3
園田地区	139	45.3	18.0	30.9	5.8
現在の住居での居住年数別					
1年未満	29	31.0	17.2	48.3	3.4
1年以上5年未満	103	38.8	13.6	42.7	4.9
5年以上10年未満	91	39.6	14.3	39.6	6.6
10年以上30年未満	263	45.6	15.6	33.8	4.9
30年以上	217	46.5	10.6	29.0	13.8

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 内水

- ・年代別でみると、「わからない」の割合は18～29歳が68.9%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「はい」（含まれている）の割合は中央地区が34.2%で最も高く、次いで小田地区が31.6%となっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、「はい」（含まれている）の割合は30年以上が27.2%で最も高くなっています。

(%)					
	回答者数 (人)	はい	いいえ	わからない	無回答
年代別					
18～29歳	45	11.1	20.0	68.9	-
30～39歳	66	21.2	16.7	60.6	1.5
40～49歳	95	26.3	22.1	50.5	1.1
50～59歳	117	21.4	18.8	57.3	2.6
60～69歳	129	27.1	16.3	48.1	8.5
70～79歳	159	25.8	18.9	34.0	21.4
80歳以上	94	19.1	10.6	36.2	34.0
地区別					
中央地区	73	34.2	8.2	43.8	13.7
小田地区	114	31.6	14.9	40.4	13.2
大庄地区	72	26.4	9.7	51.4	12.5
立花地区	167	18.6	16.8	54.5	10.2
武庫地区	127	13.4	26.8	50.4	9.4
園田地区	139	23.0	22.3	43.2	11.5
現在の住居での居住年数別					
1年未満	29	17.2	20.7	58.6	3.4
1年以上5年未満	103	19.4	19.4	56.3	4.9
5年以上10年未満	91	20.9	18.7	50.5	9.9
10年以上30年未満	263	22.4	19.0	51.3	7.2
30年以上	217	27.2	14.3	36.4	22.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

③ 高潮

- ・年代別でみると、「わからない」の割合は18～29歳が55.6%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「はい」（含まれている）の割合は中央地区が46.6%で最も高く、次いで小田地区が38.6%となっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、「はい」（含まれている）の割合は30年以上が27.2%で最も高くなっています。

		(%)			
	回答者数 (人)	はい	いいえ	わからない	無回答
年代別					
18～29歳	45	22.2	22.2	55.6	-
30～39歳	66	22.7	33.3	42.4	1.5
40～49歳	95	28.4	31.6	38.9	1.1
50～59歳	117	30.8	21.4	46.2	1.7
60～69歳	129	22.5	31.0	38.8	7.8
70～79歳	159	27.0	23.3	29.6	20.1
80歳以上	94	17.0	18.1	28.7	36.2
地区別					
中央地区	73	46.6	5.5	34.2	13.7
小田地区	114	38.6	17.5	35.1	8.8
大庄地区	72	34.7	9.7	38.9	16.7
立花地区	167	21.0	24.6	42.5	12.0
武庫地区	127	4.7	50.4	36.2	8.7
園田地区	139	20.9	30.9	37.4	10.8
現在の住居での居住年数別					
1年未満	29	24.1	20.7	51.7	3.4
1年以上5年未満	103	21.4	30.1	43.7	4.9
5年以上10年未満	91	25.3	23.1	41.8	9.9
10年以上30年未満	263	24.3	29.3	38.4	8.0
30年以上	217	27.2	21.2	31.3	20.3

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

④ 津波

- ・年代別でみると、「わからない」の割合は18～29歳が51.1%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「はい」（含まれている）の割合は中央地区が58.9%で最も高く、次いで大庄地区が40.3%となっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、「はい」（含まれている）の割合は30年以上が32.3%で最も高くなっています。

(%)					
	回答者数 (人)	はい	いいえ	わからない	無回答
性別					
18～29歳	45	20.0	28.9	51.1	-
30～39歳	66	24.2	25.8	47.0	3.0
40～49歳	95	35.8	32.6	31.6	-
50～59歳	117	27.4	28.2	43.6	0.9
60～69歳	129	29.5	27.1	36.4	7.0
70～79歳	159	30.8	23.3	29.6	16.4
80歳以上	94	22.3	19.1	26.6	31.9
地区別					
中央地区	73	58.9	4.1	27.4	9.6
小田地区	114	35.1	22.8	32.5	9.6
大庄地区	72	40.3	11.1	36.1	12.5
立花地区	167	22.8	26.9	40.1	10.2
武庫地区	127	8.7	44.9	38.6	7.9
園田地区	139	24.5	31.7	35.3	8.6
現在の住居での居住年数別					
1年未満	29	17.2	24.1	55.2	3.4
1年以上5年未満	103	21.4	33.0	39.8	5.8
5年以上10年未満	91	29.7	20.9	40.7	8.8
10年以上30年未満	263	28.1	29.3	36.1	6.5
30年以上	217	32.3	21.7	29.5	16.6

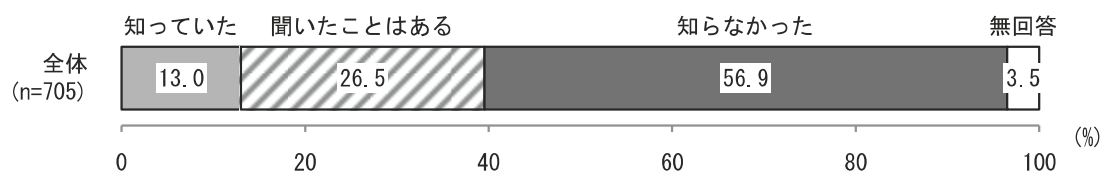
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 福祉避難所の認知度

(問18) あなたは、福祉避難所とはどのような場所のことを指すかご存じですか。(○は1つ)

- ・福祉避難所の認知度については、「知らなかった」が56.9%で最も多く、次いで「聞いたことはある」が26.5%、「知っていた」が13.0%となっています。
- ・性別でみても、大きな差はみられません。
- ・年代別でみると、「知らなかった」の割合は18～29歳が66.7%で最も高く、次いで50～59歳が64.1%となっています。一方、「知っていた」の割合は30～39歳が22.7%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「知らなかった」の割合はひとり暮らし世帯が60.7%で最も高く、次いで親子の世帯が59.9%となっています。



	回答者数(人)	知っていた	聞いたことはある	知らなかった	無回答
性別					
男性	286	12.6	28.3	56.3	2.8
女性	411	13.1	25.1	57.9	3.9
年代別					
18～29歳	45	8.9	24.4	66.7	-
30～39歳	66	22.7	30.3	45.5	1.5
40～49歳	95	15.8	21.1	62.1	1.1
50～59歳	117	6.0	28.2	64.1	1.7
60～69歳	129	14.7	29.5	55.0	0.8
70～79歳	159	8.8	25.8	59.1	6.3
80歳以上	94	19.1	25.5	44.7	10.6
家族構成別					
ひとり暮らし	135	5.2	25.9	60.7	8.1
夫婦のみ	210	15.2	28.1	53.8	2.9
親子	289	15.6	22.8	59.9	1.7
三世代	30	-	43.3	56.7	-
ひとり親と子	21	19.0	38.1	33.3	9.5

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- ・地区別でみると、「知っていた」の割合は中央地区が19.2%で最も高く、「知らなかった」の割合は武庫地区が61.4%で最も高くなっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、「知っていた」の割合は1年以上5年未満が16.5%で最も高く、次いで30年以上が15.2%となっています。

(%)

	回答者数 (人)	知っていた	聞いたことはある	知らなかった	無回答
地区別					
中央地区	73	19.2	26.0	47.9	6.8
小田地区	114	13.2	25.4	60.5	0.9
大庄地区	72	18.1	31.9	47.2	2.8
立花地区	167	7.8	30.5	58.7	3.0
武庫地区	127	11.0	25.2	61.4	2.4
園田地区	139	14.4	21.6	59.0	5.0
現在の住居での居住年数別					
1年未満	29	13.8	34.5	48.3	3.4
1年以上5年未満	103	16.5	27.2	54.4	1.9
5年以上10年未満	91	13.2	26.4	56.0	4.4
10年以上30年未満	263	9.9	25.1	62.4	2.7
30年以上	217	15.2	26.7	53.0	5.1

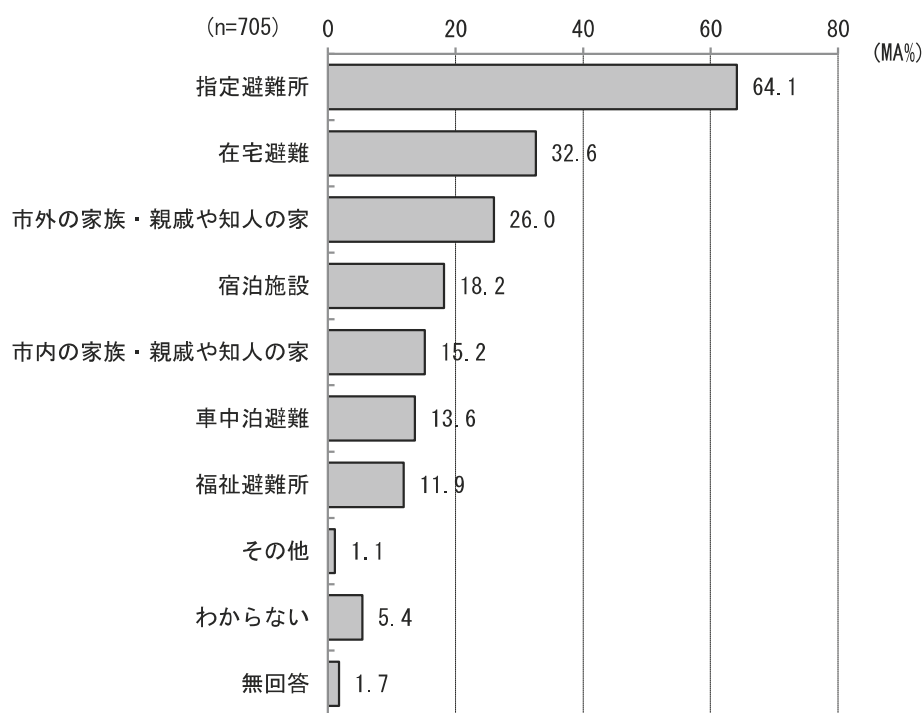
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字＋濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 災害時の避難先候補として考えているところ

(問19) 風水害や地震などの災害が起こったとき、あなたはどこに避難したいですか。
(○はいくつでも)

- ・災害時の避難先候補として考えているところについては、「指定避難所」が64.1%で最も多く、次いで「在宅避難」が32.6%、「市外の家族・親戚や知人の家」が26.0%となっています。
- ・性別でみると、「車中泊避難」の割合は男性のほうが高くなっていますが、それ以外の項目はいずれも女性のほうが高い割合となっています。
- ・年代別でみると、「指定避難所」の割合は18～29歳と30～39歳で7割台と高くなっています。「市外の家族・親戚や知人の家」は40～49歳が42.1%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「指定避難所」の割合はひとり暮らし世帯が55.6%で最も低くなっています。
- ・地区別でみると、「在宅避難」の割合は園田地区が37.4%で最も高く、「市外の家族・親戚や知人の家」の割合は武庫地区が32.3%で最も高くなっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、「指定避難所」の割合は30年以上が67.3%で最も高く、「在宅避難」の割合は10年以上30年未満が39.2%で最も高くなっています。



(MA%)

	回答者数 (人)	指定避難所	在宅避難	市外の家族・親戚や知人の家	宿泊施設	市内の家族・親戚や知人の家	車中泊避難	福祉避難所	その他	わからない	無回答
性別											
男性	286	62.2	30.8	24.1	16.1	11.9	14.3	11.2	1.4	5.9	1.7
女性	411	65.5	34.1	27.0	19.2	17.0	13.1	12.4	1.0	4.9	1.7
年代別											
18～29歳	45	71.1	26.7	28.9	11.1	8.9	6.7	15.6	-	11.1	-
30～39歳	66	74.2	36.4	34.8	21.2	16.7	19.7	9.1	-	3.0	1.5
40～49歳	95	67.4	31.6	42.1	27.4	17.9	17.9	7.4	1.1	2.1	-
50～59歳	117	59.8	32.5	26.5	23.9	13.7	25.6	6.0	2.6	6.8	1.7
60～69歳	129	58.1	41.1	27.9	20.2	14.0	15.5	12.4	0.8	5.4	-
70～79歳	159	63.5	32.1	18.2	11.3	14.5	6.9	13.2	0.6	5.0	2.5
80歳以上	94	64.9	23.4	11.7	11.7	19.1	2.1	21.3	2.1	6.4	5.3
家族構成別											
ひとり暮らし	135	55.6	28.1	20.7	11.1	14.8	8.9	16.3	0.7	6.7	3.0
夫婦のみ	210	65.2	38.6	29.0	21.0	15.7	12.4	11.4	0.5	5.2	1.0
親子	289	66.1	30.4	27.3	20.1	14.2	17.0	10.0	2.1	5.2	1.7
三世代	30	63.3	33.3	30.0	20.0	20.0	16.7	6.7	-	3.3	-
ひとり親と子	21	76.2	33.3	14.3	14.3	14.3	14.3	9.5	-	-	-
地区別											
中央地区	73	58.9	28.8	20.5	17.8	20.5	15.1	19.2	2.7	1.4	4.1
小田地区	114	65.8	31.6	27.2	20.2	17.5	11.4	11.4	-	8.8	-
大庄地区	72	58.3	23.6	23.6	13.9	13.9	12.5	9.7	1.4	8.3	1.4
立花地区	167	67.7	35.9	26.9	22.8	12.0	13.2	14.4	1.2	5.4	1.2
武庫地区	127	66.9	33.1	32.3	17.3	18.1	13.4	11.0	0.8	1.6	0.8
園田地区	139	64.7	37.4	24.5	15.1	12.9	17.3	7.2	0.7	5.0	1.4
現在の住居での居住年数別											
1年未満	29	51.7	17.2	27.6	13.8	3.4	10.3	10.3	-	17.2	6.9
1年以上5年未満	103	62.1	38.8	33.0	17.5	15.5	12.6	18.4	1.9	1.9	1.0
5年以上10年未満	91	58.2	25.3	25.3	17.6	16.5	13.2	8.8	1.1	9.9	2.2
10年以上30年未満	263	65.4	39.2	27.4	20.5	13.3	19.4	9.9	0.8	4.2	0.8
30年以上	217	67.3	27.2	21.2	16.1	18.4	7.4	12.9	1.4	5.1	2.3

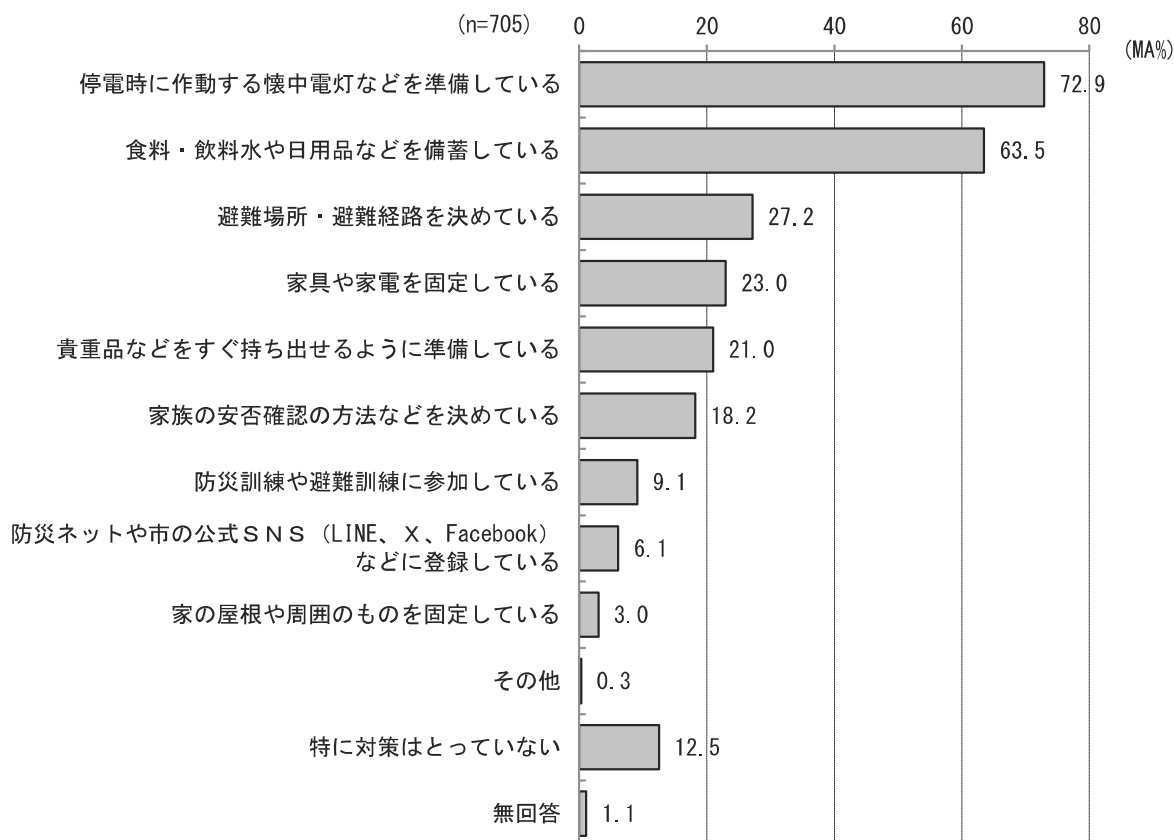
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 大地震や風水害に備えた対策

(問20) あなたは、大地震や風水害に備えて、どのような対策をとっていますか。
(○はいくつでも)

- ・大地震や風水害に備えた対策については、「停電時に作動する懐中電灯などを準備している」が72.9%で最も多く、次いで「食料・飲料水や日用品などを備蓄している」が63.5%、「避難場所・避難経路を決めている」が27.2%となっています。
- ・性別でみると、「家族の安否確認の方法などを決めている」と「防災訓練や避難訓練に参加している」の割合は女性より男性のほうが高くなっていますが、それ以外の項目はいずれも女性のほうが高い割合となっています。
- ・年代別でみると、49歳までの年代は「食料・飲料水や日用品などを備蓄している」が最も多いですが、50歳以上の年代では「停電時に作動する懐中電灯などを準備している」が最も多くなっています。
- ・家族構成別でみると、「貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している」の割合はひとり暮らし世帯が25.9%で最も高くなっていますが、それ以外の項目では、概ねひとり暮らし世帯が最も低くなっています。
- ・地区別でみると、「停電時に作動する懐中電灯などを準備している」と「食料・飲料水や日用品などを備蓄している」の割合は園田地区で最も高くなっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、「停電時に作動する懐中電灯などを準備している」、「避難場所・避難経路を決めている」、「家具や家電を固定している」、「貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している」、「防災訓練や避難訓練に参加している」の割合はいずれも30年以上が最も高くなっています。



(MA%)

	回答者数（人）	停電時に作動する懐中電灯などを準備している	食料・飲料水や日用品などを備蓄している	避難場所・避難経路を決めている	家具や家電を固定している	貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している	家族の安否確認の方法などを決めている	防災訓練や避難訓練に参加している	防災ネットや市の公式SNS（LINE、X、Facebook）などに登録している	家の屋根や周囲のものを固定している	その他	特に対策はとっていない	無回答
性別													
男性	286	69.2	62.2	24.1	20.6	19.6	18.9	11.5	3.5	2.4	0.3	16.1	1.4
女性	411	75.2	64.5	29.7	24.8	21.7	18.0	7.5	7.8	3.4	0.2	10.0	1.0
年代別													
18～29歳	45	55.6	71.1	20.0	20.0	13.3	11.1	6.7	2.2	2.2	2.2	20.0	-
30～39歳	66	63.6	74.2	31.8	22.7	28.8	21.2	10.6	18.2	6.1	-	10.6	1.5
40～49歳	95	69.5	70.5	27.4	24.2	13.7	22.1	14.7	8.4	-	-	11.6	-
50～59歳	117	74.4	64.1	20.5	19.7	14.5	14.5	0.9	6.8	1.7	-	13.7	0.9
60～69歳	129	74.4	64.3	21.7	26.4	23.3	19.4	8.5	7.8	2.3	0.8	14.0	0.8
70～79歳	159	77.4	57.9	28.3	23.9	22.0	17.0	12.6	1.9	5.0	-	12.6	1.3
80歳以上	94	79.8	53.2	41.5	21.3	29.8	20.2	8.5	1.1	3.2	-	7.4	3.2
家族構成別													
ひとり暮らし	135	62.2	50.4	16.3	16.3	25.9	11.1	4.4	1.5	2.2	-	15.6	2.2
夫婦のみ	210	79.0	63.8	31.0	26.2	21.0	18.6	14.3	6.2	2.9	0.5	10.5	0.5
親子	289	72.7	69.2	27.7	23.5	20.1	22.1	9.3	8.3	3.1	-	12.1	1.0
三世代	30	80.0	80.0	36.7	33.3	13.3	10.0	-	-	3.3	3.3	6.7	-
ひとり親と子	21	76.2	61.9	38.1	19.0	23.8	23.8	-	4.8	9.5	-	14.3	-
地区別													
中央地区	73	65.8	49.3	28.8	19.2	24.7	20.5	4.1	5.5	2.7	-	16.4	1.4
小田地区	114	76.3	66.7	28.1	28.1	22.8	18.4	14.9	9.6	2.6	-	9.6	-
大庄地区	72	70.8	63.9	30.6	26.4	16.7	11.1	15.3	-	2.8	-	16.7	1.4
立花地区	167	70.7	65.3	25.7	21.0	21.6	18.0	3.6	7.8	1.8	1.2	12.6	1.8
武庫地区	127	75.6	65.4	26.0	22.0	18.9	20.5	7.9	7.1	5.5	-	12.6	0.8
園田地区	139	77.0	67.6	27.3	23.0	22.3	19.4	12.2	3.6	2.9	-	9.4	-
現在の住居での居住年数別													
1年未満	29	24.1	51.7	6.9	10.3	17.2	17.2	-	3.4	-	-	27.6	3.4
1年以上5年未満	103	62.1	69.9	25.2	13.6	19.4	10.7	8.7	9.7	-	1.0	14.6	1.0
5年以上10年未満	91	62.6	56.0	24.2	20.9	22.0	20.9	7.7	7.7	1.1	1.1	20.9	1.1
10年以上30年未満	263	78.3	68.8	22.4	25.9	17.1	18.3	9.1	6.5	3.4	-	8.7	1.1
30年以上	217	82.5	59.4	37.8	26.7	26.7	20.7	11.1	3.7	5.1	-	10.1	0.9

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

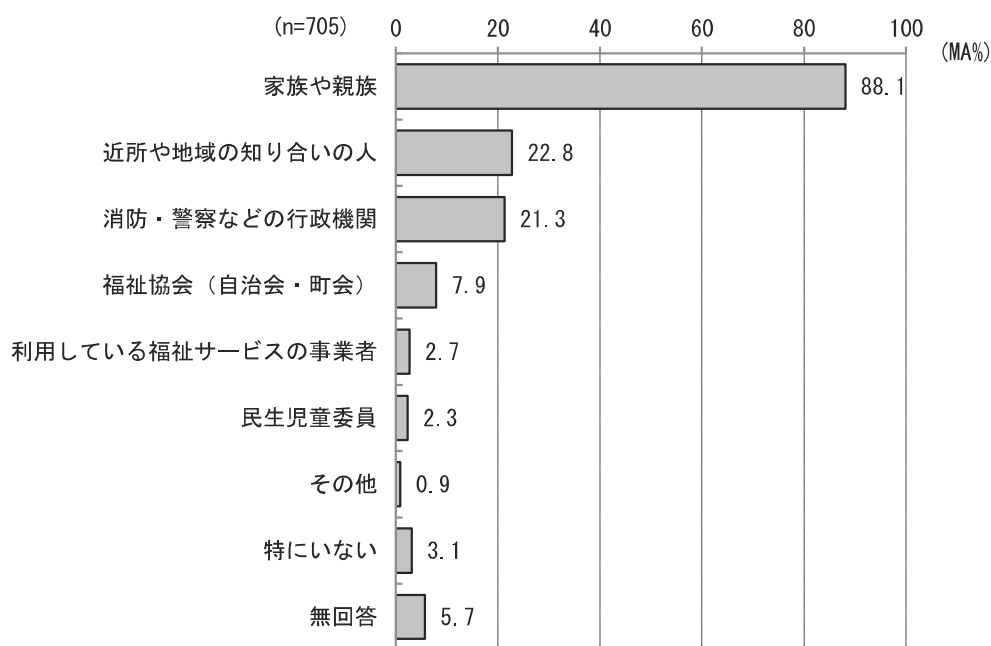
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 災害時に安否確認をしてもらいたい人や実際に助けてくれる人

(問21) 災害が起こったときに、①あなたは誰から安否確認をしてもらいたいですか、また、②実際にあなたを助けてくれる人はいますか。1～8の選択肢の中からあてはまるものについて、太枠内に○をつけてください。(○はいくつでも)

① 安否確認をしてもらいたい人

- ・災害発生時に安否確認をしてもらいたい人については、「家族や親族」が88.1%で最も多く、次いで「近所や地域の知り合いの人」が22.8%、「消防・警察などの行政機関」が21.3%となっています。
- ・性別でみると、「家族や親族」の割合は男性（85.0%）より女性（90.3%）のほうが5.3ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、「近所や地域の知り合いの人」の割合は80歳以上が28.7%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「家族や親族」の割合は親子の世帯と三世帯世帯で9割台と高くなっています。
- ・地区別でみると、「近所や地域の知り合いの人」の割合は中央地区が30.1%で最も高くなっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、「家族や親族」の割合は10年以上30年未満が90.9%で最も高く、「近所や地域の知り合いの人」の割合は30年以上が28.6%で最も高くなっています。



(MA%)

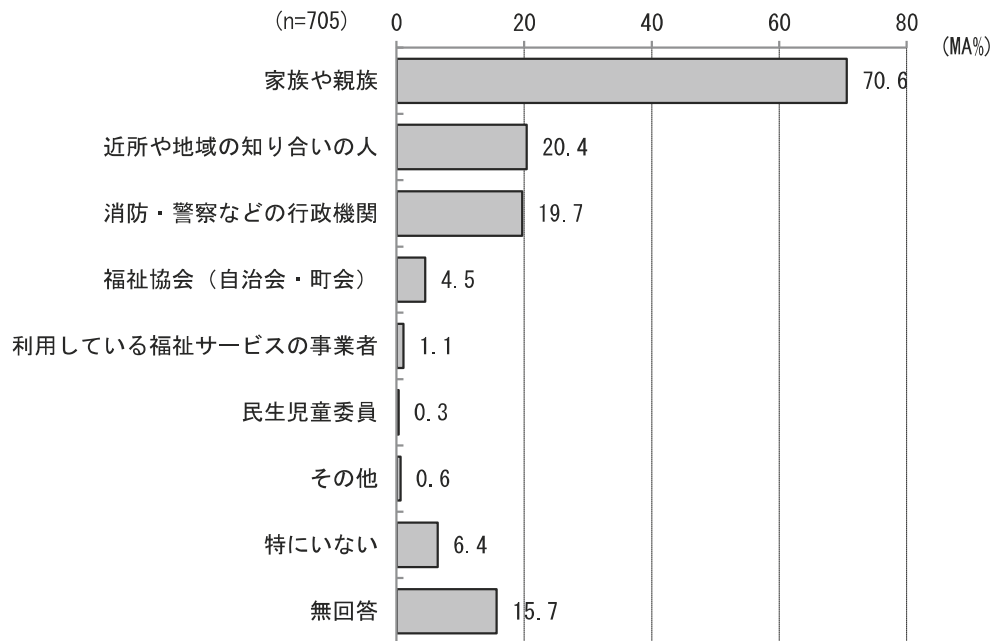
	回答者数(人)	家族や親族	近所や地域の知り合いの人	消防・警察などの行政機関	福祉協会(自治会・町会)	利用している福祉サービスの事業者	民生児童委員	その他	特にない	無回答
性別										
男性	286	85.0	21.3	18.9	7.0	2.1	1.4	0.7	4.9	4.9
女性	411	90.3	24.3	22.4	8.8	3.2	2.9	1.0	1.7	6.3
年代別										
18～29歳	45	91.1	15.6	22.2	4.4	-	-	-	8.9	-
30～39歳	66	95.5	13.6	24.2	7.6	6.1	3.0	1.5	-	1.5
40～49歳	95	95.8	28.4	18.9	7.4	1.1	2.1	1.1	1.1	1.1
50～59歳	117	88.9	16.2	23.9	4.3	0.9	1.7	2.6	5.1	5.1
60～69歳	129	89.9	25.6	20.2	3.9	2.3	1.6	0.8	3.9	4.7
70～79歳	159	83.6	24.5	22.6	8.8	3.8	2.5	-	2.5	7.5
80歳以上	94	77.7	28.7	17.0	19.1	4.3	4.3	-	2.1	14.9
家族構成別										
ひとり暮らし	135	79.3	27.4	17.0	13.3	4.4	3.7	0.7	4.4	8.9
夫婦のみ	210	88.1	24.3	25.2	9.0	1.4	2.4	0.5	2.4	6.2
親子	289	93.4	20.1	21.8	5.2	3.5	1.0	1.4	2.8	2.8
三世帯	30	90.0	30.0	10.0	10.0	-	3.3	-	3.3	6.7
ひとり親と子	21	76.2	14.3	9.5	-	-	-	-	-	19.0
地区別										
中央地区	73	84.9	30.1	15.1	8.2	1.4	1.4	-	4.1	6.8
小田地区	114	92.1	21.1	17.5	9.6	3.5	1.8	0.9	1.8	5.3
大庄地区	72	84.7	22.2	20.8	8.3	2.8	1.4	1.4	5.6	4.2
立花地区	167	89.2	23.4	28.7	9.6	3.6	3.6	1.8	3.6	4.8
武庫地区	127	90.6	24.4	16.5	7.1	3.1	1.6	0.8	0.8	4.7
園田地区	139	87.1	18.7	20.9	4.3	1.4	1.4	-	4.3	6.5
現在の住居での居住年数別										
1年未満	29	86.2	10.3	20.7	10.3	-	6.9	-	6.9	3.4
1年以上5年未満	103	89.3	16.5	22.3	6.8	4.9	2.9	2.9	2.9	2.9
5年以上10年未満	91	89.0	25.3	20.9	5.5	3.3	-	-	4.4	3.3
10年以上30年未満	263	90.9	20.5	22.1	6.1	1.1	0.8	0.8	3.8	4.6
30年以上	217	83.9	28.6	19.8	11.5	3.7	3.7	0.5	1.4	9.7

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 実際に助けてくれる人

- ・災害発生時に実際に助けてくれる人については、「家族や親族」が70.6%で最も多く、次いで「近所や地域の知り合いの人」が20.4%、「消防・警察などの行政機関」が19.7%となっています。
- ・性別でみると、「家族や親族」の割合は男性（62.9%）より女性（76.6%）のほうが13.7ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、「近所や地域の知り合いの人」の割合は40～49歳が27.4%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「家族や親族」の割合は親子の世帯が80.3%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「近所や地域の知り合いの人」の割合は中央地区が28.8%で最も高くなっています。
- ・現在の住居での居住年数別でみると、「家族や親族」の割合は10年以上30年未満が73.8%で最も高くなっています。



(MA%)

	回答者数(人)	家族や親族	近所や地域の知り合いの人	消防・警察などの行政機関	福祉協会(自治会・町会)	利用している福祉サービスの事業者	民生児童委員	その他	特にいない	無回答
性別										
男性	286	62.9	19.2	21.7	5.2	0.7	0.7	0.3	9.1	18.9
女性	411	76.6	21.7	18.0	4.1	1.5	-	0.7	4.1	13.4
年代別										
18～29歳	45	82.2	22.2	22.2	2.2	2.2	-	-	11.1	4.4
30～39歳	66	84.8	18.2	27.3	4.5	4.5	-	1.5	3.0	4.5
40～49歳	95	88.4	27.4	23.2	6.3	1.1	-	1.1	2.1	2.1
50～59歳	117	69.2	14.5	26.5	1.7	0.9	0.9	1.7	12.0	8.5
60～69歳	129	71.3	22.5	19.4	1.6	0.8	-	-	7.0	14.7
70～79歳	159	61.0	17.6	10.7	5.7	0.6	0.6	-	5.0	28.9
80歳以上	94	54.3	23.4	17.0	9.6	-	-	-	5.3	30.9
家族構成別										
ひとり暮らし	135	48.1	20.7	12.6	5.2	1.5	0.7	0.7	13.3	23.7
夫婦のみ	210	73.3	17.6	21.4	4.8	-	0.5	-	4.3	17.6
親子	289	80.3	21.5	23.9	4.2	2.1	-	1.0	4.2	9.0
三世帯	30	76.7	26.7	13.3	10.0	-	-	-	3.3	20.0
ひとり親と子	21	61.9	19.0	9.5	-	-	-	-	-	33.3
地区別										
中央地区	73	64.4	28.8	9.6	6.8	1.4	1.4	-	12.3	17.8
小田地区	114	74.6	18.4	25.4	5.3	0.9	-	0.9	4.4	14.0
大庄地区	72	65.3	19.4	19.4	1.4	-	-	-	12.5	18.1
立花地区	167	70.1	19.8	22.8	4.8	3.0	0.6	1.2	5.4	13.2
武庫地区	127	74.0	21.3	16.5	0.8	0.8	-	0.8	3.1	15.7
園田地区	139	72.7	16.5	19.4	6.5	-	-	-	6.5	15.8
現在の住居での居住年数別										
1年未満	29	69.0	17.2	31.0	3.4	3.4	-	-	13.8	6.9
1年以上5年未満	103	72.8	18.4	25.2	2.9	2.9	1.0	1.9	7.8	6.8
5年以上10年未満	91	72.5	18.7	16.5	4.4	-	-	-	7.7	16.5
10年以上30年未満	263	73.8	16.3	19.0	3.0	1.1	-	0.8	6.8	13.7
30年以上	217	65.0	26.7	18.0	7.4	0.5	0.5	-	3.7	23.5

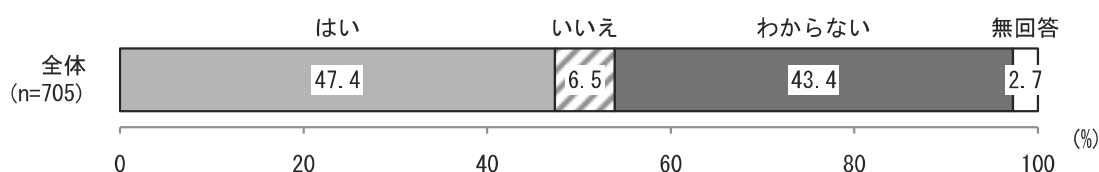
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) 災害時の安否確認等の声かけや避難所での手伝いなどの活動意向

(問22) 災害が起こったときに、あなたは、安否確認等の声かけや避難所での手伝いなどの活動をしようと思いますか。(○は1つ)

- ・災害時の安否確認等の声かけや避難所での手伝いなどの活動をしようと思うかについては、「はい」が47.4%で最も多く、次いで「わからない」が43.4%、「いいえ」が6.5%となっています。
- ・年代別でみると、「はい」の割合は18～29歳が60.0%で最も高く、次いで40～49歳が57.9%となっています。
- ・家族構成別でみると、「はい」の割合は親子の世帯が50.2%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「はい」の割合は小田地区が50.9%で最も高くなっています。



	回答者数 (人)	はい	いいえ	わからない	無回答
年代別					
18～29歳	45	60.0	2.2	37.8	-
30～39歳	66	51.5	6.1	42.4	-
40～49歳	95	57.9	3.2	38.9	-
50～59歳	117	47.0	3.4	48.7	0.9
60～69歳	129	54.3	7.0	38.0	0.8
70～79歳	159	40.3	8.2	47.8	3.8
80歳以上	94	30.9	12.8	44.7	11.7
家族構成別					
ひとり暮らし	135	44.4	9.6	41.5	4.4
夫婦のみ	210	46.2	4.8	45.7	3.3
親子	289	50.2	4.5	43.9	1.4
三世代	30	43.3	20.0	30.0	6.7
ひとり親と子	21	42.9	4.8	52.4	-
地区別					
中央地区	73	47.9	5.5	43.8	2.7
小田地区	114	50.9	9.6	36.8	2.6
大庄地区	72	48.6	5.6	43.1	2.8
立花地区	167	45.5	6.0	44.9	3.6
武庫地区	127	44.9	7.1	45.7	2.4
園田地区	139	48.2	5.0	45.3	1.4

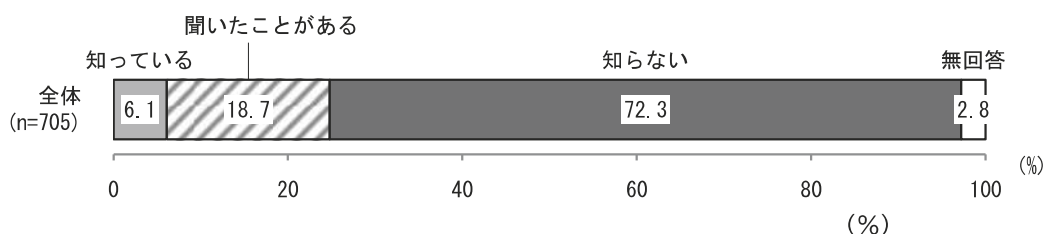
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(7) 国や県が進めている災害時対策の認知度

(問23) 災害時の対策として国、県や市が進めている次のようなことをご存じですか。
(①・②のそれぞれについて、1～3のいずれかに○を1つ)

- ① 高齢者や障害者などの災害時の要配慮者の名簿を作成して、地域の支援関係者へ提供を行っていること
- ・ 高齢者や障害者などの災害時の要配慮者の名簿を作成して、地域の支援関係者へ提供を行っていることの認知度については、「知らない」が72.3%で最も多く、次いで「聞いたことがある」が18.7%、「知っている」が6.1%となっています。
 - ・ 性別でみると、「聞いたことがある」の割合は女性（17.5%）より男性（20.6%）のほうが3.1ポイント高くなっています。
 - ・ 年代別でみると、「知っている」の割合は30～39歳が10.6%で最も高くなっています。
 - ・ 家族構成別でみると、「知らない」の割合は夫婦のみの世帯が75.2%で最も高くなっています。
 - ・ 地区別でみると、「知らない」の割合は武庫地区が75.6%で最も高くなっています。



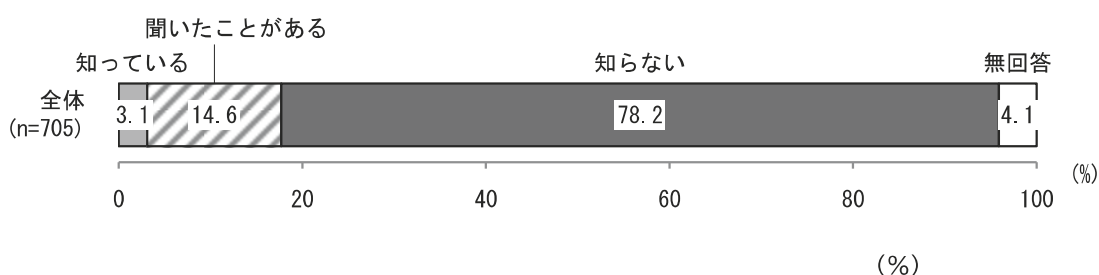
	(人)	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
性別					
男性	286	4.9	20.6	71.0	3.5
女性	411	6.8	17.5	73.2	2.4
年代別					
18～29歳	45	8.9	13.3	75.6	2.2
30～39歳	66	10.6	22.7	65.2	1.5
40～49歳	95	2.1	25.3	72.6	-
50～59歳	117	2.6	17.1	79.5	0.9
60～69歳	129	7.0	24.0	68.2	0.8
70～79歳	159	5.7	15.7	74.2	4.4
80歳以上	94	9.6	11.7	69.1	9.6
家族構成別					
ひとり暮らし	135	5.2	22.2	68.9	3.7
夫婦のみ	210	5.2	16.7	75.2	2.9
親子	289	6.9	18.3	73.4	1.4
三世代	30	6.7	10.0	73.3	10.0
ひとり親と子	21	9.5	23.8	61.9	4.8
地区別					
中央地区	73	9.6	15.1	74.0	1.4
小田地区	114	6.1	18.4	74.6	0.9
大庄地区	72	2.8	19.4	73.6	4.2
立花地区	167	7.8	16.8	71.9	3.6
武庫地区	127	7.1	15.7	75.6	1.6
園田地区	139	3.6	24.5	68.3	3.6

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 要配慮者一人ひとりの身体や生活の状況に合わせて、避難方法を事前に決めておく個別避難計画の作成を支援していること

- ・要配慮者一人ひとりの身体や生活の状況に合わせて、避難方法を事前に決めておく個別避難計画の作成を支援していることの認知度については、「知らない」が78.2%で最も多く、次いで「聞いたことがある」が14.6%、「知っている」が3.1%となっています。
- ・性別でみても、大きな差はみられません。
- ・年代別でみると、「知っている」の割合は30～39歳が9.1%で最も高くなっています。
- ・家族構成別でみると、「知らない」の割合は夫婦のみの世帯が80.5%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「知らない」の割合は小田地区が82.5%で最も高くなっています。



	回答者数(人)	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
性別					
男性	286	3.1	15.7	77.3	3.8
女性	411	3.2	13.6	78.8	4.4
年代別					
18～29歳	45	6.7	13.3	80.0	-
30～39歳	66	9.1	18.2	71.2	1.5
40～49歳	95	2.1	20.0	77.9	-
50～59歳	117	0.9	13.7	84.6	0.9
60～69歳	129	3.1	16.3	79.1	1.6
70～79歳	159	1.3	14.5	76.7	7.5
80歳以上	94	4.3	6.4	75.5	13.8
家族構成別					
ひとり暮らし	135	2.2	15.6	73.3	8.9
夫婦のみ	210	1.9	14.3	80.5	3.3
親子	289	4.8	14.2	79.6	1.4
三世代	30	-	10.0	80.0	10.0
ひとり親と子	21	-	19.0	71.4	9.5
地区別					
中央地区	73	5.5	13.7	78.1	2.7
小田地区	114	1.8	13.2	82.5	2.6
大庄地区	72	2.8	16.7	77.8	2.8
立花地区	167	3.0	14.4	77.2	5.4
武庫地区	127	3.9	12.6	79.5	3.9
園田地区	139	2.9	16.5	76.3	4.3

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

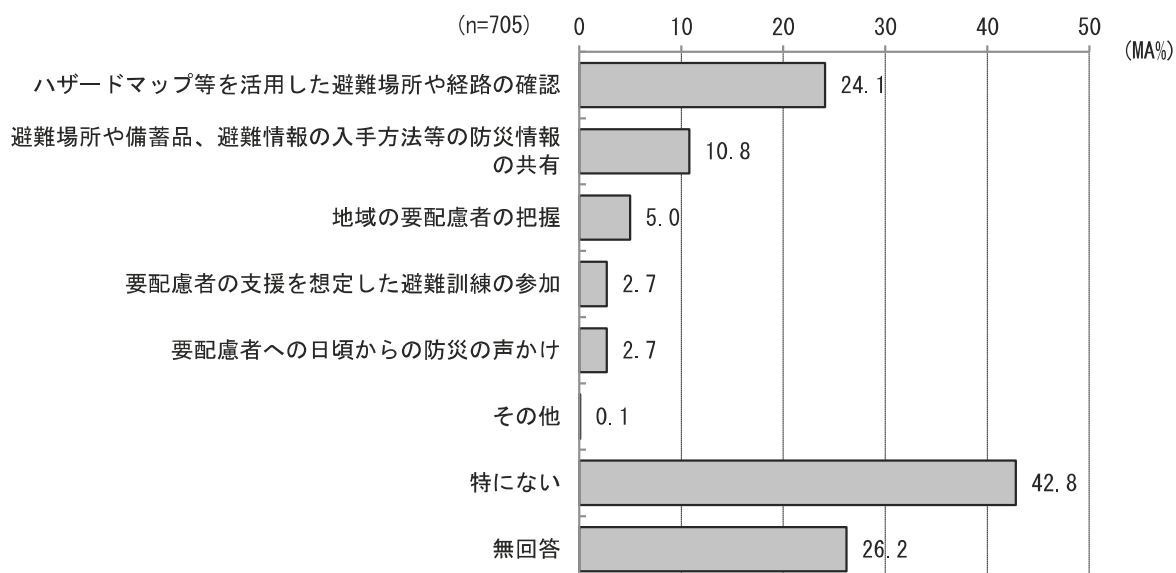
(8) 地域の高齢者等の要配慮者への避難支援

(問24) 地域にお住まいの高齢者等の要配慮者の避難支援に関して、

- ① あなたが日頃から取り組んでいること
- ② 地域で日頃から取り組んでいること
- ③ 地域で今後必要だと思う取組 として、
1～7の選択肢の中からあてはまるものについて、太枠内に○をつけてください。
(○はいくつでも)

① 日頃から取り組んでいること

- ・要配慮者の避難支援として、自身が日頃から取り組んでいることについては、「特にない」が42.8%で最も多いですが、取り組んでいる人では「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」が24.1%で最も多く、次いで「避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有」が10.8%、「地域の高齢者等の把握」が5.0%となっています。
- ・性別でみると、「特にない」の割合は女性（39.7%）より男性（47.9%）のほうが8.2ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」の割合は30～39歳が31.8%で最も高く、次いで70～79歳が30.8%となっています。
- ・家族構成別でみると、「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」の割合は夫婦のみ世帯が30.5%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」の割合は大庄地区が29.2%で最も高くなっています。
- ・地域との交流状況別でみると、「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」と「避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有」の割合は交流がある人ほど割合が高くなっています。



(MA%)

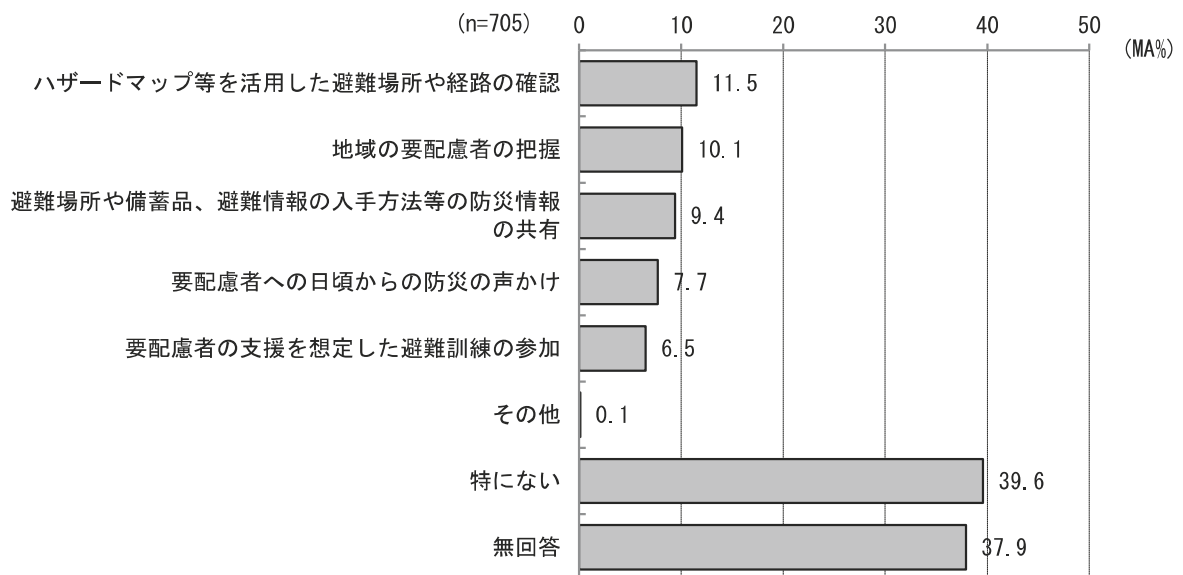
	回答者数 (人)	避難場所や経路の確認 ハザードマップ等を活用した	避難場所や備蓄品、避難情報の 入手方法等の防災情報の共有	地域の要配慮者の把握	要配慮者の支援を想定した避難 訓練の参加	要配慮者への日頃からの防災 の声かけ	その他	特にな い	無回 答
性別									
男性	286	23.8	10.8	5.6	3.1	4.2	0.3	47.9	22.0
女性	411	24.1	10.2	4.6	2.2	1.7	-	39.7	29.2
年代別									
18～29歳	45	13.3	11.1	4.4	2.2	-	-	64.4	8.9
30～39歳	66	31.8	13.6	1.5	1.5	3.0	-	48.5	13.6
40～49歳	95	20.0	8.4	5.3	1.1	2.1	-	54.7	22.1
50～59歳	117	18.8	9.4	5.1	1.7	0.9	-	49.6	22.2
60～69歳	129	23.3	10.9	3.9	2.3	3.1	0.8	46.5	21.7
70～79歳	159	30.8	10.7	6.3	3.8	2.5	-	32.7	30.8
80歳以上	94	24.5	12.8	6.4	5.3	6.4	-	20.2	51.1
家族構成別									
ひとり暮らし	135	14.8	5.2	4.4	3.0	4.4	-	46.7	31.1
夫婦のみ	210	30.5	13.8	5.7	4.8	4.3	-	36.7	27.1
親子	289	22.1	11.8	4.5	0.7	0.7	0.3	44.6	24.6
三世代	30	36.7	10.0	6.7	3.3	3.3	-	40.0	23.3
ひとり親と子	21	23.8	9.5	-	-	-	-	47.6	28.6
地区別									
中央地区	73	19.2	6.8	4.1	1.4	2.7	-	39.7	37.0
小田地区	114	24.6	13.2	6.1	2.6	2.6	-	42.1	22.8
大庄地区	72	29.2	8.3	5.6	5.6	4.2	-	44.4	20.8
立花地区	167	25.1	11.4	6.0	2.4	3.6	-	39.5	29.9
武庫地区	127	22.8	10.2	3.1	1.6	2.4	-	49.6	24.4
園田地区	139	24.5	11.5	4.3	2.9	1.4	0.7	42.4	23.0
地域との交流状況別									
ある	346	29.8	12.7	8.1	4.9	5.2	-	31.8	28.9
あいさつ程度	230	21.7	10.0	1.3	0.4	0.4	0.4	46.5	27.4
ない	122	12.3	6.6	3.3	0.8	-	-	67.2	16.4

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

② 地域で日頃から取り組んでいること

- ・要配慮者の避難支援として、地域で日頃から取り組んでいることについては、「特にない」が39.6%で最も多いですが、取り組んでいる人では「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」が11.5%で最も多く、次いで「地域の要配慮者の把握」が10.1%、「避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有」が9.4%となっています。
- ・性別でみると、「特にない」の割合は女性（35.8%）より男性（45.5%）のほうが9.7ポイント高くなっています。
- ・年代別でみると、「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」の割合は80歳以上が14.9%で最も高く、次いで40～49歳が13.7%となっています。
- ・家族構成別でみると、「特にない」の割合は親子の世帯が44.3%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、「地域の要配慮者の把握」の割合は大庄地区が15.3%で最も高くなっています。
- ・地域との交流状況別でみると、「地域の要配慮者の把握」の割合は交流がある人が15.0%で最も高くなっています。



(MA%)

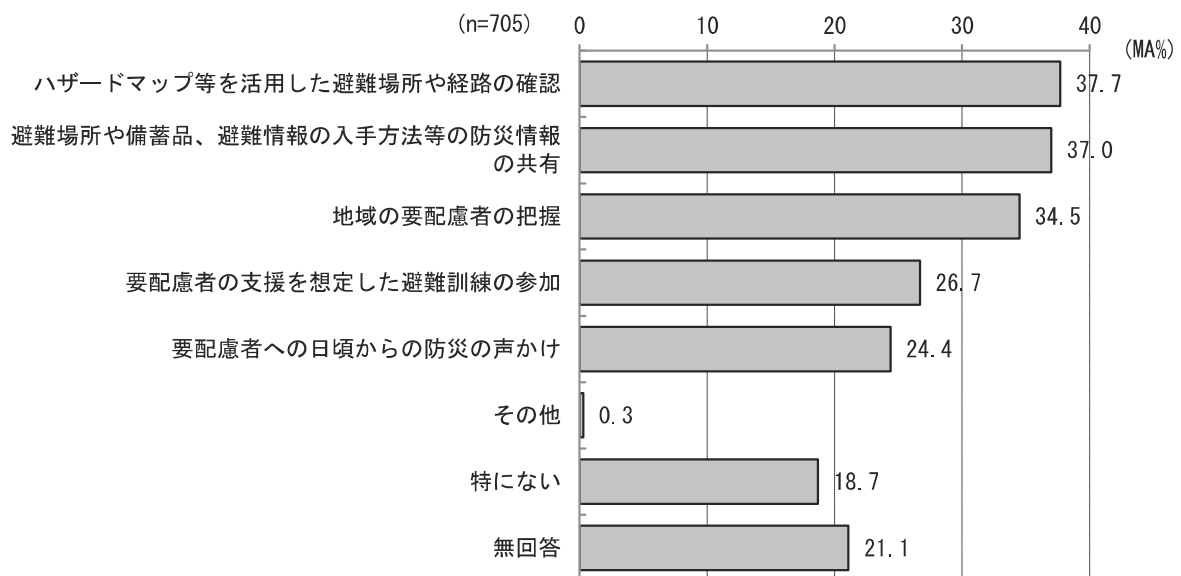
	回答者数 (人)	ハザードマップ等を活用した 避難場所や経路の確認	地域の要配慮者の把握	避難場所や備蓄品、避難情報の 入手方法等の防災情報の共有	要配慮者への日頃からの防災 の声かけ	要配慮者の支援を想定した避 難訓練の参加	その他	特にな い	無回 答
性別									
男性	286	11.5	7.7	10.1	7.3	5.6	-	45.5	32.2
女性	411	11.2	11.7	8.3	8.0	7.1	0.2	35.8	41.8
年代別									
18～29歳	45	11.1	4.4	6.7	4.4	2.2	-	60.0	24.4
30～39歳	66	13.6	6.1	3.0	3.0	3.0	1.5	59.1	18.2
40～49歳	95	13.7	13.7	9.5	8.4	7.4	-	50.5	27.4
50～59歳	117	10.3	8.5	9.4	5.1	3.4	-	48.7	29.9
60～69歳	129	7.0	10.1	4.7	7.8	4.7	-	43.4	38.8
70～79歳	159	11.9	13.8	13.2	11.9	12.6	-	24.5	47.8
80歳以上	94	14.9	7.4	14.9	7.4	6.4	-	13.8	60.6
家族構成別									
ひとり暮らし	135	7.4	7.4	7.4	8.9	5.2	-	37.8	45.9
夫婦のみ	210	11.0	11.0	11.9	11.9	10.5	0.5	34.3	39.5
親子	289	13.5	10.4	8.3	4.5	4.2	-	44.3	32.5
三世代	30	16.7	20.0	16.7	10.0	13.3	-	30.0	43.3
ひとり親と子	21	14.3	9.5	4.8	4.8	-	-	42.9	38.1
地区別									
中央地区	73	9.6	5.5	5.5	4.1	2.7	-	35.6	49.3
小田地区	114	14.0	10.5	14.9	8.8	7.0	-	37.7	32.5
大庄地区	72	12.5	15.3	6.9	8.3	5.6	-	40.3	34.7
立花地区	167	13.8	10.8	7.2	6.0	7.8	0.6	37.1	41.3
武庫地区	127	6.3	7.1	7.1	4.7	3.9	-	44.1	40.9
園田地区	139	12.9	12.2	13.7	12.2	10.1	-	41.7	30.2
地域との交流状況別									
ある	346	14.7	15.0	13.9	13.3	10.1	-	29.8	39.9
あいさつ程度	230	9.6	4.8	5.2	2.6	3.5	-	43.0	40.9
ない	122	5.7	6.6	3.3	1.6	2.5	0.8	60.7	27.0

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

③ 地域で今後必要だと思う取組

- ・ 要配慮者の避難支援として、今後必要だと思う取組については、「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」が37.7%で最も多く、次いで「避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有」が37.0%、「地域の要配慮者の把握」が34.5%となっています。
- ・ 性別でみると、男性は「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」が32.9%で最も多いが、女性では「避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有」が41.6%で最も多くなっています。
- ・ 年代別でみると、「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」の割合は18～29歳が53.3%で最も高く、次いで40～49歳が49.5%となっています。
- ・ 家族構成別でみると、ひとり暮らし世帯では「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」と「避難場所や備蓄品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有」が同率の30.4%で最も多くなっています。
- ・ 地区別でみると、「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」の割合は中央地区が43.8%で最も高く、次いで立花地区が43.7%となっています。
- ・ 地域との交流状況別でみると、「ハザードマップ等を活用した避難場所や経路の確認」の割合は交流がない人が40.2%で最も高くなっています。



(MA%)

	回答者数 (人)	避難場所や経路の確認 ハザードマップ等を活用した	避難場所や備蓄品、避難情報の 入手方法等の防災情報の共有	地域の要配慮者の把握	要配慮者の支援を想定した避難 訓練の参加	要配慮者への日頃からの防災 の声かけ	その他	特にな い	無回 答
性別									
男性	286	32.9	30.8	29.4	20.3	17.5	0.7	24.8	21.7
女性	411	41.4	41.6	37.5	30.4	28.5	-	14.4	21.2
年代別									
18～29歳	45	53.3	53.3	42.2	33.3	31.1	-	26.7	4.4
30～39歳	66	43.9	40.9	40.9	28.8	28.8	-	19.7	9.1
40～49歳	95	49.5	50.5	49.5	34.7	28.4	-	18.9	10.5
50～59歳	117	45.3	39.3	38.5	29.9	28.2	-	21.4	12.8
60～69歳	129	37.2	36.4	38.8	24.0	23.3	0.8	18.6	17.8
70～79歳	159	25.2	26.4	21.4	23.9	22.6	0.6	18.2	32.7
80歳以上	94	26.6	28.7	22.3	18.1	13.8	-	11.7	43.6
家族構成別									
ひとり暮らし	135	30.4	30.4	25.2	17.8	19.3	0.7	22.2	31.9
夫婦のみ	210	33.3	35.2	30.0	29.0	25.7	-	17.6	21.9
親子	289	44.6	42.2	43.3	28.7	25.6	0.3	18.0	14.9
三世代	30	30.0	26.7	30.0	26.7	23.3	-	10.0	33.3
ひとり親と子	21	42.9	47.6	42.9	42.9	33.3	-	14.3	14.3
地区別									
中央地区	73	43.8	38.4	35.6	23.3	23.3	1.4	13.7	26.0
小田地区	114	40.4	40.4	42.1	33.3	27.2	-	12.3	21.1
大庄地区	72	34.7	33.3	26.4	20.8	18.1	-	25.0	25.0
立花地区	167	43.7	40.1	37.7	32.3	29.3	-	18.6	16.2
武庫地区	127	34.6	36.2	33.9	24.4	22.0	-	21.3	18.9
園田地区	139	31.7	34.5	30.2	22.3	21.6	0.7	19.4	24.5
地域との交流状況別									
ある	346	39.9	39.6	37.3	30.1	28.0	-	10.4	24.3
あいさつ程度	230	33.5	33.0	34.8	23.9	22.2	0.9	22.2	22.2
ない	122	40.2	37.7	27.0	23.8	19.7	-	36.1	9.0

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

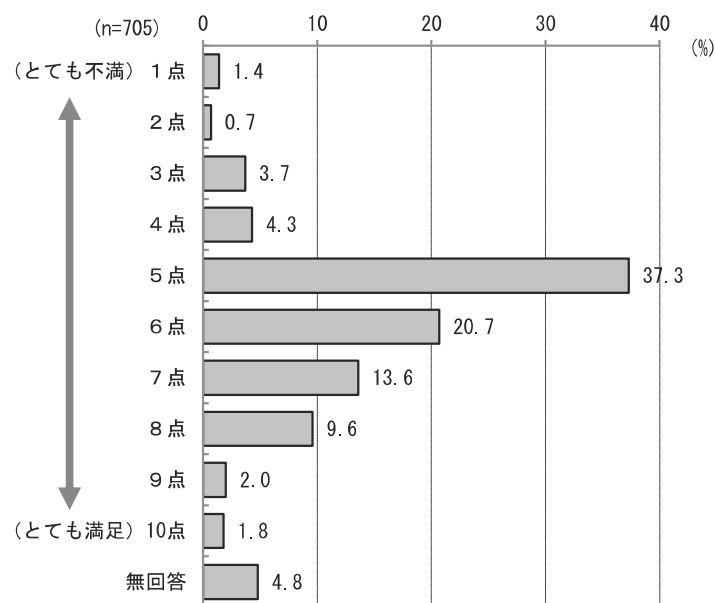
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

8. その他について

(1) 尼崎市の福祉施策に対する評価

(問25) あなたが、尼崎市の福祉施策に関する取組に10段階で得点をつけるとすれば、何点ですか。(1～10のうち、いずれかに○を1つ)

- ・尼崎市の福祉施策に対する評価については、「5点」が37.3%で最も多く、次いで「6点」が20.7%、「7点」が13.6%となっており、平均で5.8点となっています。
- ・年代別でみると、いずれの年代も「5点」が最も多く、30～39歳が42.4%で最も高くなっています。
- ・地区別でみると、いずれの地区も「5点」が最も多く、中央地区が42.5%で最も高くなっています。



	(人)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均(点)
年代別													
18～29歳	45	2.2	2.2	-	4.4	37.8	20.0	20.0	8.9	-	2.2	2.2	5.8
30～39歳	66	-	1.5	1.5	3.0	42.4	16.7	13.6	7.6	4.5	7.6	1.5	6.1
40～49歳	95	3.2	-	3.2	1.1	37.9	23.2	18.9	6.3	3.2	1.1	2.1	5.8
50～59歳	117	0.9	-	6.0	6.8	41.9	21.4	9.4	9.4	1.7	-	2.6	5.5
60～69歳	129	0.8	0.8	6.2	5.4	35.7	19.4	14.0	10.9	0.8	0.8	5.4	5.7
70～79歳	159	2.5	1.3	3.8	2.5	37.1	26.4	10.1	8.8	1.3	1.3	5.0	5.6
80歳以上	94	-	-	1.1	6.4	29.8	12.8	16.0	14.9	3.2	3.2	12.8	6.3
地区別													
中央地区	73	-	1.4	5.5	5.5	42.5	13.7	11.0	9.6	2.7	2.7	5.5	5.7
小田地区	114	-	0.9	4.4	7.0	39.5	22.8	9.6	7.9	1.8	1.8	4.4	5.7
大庄地区	72	4.2	-	2.8	2.8	37.5	23.6	16.7	9.7	-	1.4	1.4	5.7
立花地区	167	1.8	-	4.2	3.0	37.1	18.6	14.4	10.8	2.4	1.8	6.0	5.8
武庫地区	127	0.8	0.8	4.7	5.5	33.1	22.8	14.2	11.8	0.8	3.1	2.4	5.9
園田地区	139	1.4	0.7	0.7	2.9	36.7	23.7	15.8	7.9	2.9	-	7.2	5.8

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 自由意見

(問26) アンケートに回答した上で尼崎市のこれからの福祉施策に関する取組について、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・これからの福祉のまちづくりに対する意見・要望では137名(19.4%)の意見がありました。以下、主な意見を抜粋しています。(意見数を複数回答可としてカウントしているため、回答者数と意見数の合計は一致しません。)

《福祉施策について：48 件》

・高齢で、一人で住居している方への配慮をお願いします。
・子育てをする上で困り事があっても相談する場がない。もっと人員を増やしてほしい。冷たい対応や困っている人のフォローができない対応は産後の母親にとって、かなり辛いことでした。もう少し寄り添ってほしいです。
・尼崎市が、高齢者人口が多いのは存じています。高齢者の配慮のための施策が必要なのも分かりますが、民間の介護支援への指導、運営の充実の徹底や利用料金などの統一性、色々大変だと思いますが、高齢者施策と同様に子ども達への支援の充実を配ってほしいと思います。
・自分も年齢を重ねていくので年寄りのためになる施策が充実していくのは良いことと思うが、年寄りへの施策よりこれからの若者中心、若者・子ども達のことを第一に考え、年齢の高い者へは、正直一番最後の配慮でいいと思う。
・困った時すぐに役に立つことは少ない。困り事を吐き出す言葉を聞いていただけるだけで安心するが、たらい回しが多く解決しない、時間がかかりすぎ。
・福祉施策の充実、高齢の人々が住みやすいまちづくりをこれからも宜しくをお願いします。
・安心して暮らせるように福祉に関する取り組みが今までより一層充実していったほしいです。
・まずは子どもたちがちゃんと教育が受けられて食事ができる。高齢者が穏やかに老後を送れる。市民が健康を害すれば医療がすぐに対応でき、経済的困窮には自治体が助けるような尼崎市になってほしい。
・人口も多く面積も広いので、大変だと思いますが、必要な方に必要な助けが届いてほしいと思います。
・一部の人がだけが優遇されない、善良な市民が正しく平等に必要な福祉を受けられる環境にしてほしい。
・市民に対して経済的支援を充実させてほしい。金銭的余裕がないのに人を支援するという気持ちは起こりにくく、まずは自分自身を守るだけで手一杯になるから。
・相談窓口の時間帯を広げてほしい。
・障害福祉の支援体制をもっと強化してほしい。役所での対応をもっとスムーズにしてほしい。
・もっと子どもを育てやすい環境にしてほしい。子どもが遊ぶ施設が少なすぎる。

《情報発信・情報提供について：34 件》

・介護の不安がありますが、実際使う時の手続きや何が使えるのか全く分かりません。広報誌で仕組みを説明してほしい。自己負担など誰も教えてくれない。
・時間がないのと関心がないので。身近にそういう人がいると関心を持てると思うのですが。市報は読むようにしているので、もう少し興味を持てるよう、色々案内してくれたら関心を持てるかも。
・市がどんな活動をしているのか、知れる機会がありません。困った時に助けてもらえる場所があることを知っておきたいと思いました。
・市報・Webサイト、SNS等で情報を発信しているのは知っているが、まだまだ足りないと思う。自ら入手しにいかないと知ることができないのではなく、頻繁に目につく、入手できる方法を考えてもらいたい。
・福祉施策について、取り組みをされていると思うのですが、周知されていないので、ほとんど知らないことが多いです。市の取り組みについての広報活動をもっとされたら認知されていくと思うので、力を入れていただきたいと思いました。
・何も起こらなければ知らずに済むが、何か起きた時の対処法が具体的でないことを実感した。また、実際にどこで誰がどのように対応してもらえるのか、行政からの告知、案内が希薄であると感じる。困り事を抱えている方はもちろん、日常に問題がなくても知識を公表してほしい。
・主要な情報の取得先がSNSなので、そこで情報を流してもらえると嬉しいです。
・単身の高齢者が多いので情報を伝えるのが難しいと思いますので、町会などが上手く機能できるよう自治体がサポートしていただきたいです。
・取り組みについての冊子があれば読んでみたい。

《地域福祉に関する意識について：15 件》

・私も含めてですが、近年ご近所同士のつながりが希薄になっており、特にマンションではいざという時に助け合える関係が築きにくいと感じます。防災や福祉に関する説明会や講習については関心のある人だけでなく、多くの人が参加しやすい仕組みが必要だと思います。市の職員等が直接説明する機会を設けたり、参加のきっかけとして小さな特典をつけるなど、関心を持ちにくい人にも目が向く工夫をしながら、地域全体で支えあえる体制づくりを進めていただくことを希望します。
・昔のように隣近所の付き合いがなく、あまり立ち入らない方がいいのかと思います。そんな気持ちが多々あります。
・高齢化社会になり若者が少ないので無関心の人が多いと思う。自分で精一杯で他人を気にかける余裕がないのでなかなか難しい。
・まだ市に頼ることが身近にないため特に考えたことがなかったです。

《地域活動について：14 件》

・学生さんに手の空いている時間、ボランティアで病院、ショッピングセンター等で困っている人に手を差し伸べてほしい。
・外国人に対するボランティア等がないのでは。
・私達の地区では子ども会、婦人会、老人会也没有。隣保で年に1回、地区のお掃除に出るだけです。これでは何のために町会費を集めているのかわかりません。隣の人達とのお付き合いも新しい人達(若い人)が来てもどうにもなりません。どうかならないかと思います。
・センターなどで、地域の趣味や講座などあればいいな。
・時代の変化等により、また突然の災害に対して福祉施策を色々と構想していてもなかなか対応できるかは難しい面があるが、一步一步やっていくしかないので、市民の自助努力もさりげなくおすすしめつつ。市でも多方面にわたって福祉活動を頑張ってもらいたい。

《防災について：14 件》

・災害などで避難が必要になった時、尼崎市ではペットと同行避難する施設はないと聞いています。指定の避難場所ではペットは飼育小屋と書かれています。一緒に過ごせる場所が必要だと思います。
・参加するような災害イベントがあれば。
・平常時より防災意識を高め、情報共有し、共助を図る措置に努める。
・地域ごとに、または福祉協会ごとに市からの福祉・防災の説明会をしてほしい。チラシや広報だけですと徹底しないと思う。

《その他：17 件》

・地域周辺でも独居老人が増え、いずれ自分もそうになっていく未来がはっきり見えていますので、現状維持しつつ「安全」に重点を置いてほしいと思います。例えば、歩道の整備（車イスや押し車は大変です）など、どうぞよろしくお願いします。
・高齢者・障害者が外出しやすい尼崎を希望します。
・歩きスマホ、歩きタバコの撲滅。
・個人情報、プライバシーの関係でこわい。むしろ治安の悪化。泥棒等の方がこわいと思います。
・無差別の抽選でなく、将来の軸となる年齢層へのアンケートが有効ではないかと思っています。